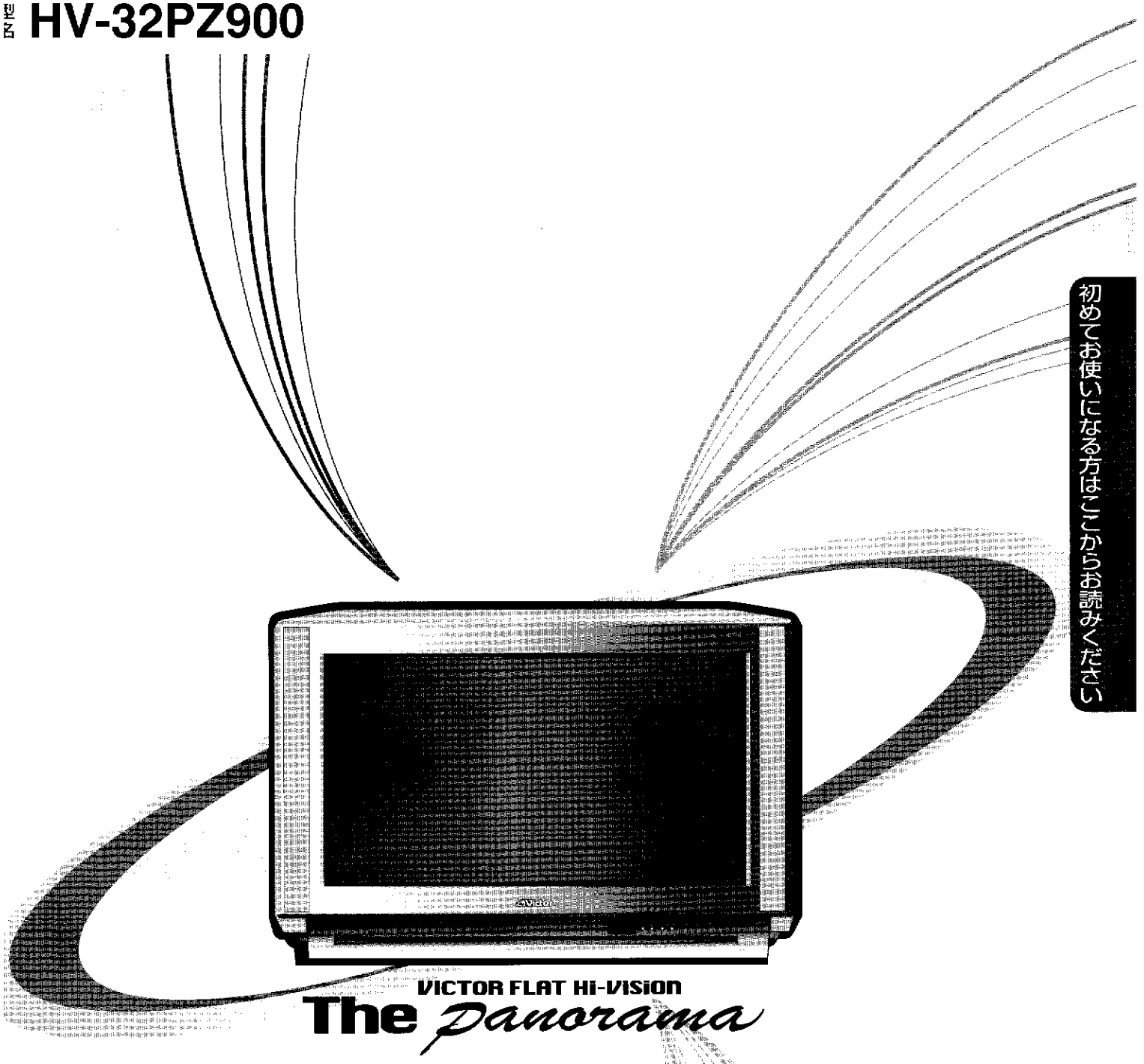
Victor

取扱説明書

ビクターフラットハイビジョンテレビ

型名 **HV-32PZ900**



初めてお使いになる方はここからお読みください

⚠ ご使用の前に**安全上のご注意**（2〜7ページ）を必ずお読みください。

There are important safety precautions on pages 2 to 7 in this instruction booklet. Please have someone who reads Japanese explain them to you.

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

「安全上のご注意」の絵表示

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

⚠注意

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意	指をはさまれないよう注意	感電注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

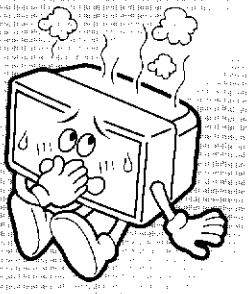
禁止	水場での使用禁止	ぬれ手禁止	分解禁止	接触禁止	水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号

プラグをコンセントから抜く

⚠警告 万一、次のような異常が発生したときは

●煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
●画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
●テレビの内部に水や物が入ってしまったとき。
●テレビを落としたり、キャビネットが破損したとき。

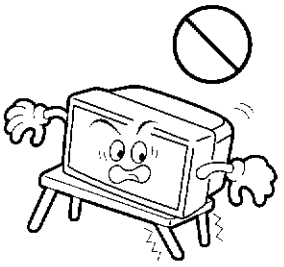


このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

⚠警告　設置するときの警告

不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。



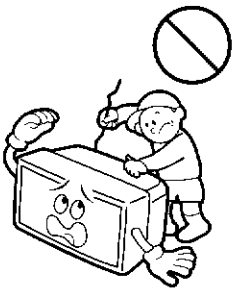
指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない

表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

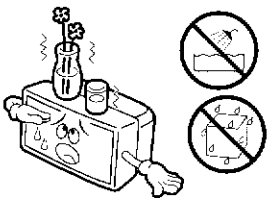
⚠警告　使用するときの警告

テレビ内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



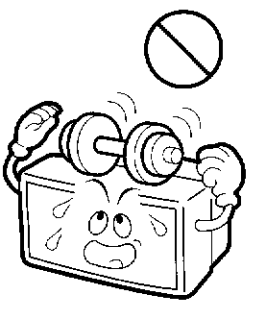
テレビに水をかけない



風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、テレビの上に置かないでください。
また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はご注意ください。

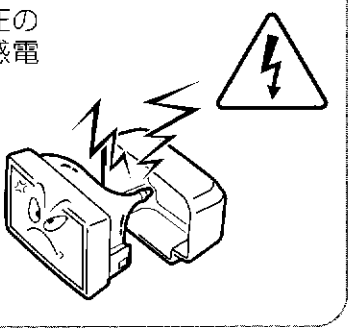
テレビの上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



テレビの裏ぶたは外さない

テレビ内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

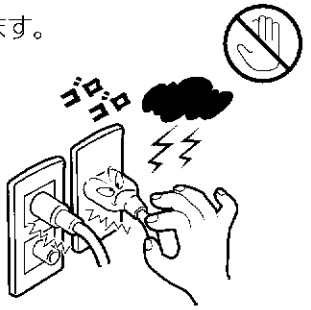


安全上のご注意(つづき)

⚠警告　使用するときの警告

電が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

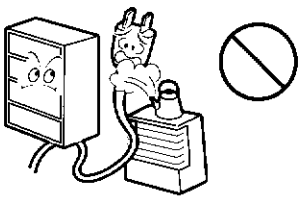


テレビを改造しない

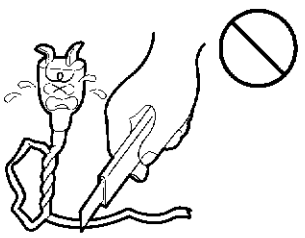
火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。



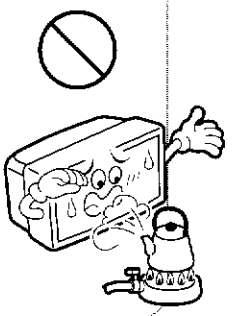
電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



⚠注意　設置するときの注意

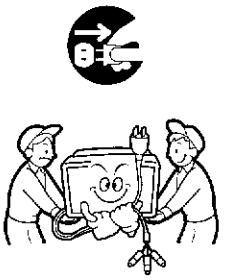
次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。



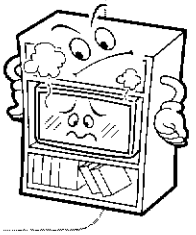
移動するときは接続コード類を外す

コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。
また、テレビは重いので必ず2人以上で持ってください。



テレビの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。
次のことにご注意ください。
- 壁や家具などから10cm以上離す
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- あお向け、横倒し、逆さまにしない

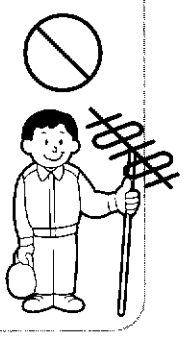


キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する

キャスター止め（受け皿など）で動かないようにしてください。けがの原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に依頼する

技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。
- 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けるよう依頼してください。

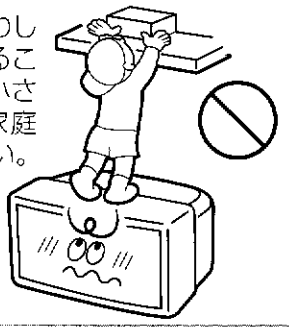


安全上のご注意(つづき)

⚠注意　使用するときの注意

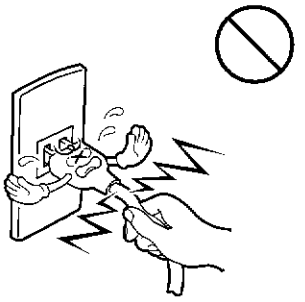
テレビに乗らない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

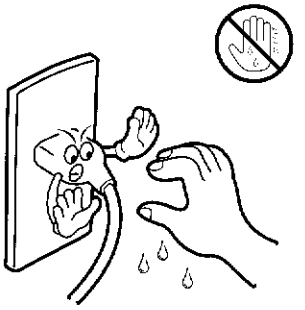


電源コードは電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。

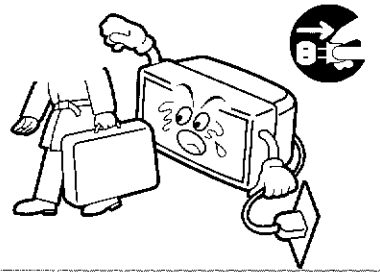


また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



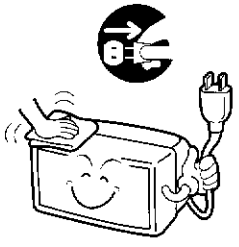
長期間テレビを使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れをするときは電源コードを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

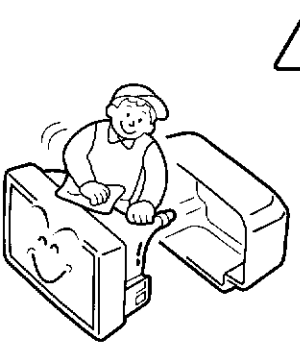


電源プラグのほこりに注意する

電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。

5年に一度はテレビ内部の掃除を販売店に依頼する

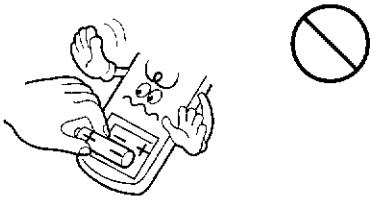
テレビの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。



乾電池の使い方に注意する

電池は間違った使い方をすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

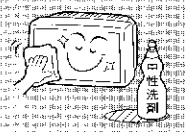
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 種類の違う電池を混ぜて使わない
- 電池ケースのプラス(+)とマイナス(−)の表示どおりに入れる
- 指定された電池以外は使わない



お手入れのしかた

●キャビネットやブラウン管面の汚れは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。



●キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

シンナーやベンジンでふかない
殺虫剤など揮発性のものをかけない
ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

転倒防止の処置をしてください

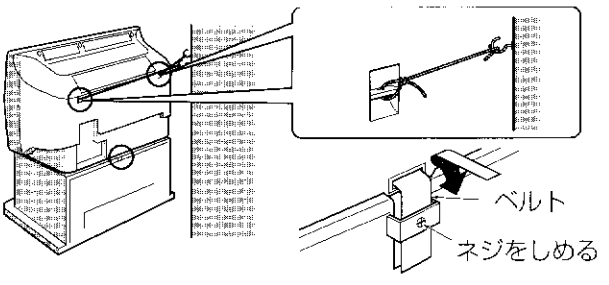
地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、次のような処置をしてください。

製品専用のテレビ台を使用するとき

転倒防止用部品を使って固定してください。

壁や柱などに固定するとき

テレビ後面左右の穴を利用し、市販の丈夫なひもなどで結んでください。柱や壁は、確実に固定できる場所を選んでください。



※説明図は実際の外観と異なることがあります。

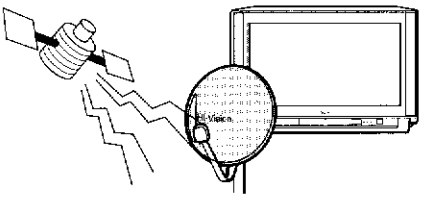
主な特長

フラットハイビジョンテレビ HV-32PZ900

将来も安心のD端子装備(☛P.80、94)

2000年の放送に対応

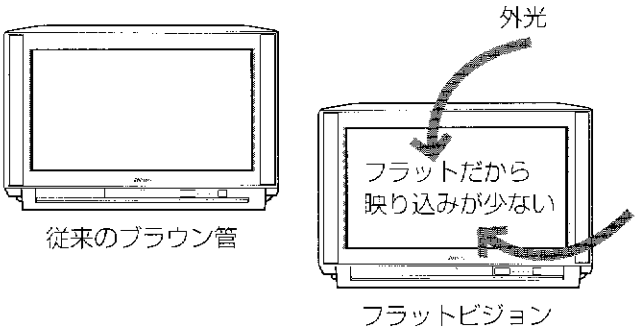
2000年に開始予定のBSデジタル放送では、525i(480i)、525p(480p)、1125i(1080i)の3種類の放送が混在します。その視聴にはBSデジタル放送受信アダプターをケーブル(映像)1本で簡単に接続できるD3入力端子を標準装備しています。高画質な1125i(1080i)まで含む3つのデジタル放送すべてを送られてくる制御信号に合わせて判別し、画面サイズや走査方式に自動的に対応します。



フラットブラウン管はどういいの？

大画面の隅々まで明るく鮮やか

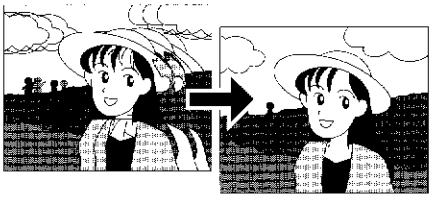
フラットだからゆがみが少なく、外光や照明の映り込みが約50%軽減(当社比)。黒も引き締まってより明るくくっきりとした映像が楽しめます。



新ゴースト・リダクション・チューナー搭載(☛P.50)

すべてのゴーストを大幅に低減

地上波放送の大敵である「二重三重映り」や「たてじま」、「色の変化」などのゴーストを低減。
さらに、従来不可能だったマンションなどの共聴受信世帯やCATVで発生する「左ゴースト」も低減できます。



3次元ナチュラルプログレッシブ&新DSD回路搭載(☛P.39)

どんなシーンもちらつかず、鮮明で見やすい映像を再現

330万画素検出「ナチュラルプログレッシブ」でちらつきを抑え、「新DSD(デジタル・スーパー・ディテール)」で動きのあるシーンもぼやけずに見えます。ノイズ感を抑えながら鮮鋭感を向上し、どんなシーンでも、ざらつきのない鮮明な映像を再現します。

ナチュラルシネマ搭載
(☛P.22)

映画などのフィルム映像ソースを忠実に再現
フィルム撮影された映画は、放送時に24コマから30コマに変換されて放送されます。
この映像をそのまま見ると、ぼやけて見えたりします。このような映像ソースも、ナチュラルシネマを使えば、自然でぼんやり感のない映像でご覧いただけます。

ビクター第5世代MUSEデコーダー搭載
(☛P.44～46、86、91、93)

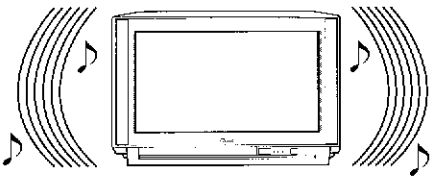
ハイビジョン放送をさらに高精細に再現
MUSE方式の映像信号帯域をフルに再現しながら、ノイズ除去性能を向上させ、ハイビジョン放送を色鮮やかな高精細映像でご覧いただけます。

充実の節電機能
(☛P.32～34)

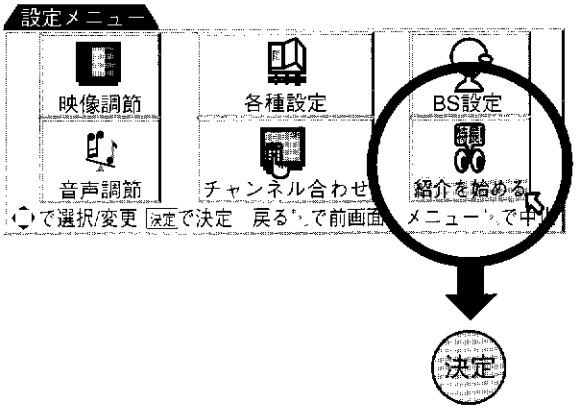
おトク機能で簡単に節電設定ができます
部屋の明るさに合わせて画面の明るさを調節するE.E.センサーをはじめ、各種電源オートオフ機能を搭載し、設定をすれば意識することなく無駄な電力の消費を抑えます。
また、本体の電源ボタンで電源を切ると消費電力は0Wになり電力を消費しません。

パノラマサウンド
(☛P.30)

臨場感あふれるサウンドと原音に忠実な音を再現
スペシャライザーの効果により、あたかも劇場で鑑賞しているかのような臨場感を味わうことができます。
また、BBE回路により、スピーカーを通ることで失われてしまう音の成分を復元し、原音に忠実な音で聞くことができます。



機能の紹介が画面で見られます!
メニューボタンを押して設定メニューを表示させてください。「**紹介を始める**」を選んで**決定**ボタンを押すと、デモンストレーションが始まります。



Victor

フラットハイビジョンテレビ
HV-32PZ900

本書には、７つの検索方法があります。目的や状況に応じて効率よく説明を探してください。

初めて使用するとき P.53

目次から探す P.10

テレビやリモコンのボタン位置から探す P.55

主な特長から探す P.8

メニュー画面から探す P.114

症状やメッセージから探す P.100

用語から探す P.118

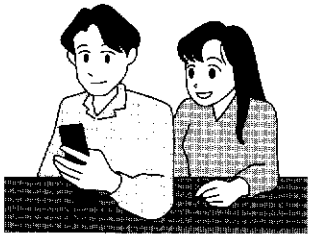
安全上のご注意 主な特長

◆ **安全上のご注意** 2
◆ **主な特長** 8

テレビを楽しむ

◆ **テレビを見る** 14
◆ **画面サイズを選ぶ**(ワイド画面で楽しむ) 16
◆ **2画面を同時に見る**(2画面同時表示) 18
◆ **裏番組を同時に見る**(裏番組同時表示) 20
◆ **番組を一覧表示する**(番組一覧) 21
◆ **最適な映像で楽しむ** 22
　映画・ナチュラルシネマ 22
　映像設定 23
　画面の位置を調節する 24
◆ **映像を調節する**(映像の選択と調節) 26
◆ **おやすみタイマー**(自動オフ機能) 28
◆ **静止画にする**(メモ機能) 29
◆ **音声を選ぶ**(音声の切換・調節) 30
◆ **音声を調節する**(さまざまな音声調節) 31
◆ **おトクな節約機能を使う** 32
　おトク機能(E.E.センサー・無信号電源オートオフ・BS電源オートオフ) 32
　テレビを消し忘れないために 34

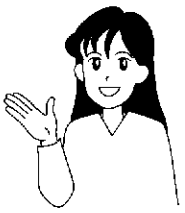
各種設定のしかた



◆ **外部機器のための設定** 36
　ビデオ2／BSデコーダー入力の設定 36
　ビデオ1の映像と音声の出力設定 37
　AVコンピュリンクII機能を設定する 38
　映像の輪郭を強調する 39
◆ **シアタープロの設定**(シアタープロで映像を調節する) 40
◆ **受信電波が弱いときの設定**(映像のざらつきを抑える) 42
◆ **オートパノラマの設定**(4:3映像の表示サイズを決める) 43
◆ **ハイビジョン番組の録画のための設定** 44
　M-Nコンバーターの出力サイズ設定 44
　MUSEデコーダーの貸し出しを設定する 45
◆ **ハイビジョンの音声の設定**(MUSE音声の出力を設定する) 46
◆ **E.E.センサーの効果表示** 47
◆ **地磁気による影響を少なくする** 48
◆ **ゴーストを低減する** 50
　ゴースト低減時間の設定 51
◆ **デモンストレーションをする**(デモ機能) 52

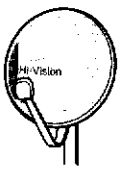
もくじ

初めてお使いになる方は ここからお読みください



◆ **テレビを見る前の準備**（確認と準備）……54
◆ **各部のなまえとはたらき**……55
本体前面……55
本体後面……56
リモコン……58
◆ **アンテナをつなぐ**（VHF、UHFアンテナ）……60
◆ **チャンネルを合わせる**……62
地域の放送局を一括して設定する……62
放送局をひとつずつ設定する……64
CATVチャンネルを直接選ぶ……66
CATVチャンネルを設定する……68

BS放送を楽しむために



◆ **BSアンテナをつなぐ**（接続方法）……72
◆ **BSアンテナの設定をする**……74
BSアンテナに電源を供給する……74
BSアンテナの向きを調節する……75
◆ **BSチャンネルの設定を変更する**
（画面表示とBSチャンネルのスキップを設定する）……76
◆ **BS番組を録画する**……78
（BSなしビデオデッキをお持ちのとき）……78
（BS内蔵ビデオデッキをお持ちのとき）……43
◆ **BSデジタル放送を見る**（接続のしかたと操作方法）……80

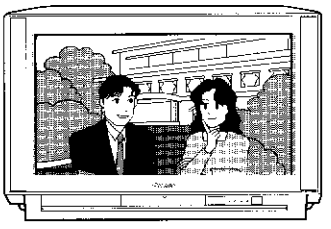
さまざまな接続のしかた

◆ **AV機器などを接続する**……82
接続できる機器……82
ビデオムービーを接続する……83
テレビゲームを接続する……83
ビデオデッキ（BSなし）を接続する……84
ビデオデッキ（BS内蔵）を接続する……86
BSデコーダーを接続する……87
DVDプレーヤーを接続する……88
BSデコーダーとBS内蔵ビデオデッキを接続する……90
BSデコーダーとW-VHSデッキを接続する……92
BSデジタルチューナーを接続する……94
MUSE-LDプレーヤーを接続する……95
アンプ（オーディオシステム）を接続する……96
ノートパソコンを接続する……98

トラブルシューティング 地域番号表・その他

◆ **故障かな？と思ったら**（トラブルシューティングQ&A）……100
◆ **こんなメッセージが表示されたら**……104
◆ **地域番号表**……106
◆ **主な仕様**……110
◆ **保証書とアフターサービス**……112
◆ **メニュー早見表**……114
便利メニュー……114
マルチメニュー……115
設定メニュー……116
◆ **索引**……118

テレビを楽しむ

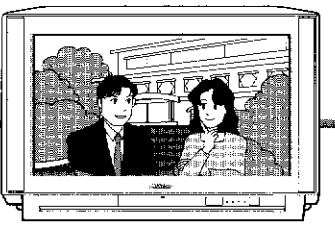


◆テレビを見る 14
◆画面サイズを選ぶ 16
◆2画面を同時に見る 18
◆裏番組を同時に見る 20
◆番組を一覧表示する 21
◆最適な映像で楽しむ 22
◆映像を調節する 26
◆おやすみタイマー 28
◆静止画にする 29
◆音声を選ぶ 30
◆音声を調節する 31
◆おトクな節約機能を使う 32

すぐにテレビを見たい!

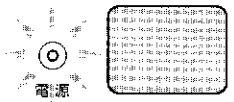
テレビを見る

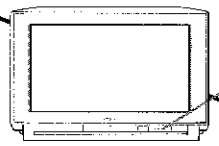
基本操作



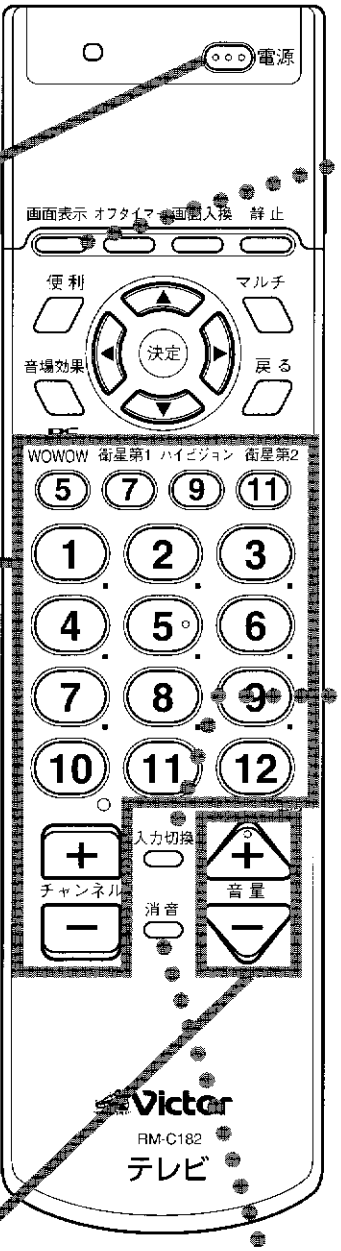
1

本体の電源ボタンを押し、電源ランプを点灯させます。



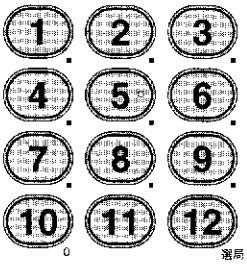


本体の電源ランプが点灯しているときは、リモコンの電源ボタンを押します。



2 チャンネルを選ぶ

直接チャンネルを選ぶか、＋－ボタンで順番に選びます。



または

● チャンネルの選び方には、2 つの方法があります。
66ページの「CATV選局方式の選択」により、チャンネルの選び方が変わります。CATV選局方式の選択を「**数字入力方式**」にしたときは、2桁の数字を入力して選びます。

BS放送やハイビジョン放送を見るには・・・

WOWOW 衛星第1 ハイビジョン 衛星第2

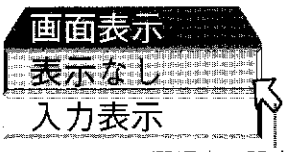
3 音量を調節する

応用操作

●画面表示を出すには

画面表示 ボタンを押す

チャンネル番号、ビデオなどの外部入力(「入力表示」)を画面に出したままにするときに使います。



選択中の設定が矢印で示されます。

1度押すと、現在の設定が表示されます。その後押すたびに、入力が次のように切り換わります。

「表示なし」→「入力表示」→「表示なし」→…。

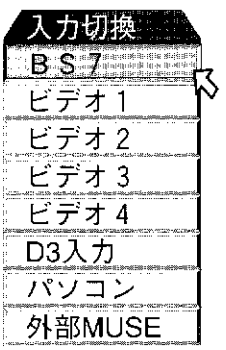
※映像が映っていないときは、チャンネル番号やビデオ入力番号などの表示を消すことはできません。

●ビデオなどの映像を見るには

入力切換 ボタンを押す

押すたびに、入力が次のように切り換わります。

「テレビ(VHF/UHF/CATV/BS)」→「ビデオ1」→「ビデオ2」→「ビデオ3」→「ビデオ4」→「D3入力」→「パソコン」→「外部MUSE」→「テレビ」→…。



※ ビデオ2端子をデコーダー入力(☛P.36)として使っているときは、「**ビデオ2**」は選べません。

※ D3入力端子に機器が接続されていない(☛P.94)ときは、「**D3入力**」は選べません。

※ BSジャックが「**入り(BS固定)**」(☛P.79)のとき、あるいは、MUSE貸し出し設定が「**設定する**」(☛P.45)のときは「**外部MUSE**」は選べません。

●急いで音を消すには

消音 ボタンを押す

電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。もう1度押すと、元の音量に戻ります。

本体電源を使えば待機中はゼロワットOW

● **本体の電源ボタンで電源を切ると消費電力はゼロワットになります**
リモコンの**電源**ボタンを押して電源を切ったときは、マイコンが動作している待機状態になります。ほんのわずかですが電力を消費しています(0.29W)。
待機状態の消費電力が気にならない場合や、本体の**電源**ボタン操作をしたくないときは、リモコンの電源の操作をしてください。

電源を入れるときのポイント

主電源を切ったときの状態によって動作が異なります。

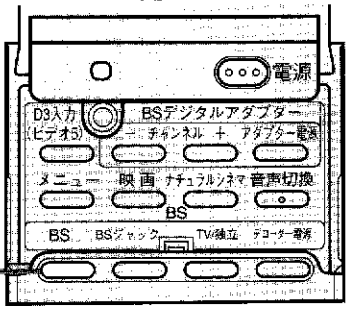
● テレビ放送やビデオが映っている状態でテレビ本体の**電源**ボタンで主電源を切ったときは、次にテレビ本体の**電源**ボタンを押しただけで電源が入ります(テレビ放送やビデオが映るようになります)。

● リモコンの**電源**ボタンで電源を切った状態でテレビ本体の**電源**ボタンの主電源を切ったときは、次にテレビ本体の**電源**ボタンを押しただけでは電源は入りません(テレビ放送やビデオが映りません)。リモコンの**電源**ボタンかテレビ本体の**チャンネル**ーボタンを押して電源を入れてください。

次の操作でもBSチャンネルが選べます

1 リモコンのふたを開け、**BS**ボタンを押す
2 0(10)から9ボタンを押して、BSチャンネルを選ぶ

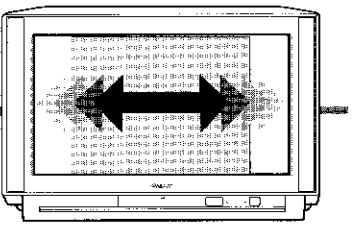
ふたを開けたところ



画面サイズを選ぶ

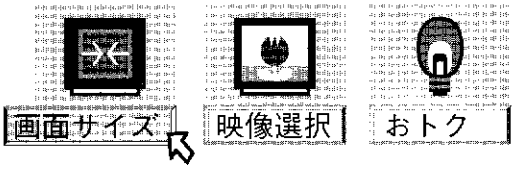
ワイド画面で楽しむ

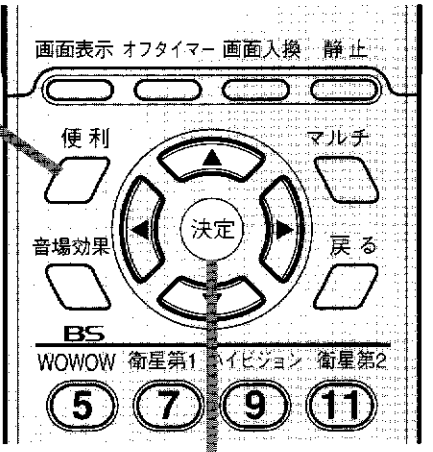
ご覧の番組やビデオを、迫力満点のワイド画面でお楽しみください。



1 便利ボタンを押す

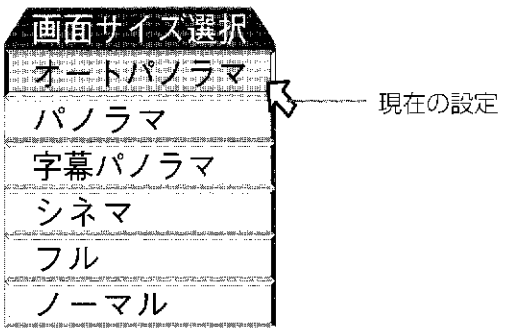
便利メニューが現れます。





2 そのまま決定ボタンを押す

画面サイズ選択メニューが現れます。



- 画面サイズ選択メニューの項目は、表示している映像の種類により変わります。

3 ◆◆で画面サイズを選ぶ

- 画面サイズについては、次ページをご覧ください。

4 決定ボタンを押す

- 決定ボタンを押さなくても、数秒後には自動的に表示は消えます。

画面サイズに関するご注意とお願い

画面サイズのご利用について
ワイド画像でない従来(通常)の4:3の映像を「**パノラマ**」、「**字幕パノラマ**」、「**シネマ**」サイズでご覧になると、周辺画像の一部が見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、「**ノーマル**」サイズでご覧になれます。

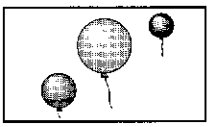
映像の見え方について
このテレビは各種の画面サイズ選択機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。

著作権の侵害について
テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ選択機能(パノラマ)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

ノーマルサイズで視聴する場合のご注意
長時間「**ノーマル**」サイズでご覧になると、画面の左右に帯びが残る「焼きつき」が発生しやすくなります。
また、非常に明るい映像で視聴すると、さらに焼きつきが発生しやすくなります。

◆画面サイズについて◆

本機は、ハイビジョン放送(画面の横と縦の比率が16:9)の映像をそのままの迫力でご覧になれます。



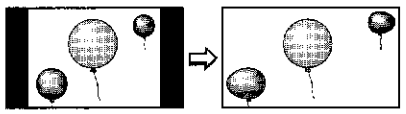
横と縦の比が16:9の映像
(ハイビジョン放送)

ハイビジョン放送をご覧のときは、画面サイズは自動的に「フル」になります。
チャンネルや、入力を切り換えると、元の画面サイズに戻ります。

ワイドクリアビジョンを受信すると
画面サイズは自動的に「**シネマ**」になります。
ワイドクリアビジョンの放送が終了すると自動的に元の画面サイズに戻ります。
また、チャンネルや入力を切り換えても、元の画面サイズに戻ります。

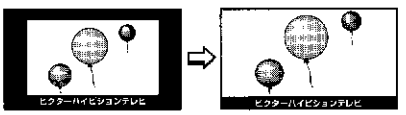
ご自分の好みやご覧の番組に適した画面サイズで映像をお楽しみください。

「パノラマ」サイズ



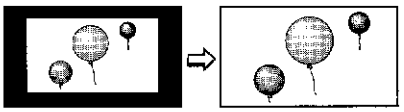
従来のテレビサイズの映像を、不自然に見えないように拡大した映像です。

「字幕パノラマ」サイズ



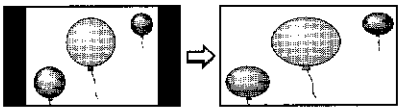
下側に字幕の入った映画番組の字幕部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。

「シネマ」サイズ



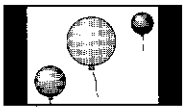
劇場サイズの映画番組や映画ソフトをそのまま拡大した映像です。

「フル」サイズ



従来のテレビサイズの映像をそのまま横に拡大し、画面いっぱいに映します。

「ノーマル」サイズ



従来のテレビサイズ(4:3)の映像です。

さらに楽しむには

●パソコン入力端子からの映像を見ているときは
「**フル**」または「**ノーマル**」から選ぶことができます。

●コンポーネント映像入力端子につないだW-VHSデッキの映像を見ているときは
「**サイズ1**」または「**サイズ2**」から選ぶことができます。通常は「**サイズ1**」にしておきます。

●BSデジタル放送(☛P.80、94)を見ているときは
(D3入力を選んでいるとき)
- 480pの映像信号を受信しているときは、「**シネマ**」、「**フル**」または「**ノーマル**」の中から選ぶことができます。
- 1080iの映像信号を受信しているときは、自動的に「**サイズ2**」になります。

●「オートパノラマ」のときは
「**パノラマ**」(または「**ノーマル**」)、「**シネマ**」、「**字幕パノラマ**」の中から最適な画面サイズが自動的に選ばれます。
- 「**パノラマ**」サイズになるか「**ノーマル**」サイズになるかは、設定により ます。詳しくは、「オートパノラマの設定」(☛P.43)をご覧ください。
- 黒帯のある映画や暗い映像では、判別のために数秒間かかることがあります。
- 暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや、途中で画面サイズが切り換わることがあります。このときは、「**オートパノラマ**」以外の画面サイズを選んでください。画面サイズが固定されます。

本体のボタンで操作するときは

画面サイズ選択ボタンを繰り返し押します。
1度押すと、現在の設定を表示します。その後押すたびに画面サイズが切り換わります。

用語解説 **ワイドクリアビジョン放送**
画面の縦横比9:16の放送。本機では信号を検出して、自動的に画面サイズを「**シネマ**」に切り換えます。

用語解説 **ハイビジョン放送**
現行のテレビ放送(NTSC)の約5倍の情報量を持つ高画質の放送方式。

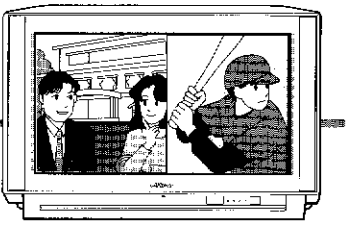
用語解説 **外部MUSE機器**
W-VHSやMUSE-LDなどのMUSE信号の映像を再生・録画する機器。

ドラマも見たいし、野球も見たい！

2画面を同時に見る

2画面同時表示

「ドラマも見たいし野球も見たい」、「テレビも見たいしビデオも見たい」。そんなときに・・・。



（イラストはイメージです。）

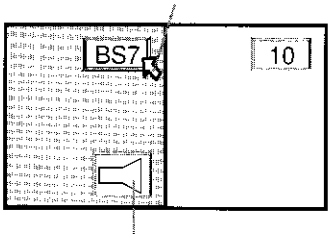
◆基本操作◆

1 マルチボタンを押す

マルチメニューが現れます。

2 ↖で↖を「2画面」に合わせ 決定ボタンを押す

2画面表示になります。
2画面のときは、操作画面の音声がスピーカーから聞こえてきます。



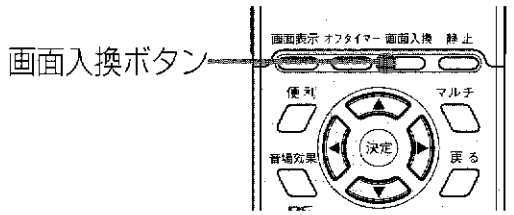
ひとくちメモ 操作画面って何？

● **操作画面というのは、2画面表示や裏番組表示にして見ているときに、チャンネル切り換えや音量調節ができる画面のことです。**
画面に↖を表示して、操作画面であることを示しています。

◆応用操作◆

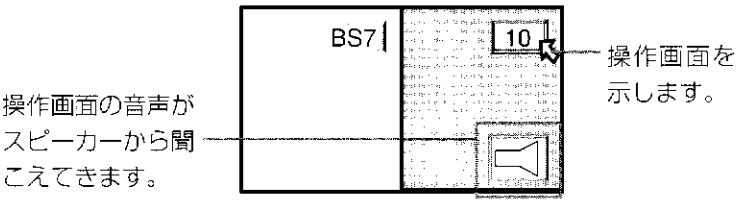
左右の画面を入れ換えるには

2画面にしているときに、**画面入換**ボタンを押します。
押すたびに、左右の画面が入れ換わります。



操作画面を変えるには

2画面にしたときは、左画面が操作画面になっています。◀ ▶でどちらの画面を操作するかを選べます。
操作画面では、**チャンネル**ボタンでチャンネルを切り換えたり**音量**ボタンで音量を調節することができます。



操作画面を拡大するには

● 左画面を操作画面にして、◀ を繰り返し押します。

● 右画面を操作画面にして、 ▶を繰り返し押します。

押すたびに、操作画面が大きくなります(3段階)。

1画面に戻すには

2画面にしているときに、**決定**ボタンを押します。操作画面の映像が1画面になります。

● 次の方法でも1画面に戻せます。

1 2画面にしているときに**マルチ**ボタンを押し、マルチメニューを表示する
2 矢印を「**1画面**」に合わせて、**決定**ボタンを押す

さらに楽しむには

● **静止画にしたい!**(☛P.29)
2画面中に**静止**ボタンを押すと操作画面の動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。
もう1度**静止**ボタンを押すと、元の2画面に戻ります。

こんな点にご注意ください

● **2画面中にヘッドホンをつなぐと…**
スピーカーからは左画面の音声、ヘッドホンからは右画面の音声が聞こえてきます。(ヘッドホンからのテレビ放送の音声はモノラル音声になります。)

● **ヘッドホンをつないでいるときに2画面にすると、**左画面の音声はスピーカーから聞こえなくなります。左画面の音声を聞きたいときは、操作画面を左画面にしてから、**音量**ボタンを押し、音量を上げてください。

● **次のような2画面表示はできません。**
- 左右の画面に同じチャンネルや同じビデオ入力の映像を映す。(また、ビデオ3とビデオ4の映像を同時に映すこともできません。)
- 左右の画面で同時にBS放送を見る。
- W-VHSのハイビジョンの映像、MUSE-LDプレーヤーなどの外部MUSE機器の映像を映す。
- パソコン入力端子に入力した映像を映す。
- D3入力端子に入力した映像を映す。

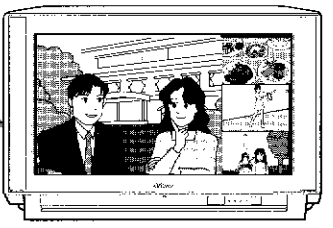
2画面中は…
オートパノラマ(☛P.43)は使えません。

裏番組3局を同時に見たい！

裏番組を同時に見る

裏番組同時表示

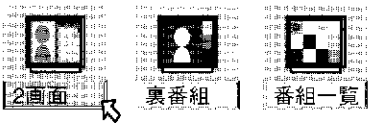
現在見ている番組(ビデオ)と、そのほか3つの裏番組から見たい番組を選べます。

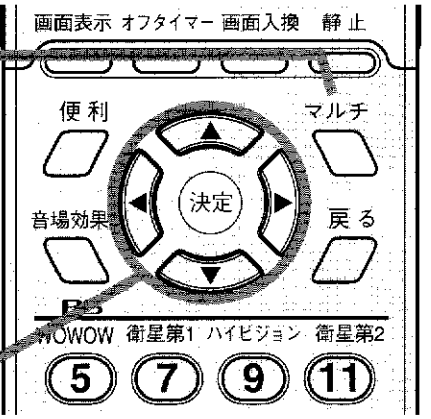


◆基本操作◆

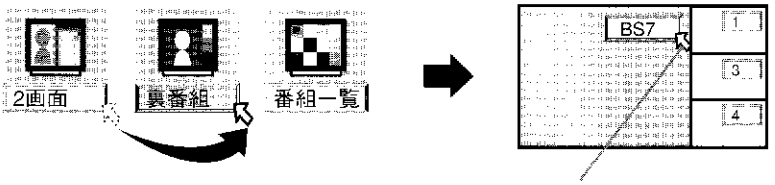
1 マルチボタンを押す

マルチメニューが現れます。





2 ○で↖を「裏番組」に合わせ 決定ボタンを押す



操作画面を示します。

◆応用操作◆

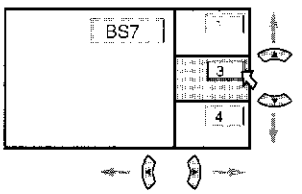
操作画面を変えるには

裏番組表示にしたときは、左画面が操作画面になっています。

○でどの画面を操作するかを選びます。

操作画面では、チャンネルを切り換えることができます。

音声については、常に左画面の音声が出力されます。



例：中央の裏番組画面を操作画面にした状態

1画面に戻すには

裏番組表示にしているときに、**決定**ボタンを押します。**操作画面の映像が1画面になります。**

- 次の方法でも1画面に戻せます。
  1. 2画面にしているときに**マルチ**ボタンを押し、マルチメニューを表示する
  2. 矢印を「**1画面**」に合わせて、**決定**ボタンを押す

さらに楽しむには

- **裏番組画面を表示中に静止ボタンを押すと**

操作画面が左画面のときは、裏番組は解除され、ご覧になっていたチャンネルの動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。

もう1度**静止**ボタンを押すと、裏番組に戻ります。

- 操作画面が右画面のときは、静止ボタンは働きません。

こんな点にご注意ください

- **裏番組表示中にチャンネルを切り換えたときや、裏番組表示から1画面表示に戻すときに**

「カチッ」という音がしますが、表示切り換えの動作音であり、異常ではありません。

操作画面って何？

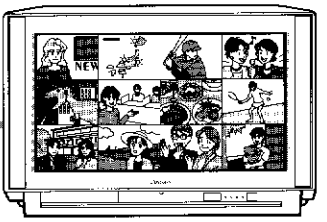
- **操作画面というのは、2画面表示や裏番組表示にして見ているときに、チャンネル切り換えや音量調節ができる方の画面のことです。**

画面に↖を表示して、操作画面であることを示しています。

番組を一覧表示してチャンネルを選びたい!

番組を一覧表示する

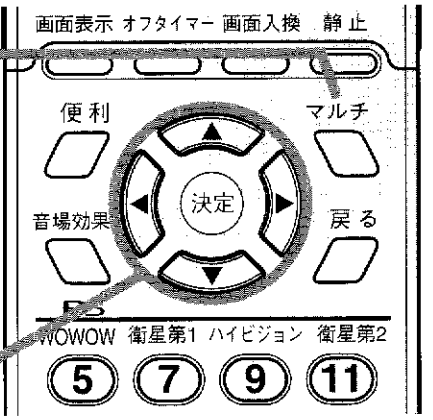
番組一覧



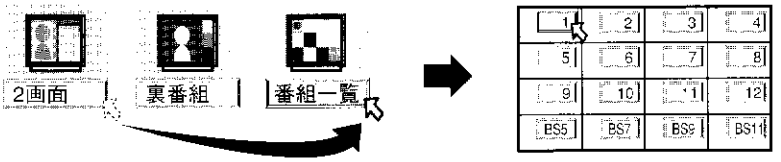
番組を一覧して、見たい番組を選べます。

1 マルチボタンを押す

マルチメニューが現れます。



2 ◇で↖を「番組一覧」に合わせ 決定ボタンを押す

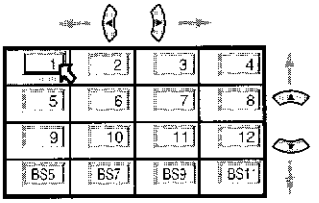


画面が(9、12または16)分割されて、番組が静止画で映ります。(このときは音声は聞こえません。)
受信できる放送局が16以上あるときは、◇を押すと、番組一覧の続きを見ることができます。

- 一通り分割表示の一覧が終わると、左上の画面から順番に、数秒間ずつ動画が再生されます。(このときは音声も聞こえます。)

3 ◇で見たい番組を選ぶ

- ボタンを押したままにすると、素早く番組を選ぶことができます。



4 決定ボタンを押して選んだ番組を1画面で映す

こんな点にご注意ください

- **BSジャック(☛P.79)が「入り(BS固定)」のときは**

BSチャンネルはBSジャックしているチャンネルだけが映ります。
他のBSチャンネルは一覧できません。

- **チャンネル+/−ボタンで選べないチャンネル(☛P.65、69)は…**

一覧することはできません。

- **番組一覧中は、次の操作はできません。**

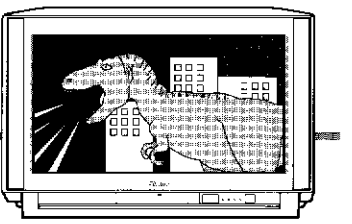
- オートパノラマを使う。
- **便利、メニュー、映画、ナチュラルシネマ、音場効果、音声切換、静止、画面入換、オフタイマー、チャンネル+/−、BSジャック、入力切換**ボタンを使う。

手軽に映像を調節したい！

最適な映像で楽しむ

映画・ナチュラルシネマ

映画やアニメに最適な画像で楽しむことができます。



映画番組や映画ソフトを見るとき

映画 ボタンを押す

映画番組や映画ソフトに最適な画面サイズ、しっとりとした映像、目にやさしい明るさになります。
押すたびに、「入り」「切り」が切り換わります。
「入り」にすると、画面サイズ、映像選択、E.E.センサー、白バランスが自動的に設定されます。

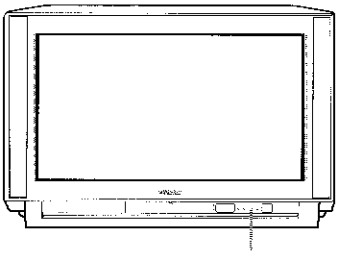
項目	設定結果
画面サイズ	オートパノラマ
映像選択	シアター
E.E.センサー	入り
白バランス	高

映画やアニメを見るとき

ナチュラルシネマ ボタンを押す

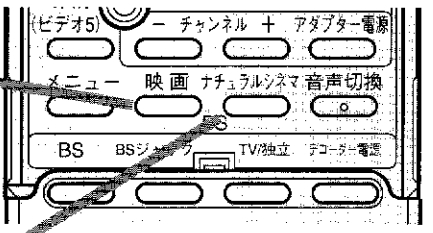
フィルム撮影された映画やアニメをご覧になるときに、動きが速いところの輪郭がぼんやりと見えることがあります。
このようなときに、ナチュラルシネマを「入り」にします。
動きの速いところも、ぼんやり感のない映像でご覧になれます。
押すたびに、ナチュラルシネマの「入り」「切り」が切り換わります。

「入り」にすると、画面に「ナチュラルシネマモードにしました。」というメッセージが現れ、ナチュラルシネマランプが緑色に点灯します。



ナチュラルシネマランプ

ふたを開ける



こんな点にご注意ください

- **2画面中、裏番組中、番組一覧中は映画ボタンを押しても、画面サイズは設定されません。**
- **2画面中、裏番組中、番組一覧中はナチュラルシネマボタンは使えません。**
- **次のようなときは映画ボタンの設定は「切り」になります。**
  - ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
  - S1映像信号が入力されたとき
  - チャンネルや入力を切り換えたとき
- **次のようなときはナチュラルシネマボタンの設定は「切り」になります。**
  - ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
  - チャンネルや入力を切り換えたとき
  - 2画面、裏番組や番組一覧に画面を切り換えたとき

また、ハイビジョン放送を見ているときや、2画面中、裏番組中や番組一覧中は設定を「入り」にすることはできません。

用語解説 S1（エス）映像信号

S映像信号にMUSE-NTSCコンバーターのフルモード（縦長の映像）を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。識別信号を検出すると自動的に画面サイズを「フル」に切り換えます。

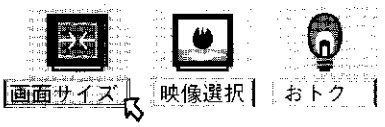
ひとくちメモ ナチュラルシネマに関するお願い

通常は、ナチュラルシネマは「切り」にしてお使いください。上記のような映像以外のときに、設定を「入り」にすると輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがあります。

映像設定

1 便利 ボタンを押す

便利メニューが現れます。



2 で を「映像選択」に合わせ 決定 ボタンを押す

「映像選択メニュー」が現れます。

3 で最適な映像を選ぶ

例:「ダイナミック」を選んだとき

4 決定 を押す

- 決定ボタンを押さなくても、数秒後には自動的に表示は消えます。

こんなときに使います

映像設定	条件	効果
スタンダード	ふつうの部屋でテレビを見るとき	標準の映像設定になります。
ダイナミック	直射日光が差し込むような明るい部屋でテレビを見るとき	コントラスト差の大きいメリハリ感のある映像になります。
シアター	映画番組や映画ソフトを見るとき	しっとりとした映像になります。
ゲーム	テレビゲームを楽しむとき	明るさを抑え、輪郭を強調した映像になります。

各映像設定の調節項目(ピクチャー・黒レベル・シャープネスなど)を変更するには、「映像を調節する」(☛P.26)をご覧ください。

「**シアター**」を選んでいるときは、より微妙で繊細な映像調節ができるようになります。(☛P.40)

最適な映像で楽しむ(つづき)

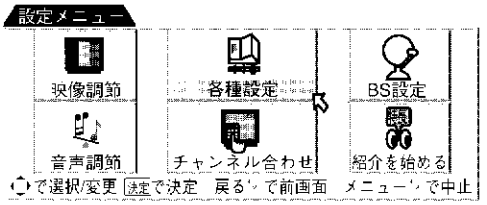
画面の位置を調節する

字幕が隠れてしまうときなどに、画面の位置を調節できます。

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

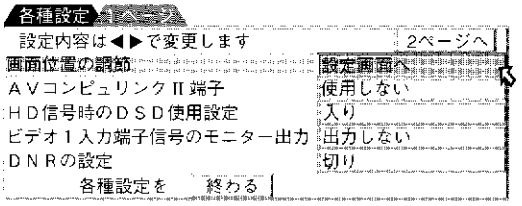
2 で↖を「各種設定」に合わせ 決定ボタンを押す



➡ 決定

各種設定の1ページ目が現れます。

3 もう1度 決定ボタンを押す



➡ 決定

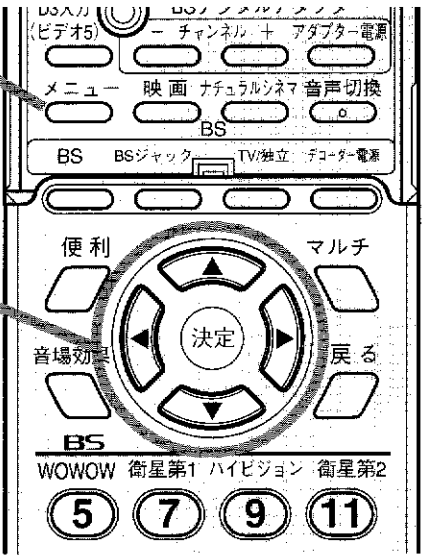
画面位置の調節画面が現れます。

4 で画面の位置を調節する

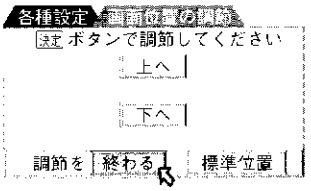
画面を上に移動するときは、矢印を「上へ」に合わせて、**決定**ボタンを繰り返し押す。

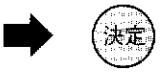
画面を下に移動するときは、矢印を「下へ」に合わせて、**決定**ボタンを繰り返し押す。

ふたを開ける



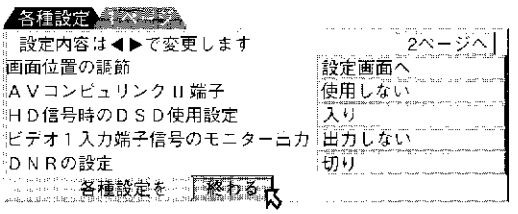
5 調節が終わったら、で↖を「調節を「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す





ふたたび、手順**3**の画面が現れます。

6 で↖を「各種設定を「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す



メニュー画面が消えます。

さらに楽しむには

● パソコン入力端子からの映像の画面の位置を調節するときは

左右への位置調節もできます。「画面の位置を調節する」の手順**4**で次の操作をしてください。

- 画面を右に移動するときは、矢印を「**右へ**」に合わせて、**決定**ボタンを繰り返し押す。
- 画面を左に移動するときは、矢印を「**左へ**」に合わせて、**決定**ボタンを繰り返し押す。

● 画面の位置を戻すには

手順**5**で、画面位置の調節画面の「**標準位置**」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押します。

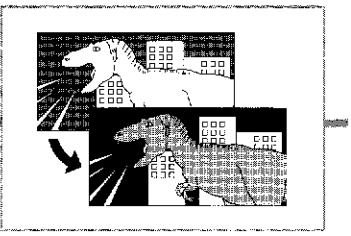
こんな点にご注意ください

● 「ノーマル」サイズの画面は位置調節はできません。

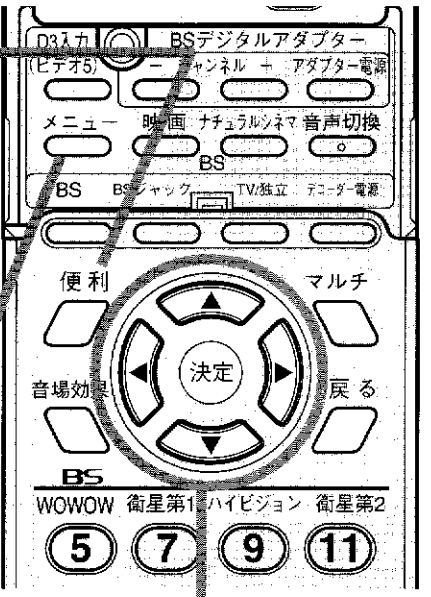
映像を調節する

映像の選択と調節

それぞれの映像設定(☛P.23)について、映像調節値を変更することができます。



ふたを開ける

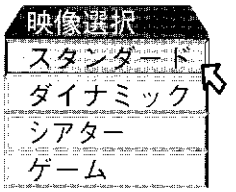


1 便利ボタンを押す

画面に便利メニューが現れます。

1 決定ボタンを押します。

画面に右の映像選択メニューが現れます。



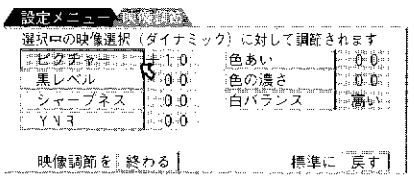
2 ▲▼を押して調節したい映像設定を選び、決定ボタンを押します。

2 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

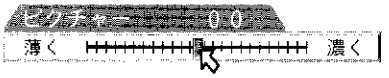
3 決定ボタンを押す

映像調節画面が現れます。



4 ▲▼◀▶で調節する項目を選び決定ボタンを押す

例:「ピクチャー」を選んだとき



例:「白バランス」を選んだとき

5 ↕↔で調節する

● 数秒間、操作を行わないと、手順**3**の映像調節画面に戻ります。

6 他の項目も調節するときは、戻るボタンまたは決定ボタンを押して、映像調節画面に戻る

手順**4**から**6**を繰り返し、他の項目を調節します。

7 調節が終わったら、「映像調節を『終わる』」に↖を合わせて決定ボタンを押す

さらに楽しむには

● **映像選択で「シアター」を選んでいるときは**
矢印を「**シアタープロ設定へ**」に合わせて、**決定**ボタンを押すと、より微妙で繊細な映像調節ができるようになります。(☛P.40)

こんなとき	項目	◀ボタンを押す	▶ボタンを押す
部屋の明るさに合わせて、見やすい映像の明るさや濃さにする	ピクチャー	薄くなる	濃くなる
見やすい明るさにする	黒レベル	暗くなる	明るくなる
お好みの鮮明さにする	シャープネス*	柔らかい感じ	くっきりする
細かな表示がつぶれないようにする	YNR*	ノイズを少し低減する	ノイズを大きく低減する
自然な肌色になるようにする	色合い	赤っぽくなる	緑っぽくなる
見やすい色の濃さにする	色の濃さ	薄くなる	濃くなる
		▼ボタンを押す	**▲ボタンを押す**
青みを強くして、爽やかさを強調する	白バランス	高い色温度	低い色温度
赤みを強くして、暖かみを強調する			

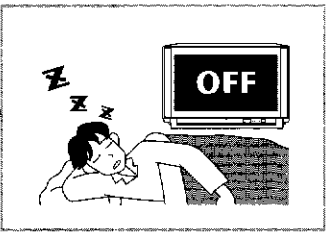
* 映像選択で「**シアター**」を選んでいるときは、映像調節の「シャープネス」は調節できません。
また、パソコン入力端子からの映像を見ているときは、映像調節の「シャープネス」と「YNR」は調節できません。

自動的にテレビを消したい!

おやすみタイマー

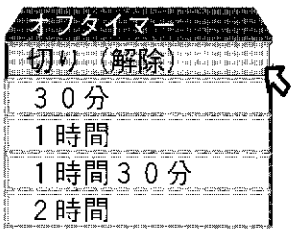
自動オフ機能

テレビを見ながら寝てしまいそうなときに。



1 オフタイマー ボタンを押す

オフタイマーメニューが現れます。

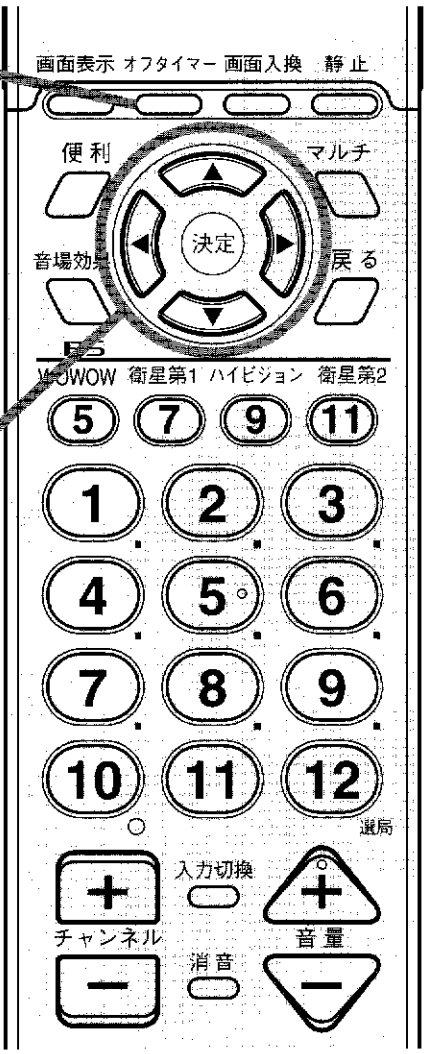


2 で をお好みの時間に合わせ 決定 ボタンを押す

1度押すと、設定メニューを表示します。その後押すたびに、設定時間が変わります。

例:「1時間」を選んだとき

設定後しばらくすると、画面に残り時間が表示されます。



ひとくちメモ 残り時間表示と解除のしかた

● 残り時間表示

残り時間はテレビを操作すると消えます。残り時間を再び表示させたいときは、オフタイマーボタンを1度押します。
表示が消えていても、動作3分前になると、残り時間が自動的に表示されます。

● 再設定あるいは解除するには

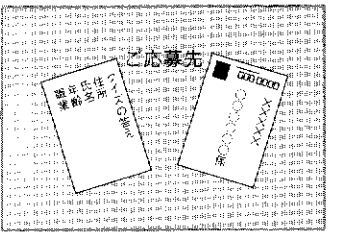
オフタイマーボタンを押し、設定時間を表示してから、時間を選び直してください。

クイズの応募先をストップしてメモしたい！

静止画にする

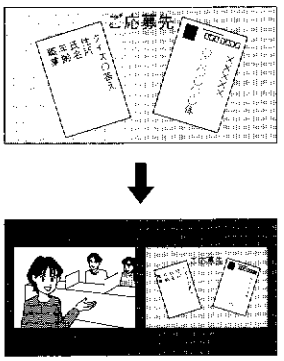
メモ機能

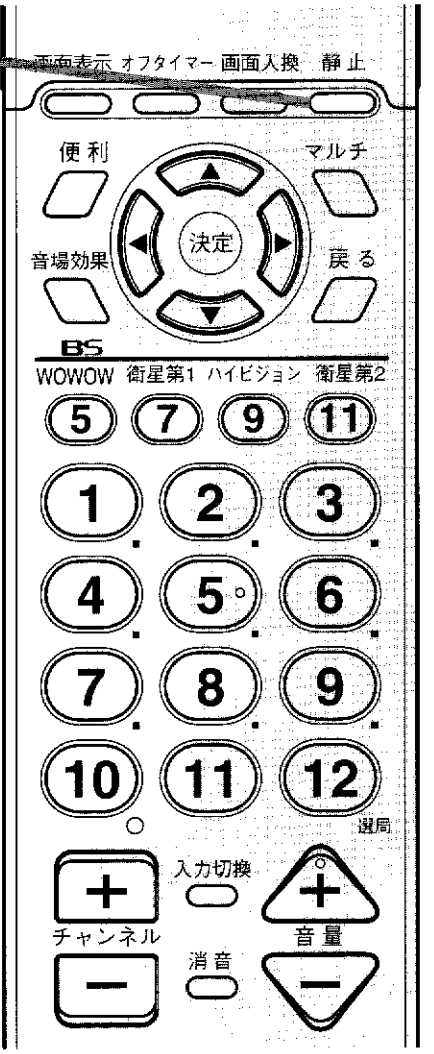
応募先の住所や料理番組のレシピをメモしたいときに便利です。



1 静止ボタンを押す

2画面になり、右画面に静止画が映ります。





2 もう1度静止ボタンを押して元の動画に戻す

裏番組を見ているときには

● **裏番組**(☛P.20)**を見ているときに、静止ボタンを押すと**
操作画面が左画面のときは、裏番組は解除され、ご覧になっていた操作画面の動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。
もう1度静止ボタンを押すと、裏番組に戻ります。

- 操作画面が右画面のときは、**静止**ボタンは働きません。

こんな点にご注意ください

● **次のようなときは静止画をご覧になることはできません。**

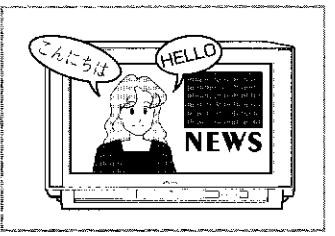
- 番組一覧を表示中のとき。
- W-VHSのハイビジョンの映像、MUSE-LDプレーヤーなどの外部MUSE機器の映像を映す。

洋画をオリジナル音声で鑑賞したい！

音声を選ぶ

音声の切換・調節

音声を切り換えたり、臨場感を加えたりすることができます。



音声を切り換える

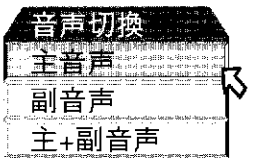
音声切換ボタンを押す

二重音声放送やステレオ音声放送のときに聞きたい音声を選びます。

1度押すと、現在の設定が表示されます。

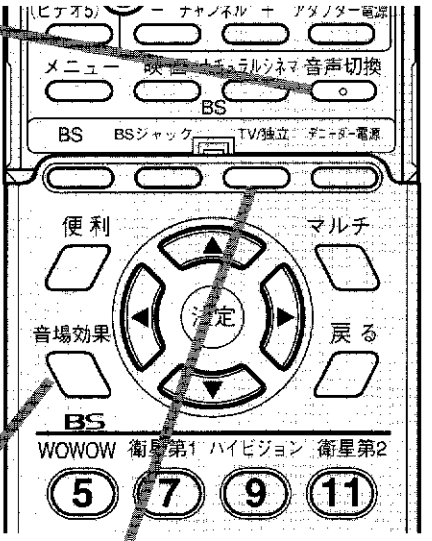
- 押すたびに、次のように音声と表示が切り換わります。

二重音声放送受信中は（BS放送、ふつうのテレビ放送）：
「主音声」→「副音声」→「主＋副音声」→「主音声」→…。
ステレオ放送受信中は（ふつうのテレビ放送）：
「ステレオ」→「モノラル」→「ステレオ」→…。



例：二重音声放送を受信しているとき

ふたを開ける

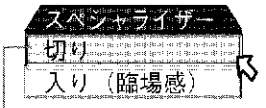


臨場感を楽しむ

音場効果ボタンを押す

ステレオ音声、モノラル音声に臨場感をもたせることができます。

1度押すと、現在の設定が表示されます。
その後押すたびに、スペシャライザー*（臨場感）の「**入り**」「**切り**」が切り換わります。



現在の設定

- ビデオテープを再生したときなど、音声を自動判別できないときは、「**入り（臨場感）**」の代わりに、「**ステレオスペシャライザー入り**」と「**モノラルスペシャライザー入り**」と表示されます。ステレオ音声のときは「**ステレオスペシャライザー入り**」、モノラル音声のときは「**モノラルスペシャライザー入り**」を選んでください。
- ヘッドホンの音声には、この機能は働きません。

SPATIALIZER® 3-D STEREO

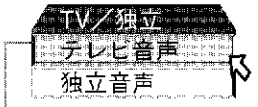
* スペシャライザーはデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドからの実施権に基づき製造されています。SPATIALIZERおよびシンボルマークはデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドの登録商標です。

BS放送の独立音声を聞く

TV独立ボタンを押す

Aモード音声で放送されているBS放送の番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。

1度押すと、現在の設定が表示されます。
その後押すたびに、テレビ音声と独立音声が切り換わります。



現在の設定

St.GIGAなどのBS有料放送の独立音声を聞くには
BSデコーダーで音声を切り換えてください。

用語解説

Aモード音声（エー）
BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

Bモード音声（ビー）
BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はCD（コンパクトディスク）と同等です。

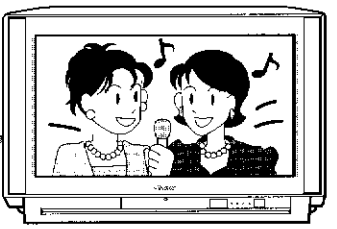
独立音声
テレビ画面と関係のない音声だけの放送。

音声を調節して、音を楽しみたい！

音声を調節する

さまざまな音声調節

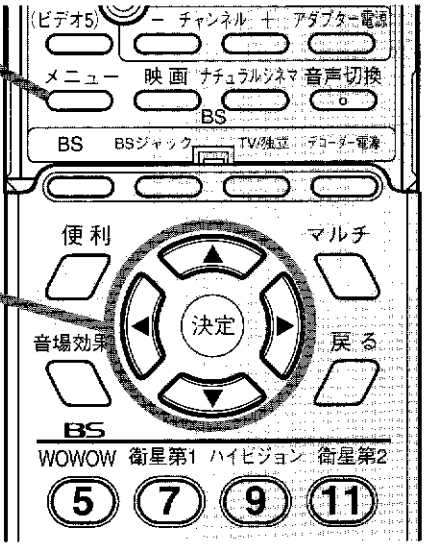
音声をお好みに合わせて調節することができます。



1 メニューボタンを押す

テレビに設定メニューが現れます。

ふたを開ける



2 で↖を「音声調節」に合わせ決定ボタンを押す

→ 決定

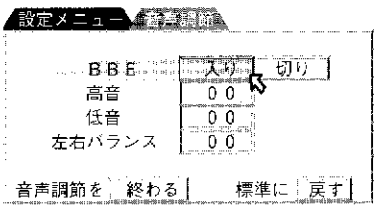
音声調節画面が現れます。

3 で必要な項目を調節する

1 で矢印を設定したい項目に合わせる

2 で設定を変更する

3 手順1と2を繰り返し、必要な設定を行う



4 で↖を「音声調節を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

こんな点にご注意ください

● **音声をヘッドホンで聞いているときは**
設定メニューの「音声調節」は使えません。

元に戻すには

● **音声の調節を元に戻すには**
手順**3**で、音声調節画面の「**標準に『戻す』**」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押します。

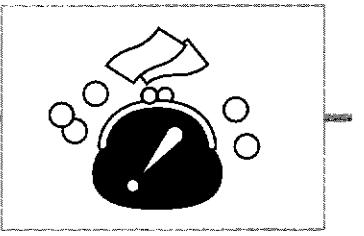
＊ BBEは、BBE Sound社の登録商標です。

音声の調節 項目	を押すと	を押すと
BBE＊	どちらのボタンを押しても、押すたびに「入り」「切り」が切り換わります。「入り」にしておくと、原音に忠実で聞きやすい音を再現します。	
高音	高音が弱まる	高音が強まる
低音	低音が弱まる	低音が強まる
左右バランス	左側の音が大きくなる	右側の音が大きくなる

おトクな節約機能を使う

おトク機能

3つの節電機能(おトク機能)を上手に組み合わせて効率よく節電してください。

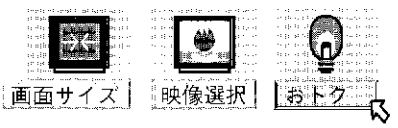


◆基本操作◆ 3つの節電機能をすべて使う

1 便利 ボタンを押す

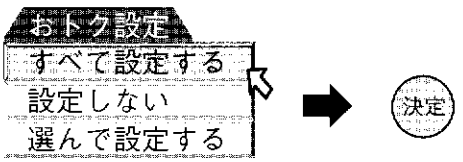
便利メニューが現れます。

2 で「おトク」に合わせ 決定 ボタンを押す

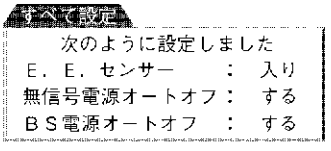


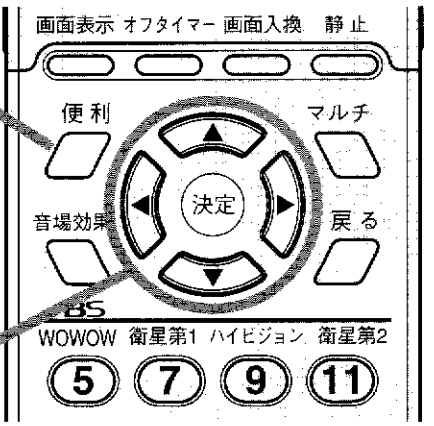
おトク設定メニューが現れます。

3 もう1度 決定 ボタンを押す



テレビ本体前面のE.E.センサーランプが緑色に点灯します。
画面には設定の内容が数秒間表示されます。





用語解説 おトク機能

E.E.センサー、無信号電源オートオフ、BS電源オートオフの3つの節電機能をまとめておトク機能と呼んでいます。

ひとくちメモ 節電機能の種類

おトク機能

E.E.センサー:
Ecology & Economy(目にやさしい省電力)+Electronic Eye(電子の目)の略です。
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になる上、目にやさしい機能です。
● 「**入り**」「**切り**」を選びます。

無信号電源オートオフ:
テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの終了などで、映像信号がなくなったとき、約4分間経過すると電源を切って節電します。
● 設定の「**する**」「**しない**」を選びます。

BS電源オートオフ:
ＢＳチャンネルを見ていないときやＢＳジャックを「切り」にしているときに、BS回路部の電源やBSコンバーターへの電源供給を自動的に切って節電します。
● 設定の「**する**」「**しない**」を選びます。

おトク以外の節電機能

テレビ消し忘れ防止(☛P.34):
テレビの消し忘れを防ぐ機能です。

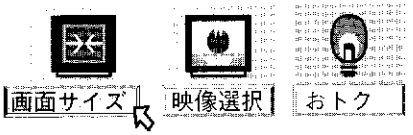
省エネナビ AVコンピュリンクII機能を使わないときは

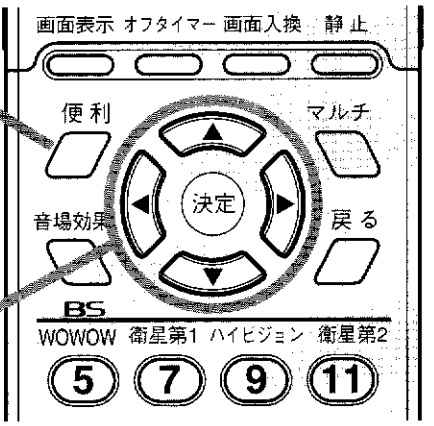
設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」の設定を「**使用しない**」にしてください。(☛P.38)
リモコンの電源ボタンを押して、テレビを待機状態にしたときの消費電力を抑えることができます。

◆応用操作◆ 3つの節電機能を選んで使う

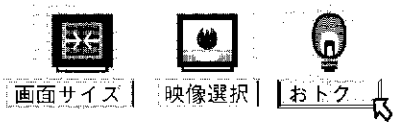
1 便利ボタンを押す

便利メニューが現れます。



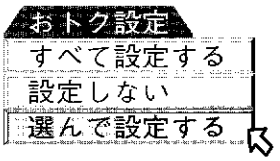


2 で↖を「おトク」に合わせ 決定ボタンを押す



おトク設定画面が現れます。

3 で↖を「選んで設定する」に合わせ決定ボタンを押す

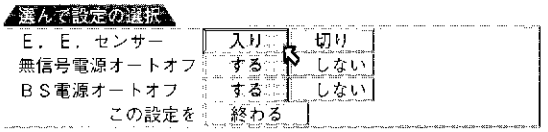


選んで設定の選択画面が現れます。

4 で必要な機能を設定する

1 ▲▼で、↖を上下に移動し、設定する機能を選ぶ

2 ◀▶で、設定値を選ぶ



5 で↖を「この設定を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

さらに楽しむには

- E.E.センサー動作中の明るさの変化をハートのマークの数で表わすことができます。(☛P.47)

「おトク」をすべて解除するには

1 **便利**ボタンを押し、便利メニューを表示する

2 ▶で↖を「**おトク**」に合わせてから、**決定**ボタンを押す

3 ▲▼で↖を「**設定しない**」に合わせて、**決定**ボタンを押す

テレビ本体前面のE.E.センサーランプが消えます。

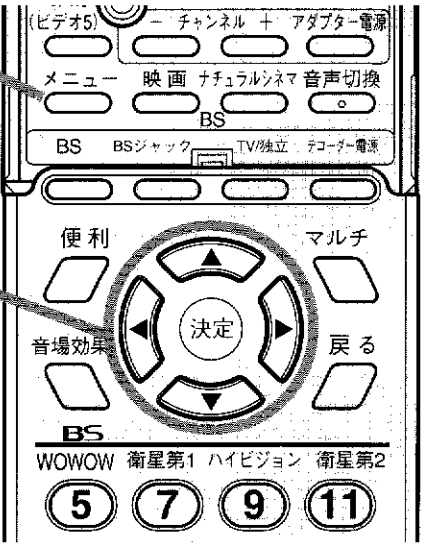
おトクな節約機能を使う(つづき)

テレビを消し忘れないために

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

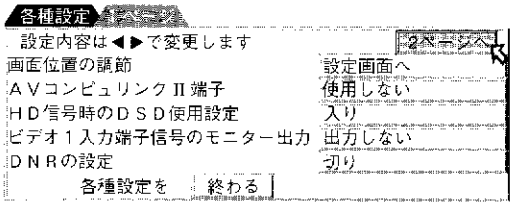
ふたを開ける



2 で↖を「各種設定」に合わせ 決定ボタンを押す

各種設定の1ページ目が現れます。

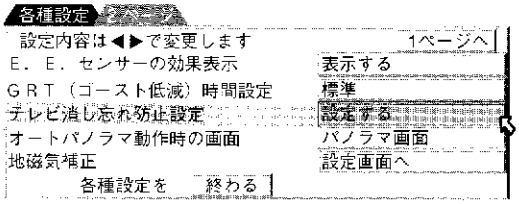
3 で↖を「2ページへ」に合わせ 決定ボタンを押す



➡ 決定

各種設定の2ページ目が現れます。

4 で↖を「テレビ消し忘れ防止設定」に合わせる

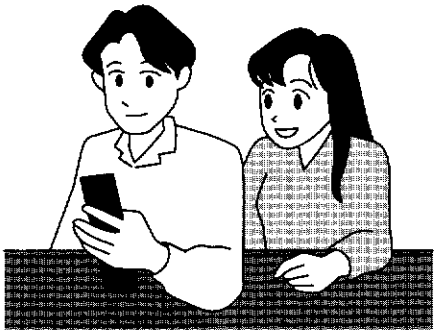


5 で設定をする

- 「**設定する**」: 何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。
- 「**設定しない**」: この機能を使わないときに選びます。

6 で↖を「各種設定を「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す

各種設定のしかた



◆外部機器のための設定 36
◆シアタープロの設定 40
◆受信電波が弱いときの設定 42
◆オートパノラマの設定 43
◆ハイビジョン番組の録画のための設定 45
◆ハイビジョンの音声の設定 46
◆E.E.センサーの効果表示 47
◆地磁気による影響を少なくする 48
◆ゴーストを低減する 50
◆デモンストレーションをする 52

外部機器を使うときに・・・

外部機器のための設定

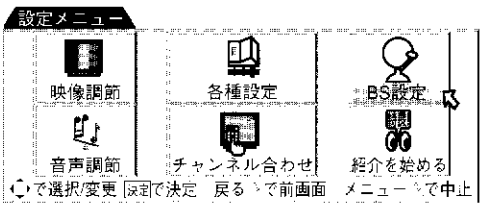
ビデオ2/BSデコーダー入力の設定

ビデオデッキやBSデコーダーを使うために必要な設定をします。

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

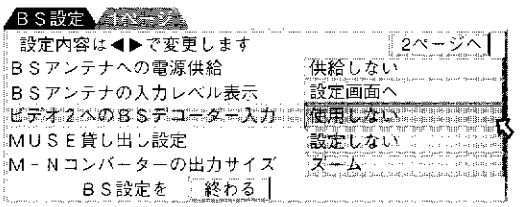
2 ↕で↖を「BS設定」に合わせ 決定ボタンを押す



➡ 決定

BS設定画面が現れます。

3 ↕で↖を「ビデオ2へのBSデコーダー入力」に合わせる

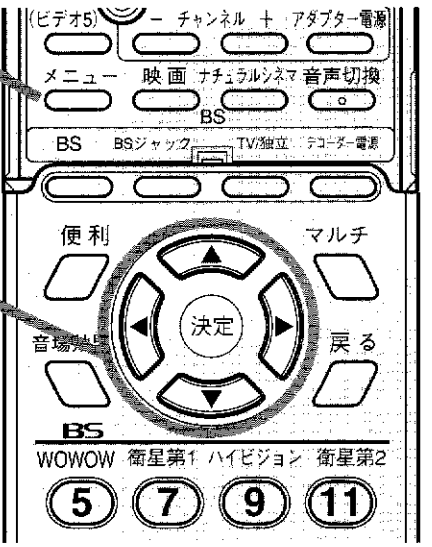


4 ↕で設定を変更する

- 「**使用する(自動切換)**」: BSデコーダーを接続したときに選びます。
- 「**使用する(固定)**」: 将来、衛星を利用した新方式の放送を受信するために、デコーダーなどを接続したときに選びます。
- 「**使用しない**」: BSデコーダー以外の機器を接続したときに選びます。

5 ↕で↖を「BS設定を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

ふたを開ける



こんな点にご注意ください

- ビデオ2入力を選んでいるときや、BSジャック中(☛P.79)または、MUSEデコーダー貸し出し中(☛P.45)は、ビデオ2/BSデコーダー入力の設定はできません。

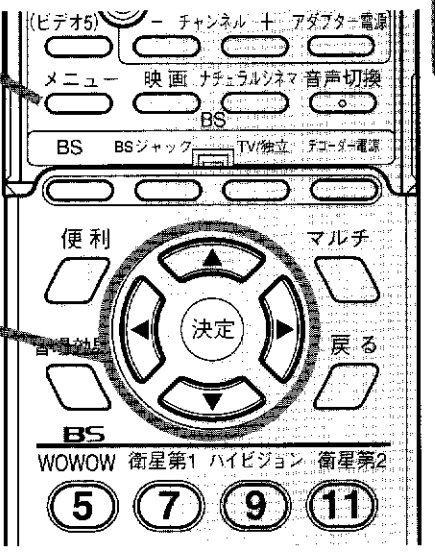
ビデオ1の映像と音声の出力設定

「ビデオ1」入力を選んでいるとき、モニター/BS・MUSE端子から出力するか、出力しないかを設定します。

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

ふたを開ける

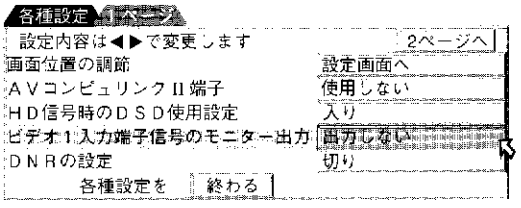


2 で↖を「各種設定」に合わせ 決定ボタンを押す

➡ 決定

各種設定画面が現れます。

3 で↖を「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」に合わせる



4 で設定を変更する

- **「出力する」**: ビデオ1の映像と音声が出力できるようになります。
  ビデオ1についないだビデオデッキの映像と音声信号を、モニター/BS・MUSE出力端子を通して、別のビデオデッキに録画したいとき(ダビング)などに設定します。
- **「出力しない」**:ビデオ1の映像と音声信号ともに出力しません。

5 で↖を「各種設定を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

ひとくちメモ ノイズを防止しています

● ノイズを防止するため、お買い上げ時は「出力しない」に設定されています

1台のビデオデッキに、ビデオ1入力端子とモニター/BS・MUSE出力端子の両方をつないだ場合、ビデオデッキの使用状況によっては、しま模様の画面やピーという発信音が出ることがあります。これは故障ではなく、ビデオデッキとテレビの間を同じ信号が回るために起こる現象です。

お買い上げ時は、これらの不要なノイズを防止するため、ビデオ1からの映像と音声信号はモニター/BS・MUSE出力端子からは出力しないように設定されています。

外部機器のための設定(つづき)

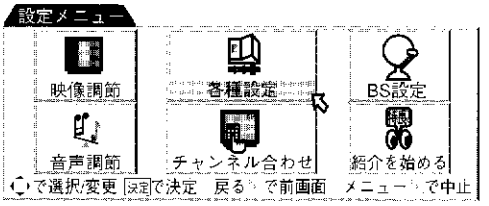
AVコンピュリンクII機能を設定する

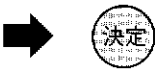
AVコンピュリンクII端子を使うか、使わないかの設定をします。

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

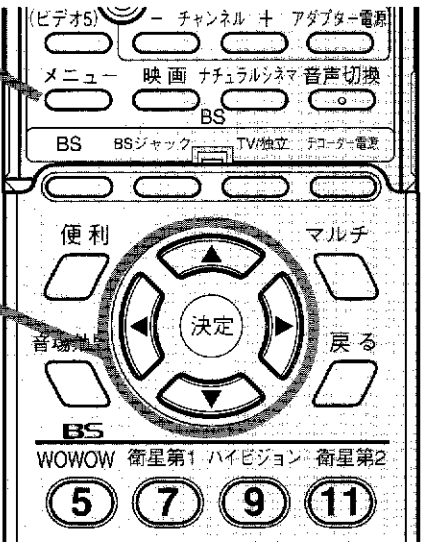
2 で↖を「各種設定」に合わせ 決定ボタンを押す



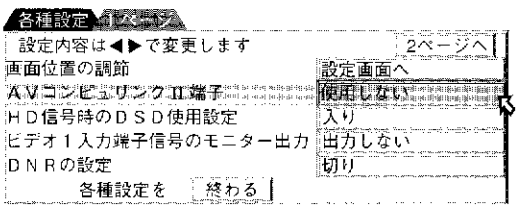


各種設定の1ページ目が現れます。

ふたを開ける



3 で↖を「AVコンピュリンクII端子」に合わせる



4 で設定を変更する

- 「使用する」: AVコンピュリンクII機能を使い、ビデオデッキなどと連係した操作ができるようになります。
- 「使用しない」: AVコンピュリンクII機能を使わないときに選びます。節電になります。

5 で↖を「各種設定を「終わる」」に合わせ 決定ボタンを押す

用語解説 AVコンピュリンクII

ビクターのテレビとビデオデッキを組み合わせて、ワンタッチでさまざまな連係プレイを可能にする機能です。
この機能を使うためには、ビデオデッキにAVコンピュリンクII端子が装備されている必要があります。

AVコンピュリンクII機能を使わないときは

- **AVコンピュリンクII機能を使わないときには、設定を「使用しない」にしてください。**
  リモコンの電源ボタンを押して、テレビを待機状態にしたときの消費電力を抑えることができます。

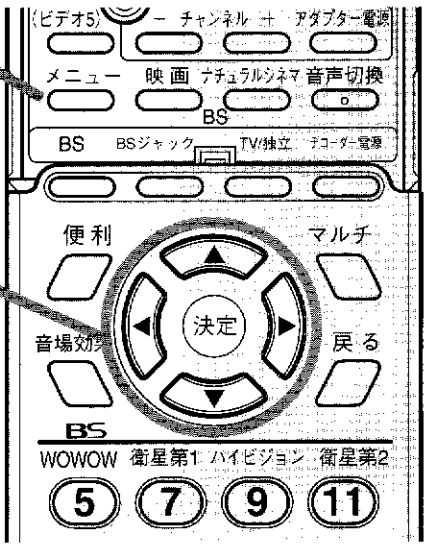
映像の輪郭を強調する

W-VHSなどの外部機器からの高画質な映像をご覧になるときの設定です。

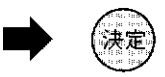
1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

ふたを開ける



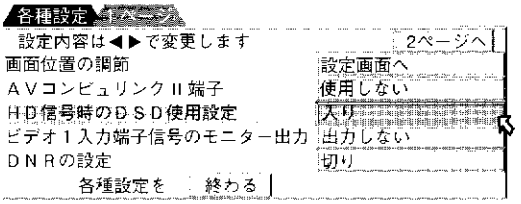
2 で↖を「各種設定」に合わせ 決定ボタンを押す



各種設定の1ページ目が現れます。

3 で↖を「HD信号時のDSD* 設定」に合わせる

*DSD：デジタル・スーパー・ディテール



4 で設定を変更する

- 「入り」：通常は、DSD機能を「入り」にしてご使用ください。
  デジタル処理により、クッキリとした輪郭でご覧いただけます。
- 「切り」：W-VHSデッキからのHD映像信号や1080iの映像信号などをありのままの映像でご覧になりたい場合に選びます。このとき、映像選択で「シネマ」を選んでください。
  「シネマ」以外を選んでいる場合は、ありのままの映像ではご覧になれません。

5 で↖を「各種設定を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

より繊細なプロの映像を手に入れる！

シアタープロの設定

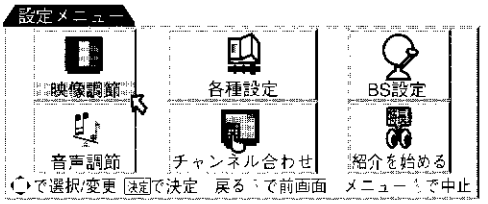
シアタープロで映像を調節する

映像設定が「シアター」のとき、より微妙で繊細な映像調節をすることができます。

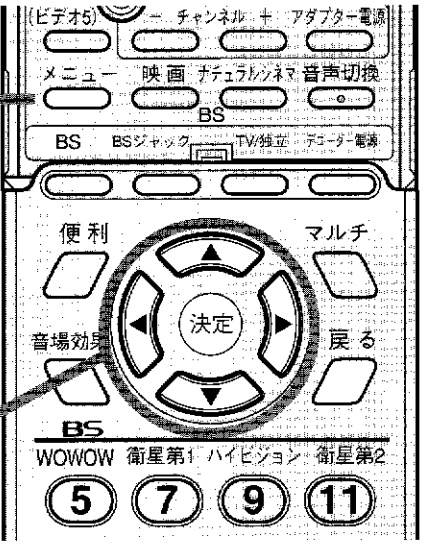
映像設定に「シアター」を選択しているときに

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。



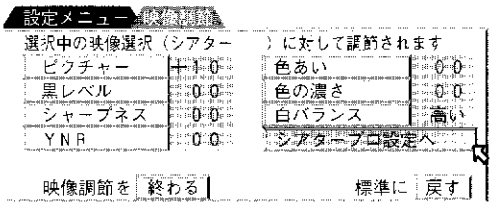
ふたを開ける



2 決定ボタンを押す

映像調節画面が現れます。

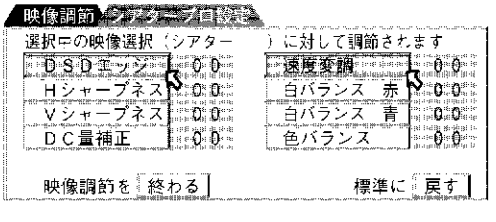
3 でを「シアタープロ設定へ」に合わせ決定ボタンを押す



決定

シアタープロ設定画面が現れます。

4 でを調節したい項目に合わせ決定ボタンを押す



決定

選んだ項目の調節画面現れます。

さらに楽しむには

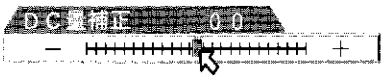
- シアタープロの設定（調節）は、標準（お買い上げ時の状態）のままで、十分高画質をお楽しみいただけるようになっています。
- シアタープロの設定（調節）は、映像の微妙な調節を行いたいお客様向けの機能です。微妙な調節を行うため、専門的な内容になっています。
  少しずつ調整値を変更して、変化を確認しながら設定項目の内容を把握されると良いでしょう。

こんなときは

- **調整をして映像が見にくくなったときは**
  手順**4**で、矢印を「**標準に『戻す』**」に合わせて**決定**ボタンを押してください。
  お買い上げ時の設定に戻すことができます。(☛P.41)

5 ✥で調節する

例:「白バランス　青」を選んだとき



例:「DC量補正」を選んだとき

● 数秒間、操作を行わないと、手順**3**の映像調節画面に戻ります。

6 他の項目も調節するときは、戻るボタンまたは決定ボタンを押して映像調節画面に戻る

手順**4**から**6**を繰り返し、他の項目を調節します。

7 調節が終わったら、✥で↖を「映像調節を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

映像設定の調節を元に戻すには

手順**4**で、映像調節画面の「標準に『**戻す**』」に↖を合わせて、**決定**ボタンを押します。

● 標準の設定に戻るのは、「シアタープロ」の変更内容だけです。「シアター」の設定は標準設定には戻りません。

シアタープロの設定項目

● **DSDエッジ:**
文字やイラストなどの輪郭部の明るさの変化を急峻(きゅうしゅん)にして映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。
(設定値:輪郭をつけない −30･･･+30 輪郭をつける)

● **Hシャープネス、Vシャープネス:**
映像の輪郭部に明るいところはより明るく、暗い部分はより暗い信号を加えて輪郭を強調してはっきりとした映像にします。
調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち不自然な映像になることがあります。
(設定値:輪郭を強調しない −30･･･+30 輪郭を強調する)

● **DC量補正:**
全体に明るい画面のとき、あるいは全体に暗い画面のときの黒の再現性を補正します。
「黒レベル」調節で画面を明るくすると、本来黒い部分が白っぽく感じたり、その反対に、暗くすると黒い部分がつぶれ気味になり見にくくなる場合があります。そのようなときには黒の再現性を調節してバランスをとってください。
(設定値:黒味を増やす −30･･･+30 黒味を減らす)

● **速度変調:**
映像の縦線の輪郭強調度合を調節します。
通常は、忠実な映像でご覧いただくために、設定は「0」のままでお使いください。
忠実な映像では、シャッキリ感が不足していると感じたときに、ほんのちょっと補正してください。
(設定値:補正しない 0･･･+15 補正する)

● **白バランス　赤、 白バランス　青:**
映像の基準となる白をより白く見えるように調節する項目です。
調節するときには「白バランス赤」と「白バランス青」を交互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。
(設定値:赤みをつけない −30･･･+30 赤みをつける)
(設定値:青みをつけない −30･･･+30 青みをつける)

● **色バランス:**
肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。
映像調節の「色合い」で肌色を調節すると他の色もわずかに変化してしまいます。(例:肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかった葉になってしまった。)このようなとき、お好みに調節した肌色はそのままに、青みだけを変化させることができます肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。
(設定値:青みを弱くする　−5･･･+5　青みを強くする)

見やすい映像で見たい!

受信電波が弱いときの設定

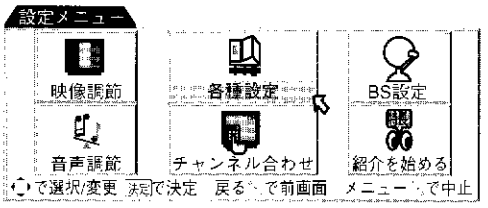
映像のざらつきを抑える

受信する電波が弱く、映像がざらつくときに調節します。

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

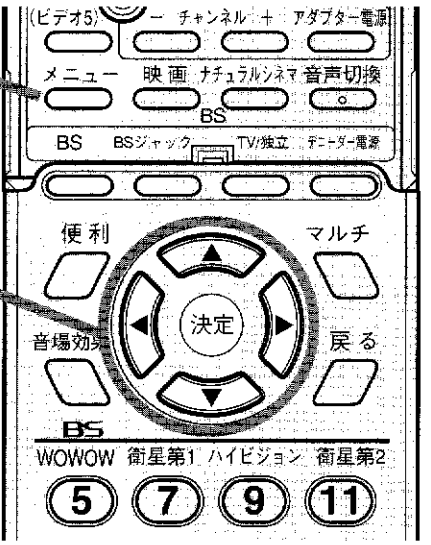
2 ↕↔で↖を「各種設定」に合わせ 決定ボタンを押す



➡ 決定

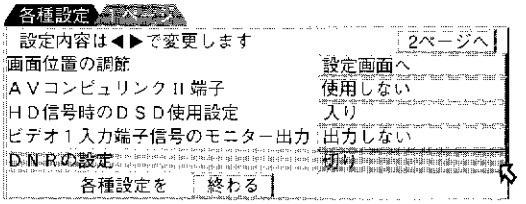
各種設定の1ページ目が現れます。

ふたを開ける



3 ↕↔で↖を「DNR*の設定」に合わせる

*DNR:デジタル・ノイズ・リダクション



4 ↕で設定を変更する

- 「切り」:通常は「切り」にします。
- 「入り」:受信する信号が弱いときの映像のざらつきを抑えます。

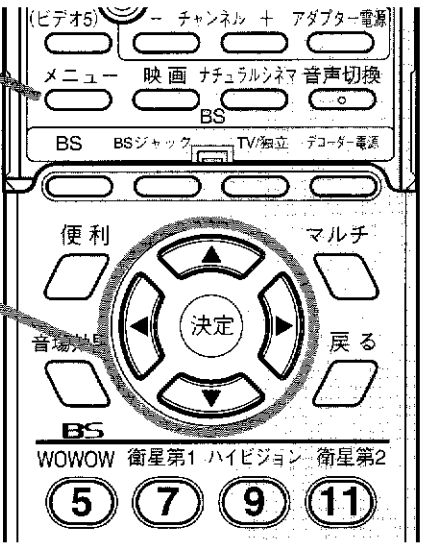
5 ↕↔で↖を「各種設定を「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す

オートパノラマの設定

4:3映像の表示サイズを決める

画面サイズ設定(☛P.16)で「オートパノラマ」を選んでいるとき、4:3の映像を「パノラマ」サイズで表示するか「ノーマル」サイズで表示するかを選びます。

ふたを開ける



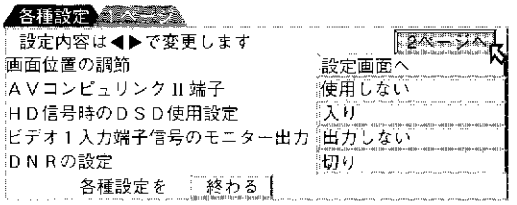
1 メニュー ボタンを押す

設定メニューが現れます。

2 で↖を「各種設定」に合わせ 決定 ボタンを押す

各種設定の1ページ目が現れます。

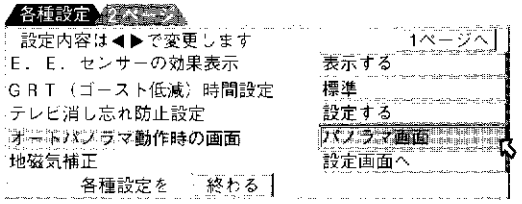
3 で↖を「2ページへ」に合わせ 決定 ボタンを押す



➡ 決定

各種設定の2ページ目が現れます。

4 で↖を「オートパノラマ動作時の画面」に合わせる



5 で設定を変更する

- 「**パノラマ画面**」：画面いっぱいの映像になる。
- 「**ノーマル画面 4:3画面**」：従来の4:3の映像になる。

6 で↖を「各種設定を『終わる』」に合わせ 決定 ボタンを押す

高画質映像を録画したい！

ハイビジョン番組の録画のための設定

M-Nコンバーターの出力サイズ設定

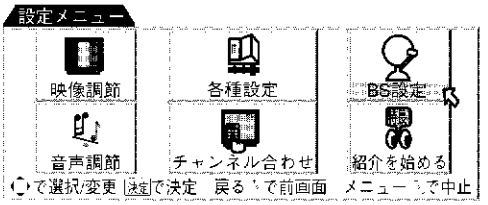
ビデオデッキまたはBS内蔵のビデオデッキでハイビジョン番組を録画するときに設定します。

モニター/BS･MUSE出力端子から出力されるハイビジョン番組の映像のサイズを設定します。

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

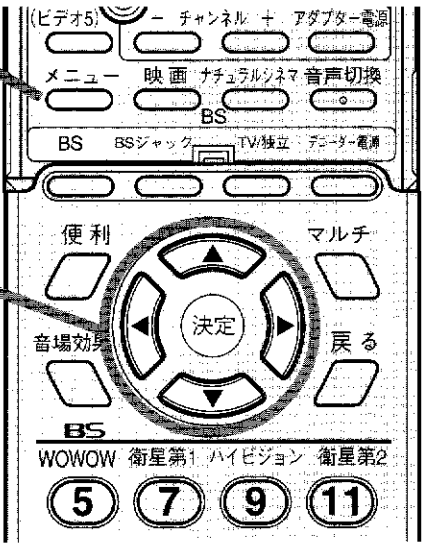
2 ↕で↖を「BS設定」に合わせ決定ボタンを押す



➡ 決定

BS設定の1ページ目が現れます。

ふたを開ける



3 ↕で↖を「M-Nコンバーターの出力サイズ」に合わせる

4 ↕で設定を変更する

- 「フル」: ハイビジョン放送の16:9の映像をそのまま16:9で出力します。ハイビジョン放送を録画したビデオテープを本機やワイドテレビで再生するときに設定します。
- 「ズーム」: ハイビジョン放送の16:9の映像の左右をカットして、4:3で出力します。ハイビジョン放送を録画したビデオテープを従来型のテレビ(4:3)で再生するときに設定します。

5 ↕で↖を「BS設定を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

ハイビジョン番組の録画について

接続および録画手順については「AV機器などを接続する」をご覧ください。
(☛P.84～86、P.90～93)
モニター/BS･MUSE出力端子から出力されるハイビジョン番組をW-VHSデッキで録画する場合は、SD、S-VHS、VHSのいずれかの録画方式で録画します。詳しくは、W-VHSデッキの取扱説明書をお読みください。

用語解説

MUSE（ミューズ）

ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式。

MUSE-NTSCコンバーター（ミューズ エヌティーエスシー）

MUSE信号を現行方式のNTSC信号に変換するための機器あるいは機能。

MUSEデコーダーの貸し出しを設定する

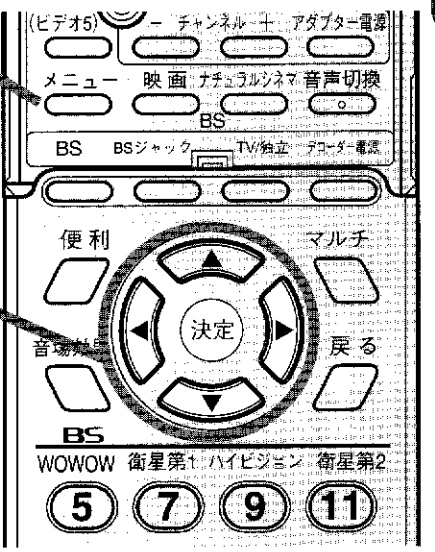
ハイビジョン番組をBS内蔵のビデオデッキやW-VHSデッキで録画するための設定をします。

本機に内蔵しているMUSEデコーダー機能をビデオデッキ側に貸し出し、あたかもビデオデッキに搭載しているかのようにご使用になれます。

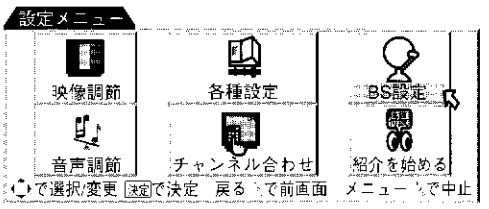
1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

ふたを開ける

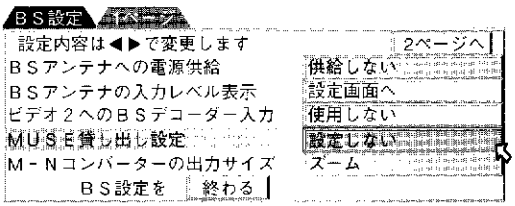


2 で↖を「BS設定」に合わせ 決定ボタンを押す



BS設定の1ページ目が現れます。

3 で↖を「MUSE貸し出し設定」に合わせる



4 で設定を変更する

- 「**設定する**」: BS内蔵ビデオデッキでハイビジョン放送の番組を録画するときに選びます。このときテレビ画面にはハイビジョンの放送が映らなくなります。
  ※MUSE貸し出し中のときは、本体前面のBSジャックランプがオレンジ色に点灯します。
- 「**設定しない**」: 通常はこの設定を選びます。

5 で↖を「BS設定を『終わる』」に合わせ 決定ボタンを押す

用語解説 MUSEデコーダー

MUSE信号を受信する機器。

ひとくちメモ MUSE貸し出し中にハイビジョン番組を見たいときは

MUSE貸し出し中に、ハイビジョン放送の番組を画面に映したいときは、**入力切換**ボタンを押して、ビデオ入力を選んでください。

ひとくちメモ ハイビジョン番組の録画について

接続および録画手順については「AV機器などを接続する」をご覧ください。
(☛P.86、P.90~93)

臨場感のある音場で楽しむ

ハイビジョンの音声の設定

MUSE音声の出力を設定する

3−1方式4チャンネルステレオ放送のとき臨場感のある音場で楽しめます。

ハイビジョン放送の3−1方式4チャンネルステレオ音声のセンター音声とサラウンド音声を、左右チャンネルの音声にミックスするかしないかを設定します。

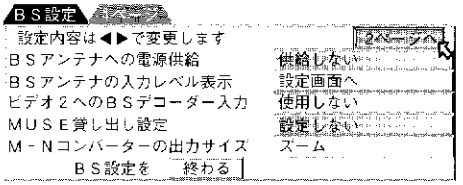
1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

2 ↕↔で↖を「BS設定」に合わせ決定ボタンを押す

BS設定の1ページ目が現れます。

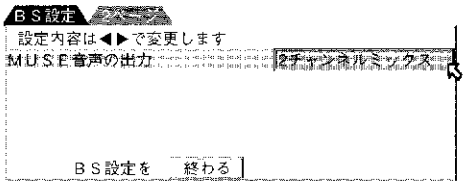
3 ↕↔で↖を「2ページへ」に合わせ決定ボタンを押す



➡ 決定

BS設定の2ページ目が現れます。

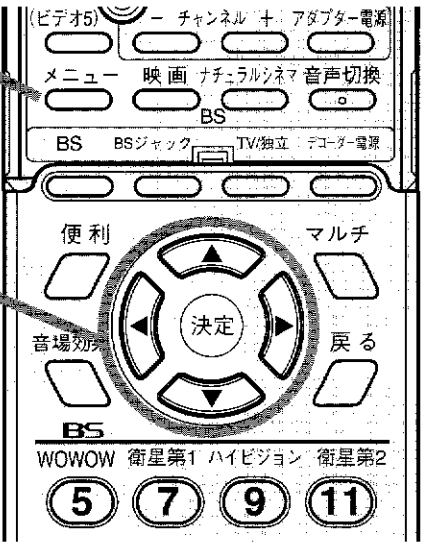
4 ↕↔で「MUSE音声の出力」の設定をする



- 「**2チャンネルミックス**」：ビデオデッキに録画するときや、左右のフロントスピーカーだけで楽しみたいときに選びます。(通常はこの設定を選びます。)センター音声とサラウンド音声を左右チャンネルの音声にミックスします。センター端子やサラウンド端子からは音声は出力されません。
- 「**4チャンネル**」：リアスピーカーやセンタースピーカーを使って、本格的にサラウンドの再生を楽しみたいときに選びます。

5 ↕↔で↖を「BS設定を「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す

ふたを開ける



こんな点にご注意ください

- **次のときは、「MUSE音声の出力」を「4チャンネル」に設定していても、音声は「2チャンネルミックス」で出力されます。**
  - MUSEデコーダー音声出力端子に何も接続されていないとき
  - BSジャックの設定が「入り」のとき (☛P.79)
  - MUSE貸し出し設定が「設定する」のとき (☛P.45)
- **3−1方式4チャンネルステレオ音声放送の番組を録画するとき、「MUSE音声の出力」設定が「4チャンネル」に設定されていると司会者などのセンター音や反響などの効果音を記録できません。BSジャックあるいはMUSE貸し出し機能を使わずに録画する場合は、必ず「MUSE音声の出力」設定を「2チャンネルミックス」にしてください。**

3−1方式4チャンネルステレオで楽しむ

接続および楽しみ方については「AV機器などを接続する」をご覧ください。(☛P.96、97)

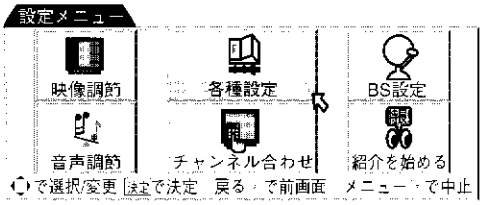
E.E.センサーの効果表示

E.E.センサーの効果のかかり具合をテレビ画面に表示することができます。

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

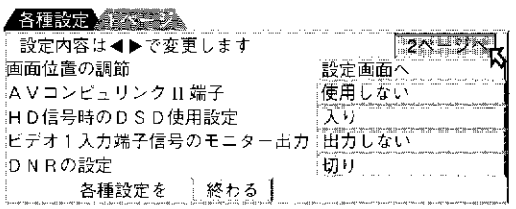
2 ↕で↖を「各種設定」に合わせ 決定ボタンを押す



➡ 決定

各種設定の1ページ目が現れます。

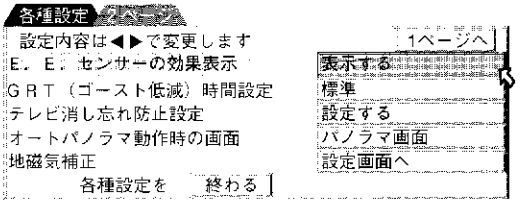
3 ↕で↖を「2ページへ」に合わせ 決定ボタンを押す



➡ 決定

各種設定の2ページ目が現れます。

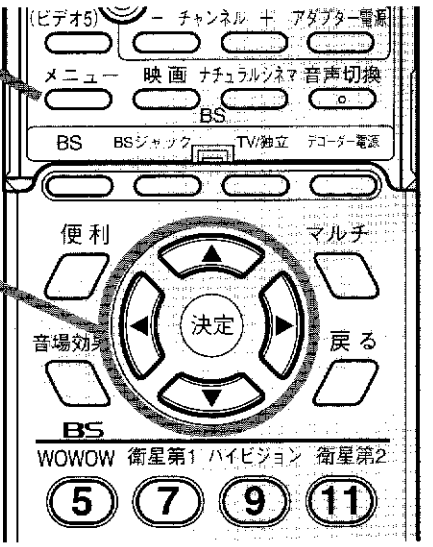
4 ↕で設定を変更する



- **「表示する」**：部屋の明るさが変化したときに、E.E.センサーの効果のレベルがハートのマークでテレビ画面に表示されます。
- **「表示しない」**：E.E.センサーの効果のレベルを表示しないときに選びます。

5 ↕で↖を「各種設定を『終わる』」に合わせ 決定ボタンを押す

ふたを開ける



E.E.センサーの設定については・・・

E.E.センサーの設定については32ページから33ページをご覧ください。

地磁気による影響を少なくする

大型テレビが受けやすい地磁気の影響を補正します。

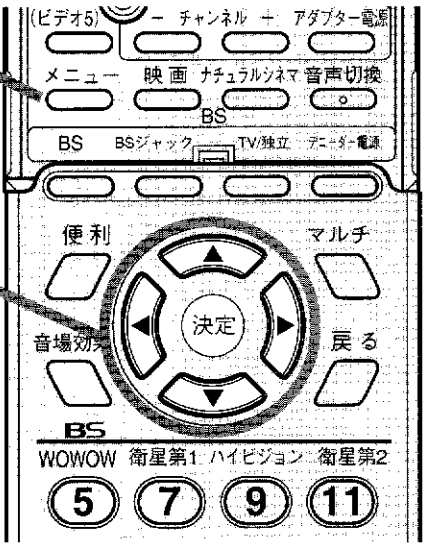
地磁気による色むらを軽減する

地磁気の影響を受けると画面に紫や緑の色がつくことがあります。このようなときは、色むらが少なくなるように補正してください。

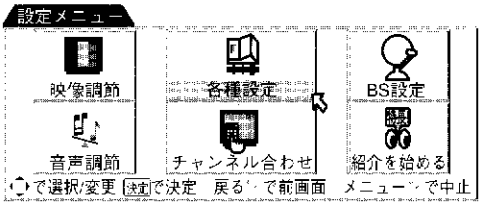
1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

ふたを開ける



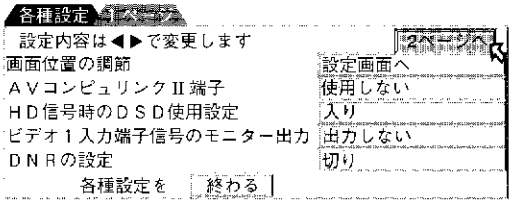
2 ↕で↖を「各種設定」に合わせ 決定ボタンを押す



➡ 決定

各種設定の1ページ目が現れます。

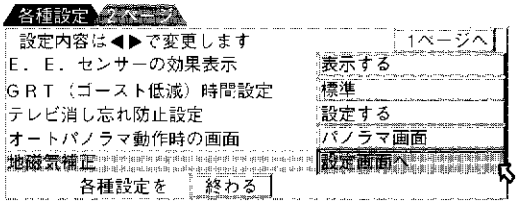
3 ↕で↖を「2ページへ」に合わせ 決定ボタンを押す



➡ 決定

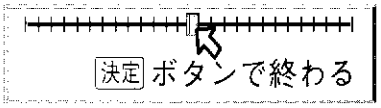
各種設定の2ページ目が現れます。

4 ↕で↖を「地磁気補正」に合わせ 決定ボタンを押す



➡ 決定

5 テレビ画面を見ながら、で調節する



● テレビ画面の四隅が同じくらいの白さになるように調節します。

※ この機能は補正するための機能です。色むらが完全にとれないこともあります。

6 決定ボタンを押し、調節を終了する

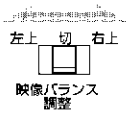
ふたたび手順**3**の画面になります。

7 で↖を「各種設定を『終わる』」に合わせ●決定ボタンを押す

地磁気による映像の傾きを補正する

映像バランスを調整する

地磁気の影響で映像が左右に傾いているときに、水平になるように調整します。



本体前面のドアの中

映像バランス調整スイッチをスライドする

- 「**左上**」:右上がりに傾いた映像を補正します。
- 「**切**」:通常はこの位置に合わせておきます。
- 「**右上**」:左上がりに傾いた映像を補正します。

地磁気の影響

● **地磁気により色むらが出ることがあります**

大型テレビは地球による磁気の影響を受けやすくなっています。初めて本機を設置したときや、引っ越しなどで本機を移動したときは、地磁気による影響をなるべく少なくしてからお使いください。よりきれいな、色むらの少ない映像をご覧いただけます。

● **画面の映像が右上がりになったり、左上がりなったりすることがありますが、これは地磁気による影響で故障ではありません。**

- **特に、画面の大きなテレビは地磁気の影響を受けやすくなります。**

こんな点にご注意ください

● **地磁気以外のものから影響を受けることもあります**

近くに高圧線があったり、鉄骨の建物の中にテレビを設置したりしたときなども、磁気の影響を受けて、映像に色むらがでたり、映像が揺れることがあります。テレビを設置するときは、場所や向きを変えてみて、いちばん影響の少なくなるところに設置してください。

映像が2重・3重に映るときに・・・

ゴーストを低減する

ゴーストを低減する準備

お買い上げ時は、各チャンネルごとにゴーストを低減するように設定されています。
また、「地域の放送局を一括して設定する」(☛P.62)でチャンネル設定をすると、自動的に「GRT(ゴースト低減)」が「入り」になります。個別にチャンネル合わせを行った場合は「GRT(ゴースト低減)」を「入り」に設定してください。(☛P.65、69)
「GRT(ゴースト低減)」が「入り」に設定されたチャンネルを選ぶとゴースト低減処理が行われます。

ゴーストを低減する

チャンネル切り換え直後はゴースト低減処理が行われるため映像が不安定になることがあります。この不安定な処理中の映像を画面にリアルタイムに表示させるか、あるいは、ある程度ゴースト低減処理を終えてから画面に表示させるかを指定することができます。設定のしかたについては、51ページをご覧ください。

ゴースト低減のしくみ

本機のゴースト低減機能は、放送局から電波に乗って送られてくるGCR(Ghost Cancel Reference)という基準信号をもとにゴーストを低減する働きをします。このGCR信号が送られていない場合は、ゴーストの低減はできません。

■GCR信号を送っていない放送局

群馬テレビ、琵琶湖放送、BS放送、CS放送や、ほとんどのCATV放送(ご契約のCATV会社にお問い合わせください)
(平成11年9月現在)

用語解説 ゴースト

ビルなどの高い建物や山などがある場合、放送局からの電波がビルや山に反射し、その反射した電波がいろいろな方向から、アンテナを通じてテレビに入ることがあります。この反射した電波を受信すると映像が2重・3重に映ることになります。この反射した電波の映像を「ゴースト」といいます。

こんな点にご注意ください

- **次のような場合は、ゴースト低減機能は働きません。**
  - 放送局からGCR信号が送られてきていないとき
  - 常に違った方向からゴーストが入ってくるときや、ゴーストの電波が強いとき
  - アンテナの向きが正しくないとき(アンテナは、最も強い電波がくる方向に向けます。)
  - ビデオデッキに内蔵のテレビチューナーで受信している放送を見ているとき
- **チャンネルを変えたすぐ後は、一時的にゴーストが増えることがあります。**
- **次のようなときは、ゴースト低減機能を使わないでください。**
  - 受信する電波の弱い放送局に対して、「GRT(ゴースト低減)」を**「入り」**にしても、逆に新たなゴーストが発生するとき。
  - 「GRT(ゴースト低減)」を**「入り」**にしても、逆に見苦しい映像になってしまうとき。
  - ビデオデッキのアンテナ出力(RF出力)を1chまたは2chにして、テレビと接続している場合は、「GRT(ゴースト低減)」を**「切り」**にしてください。

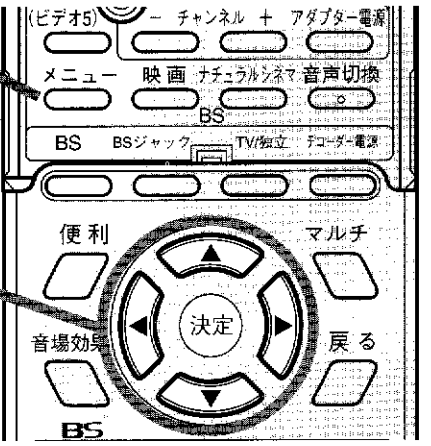
ゴースト低減時間の設定

ゴースト低減後の映像を表示するタイミングを設定します。

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。

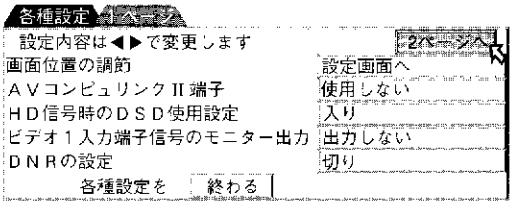
ふたを開ける



2 ◯で↖を「各種設定」に合わせ 決定ボタンを押す

各種設定1ページが現れます。

3 ◯で↖を「2ページへ」に合わせ 決定ボタンを押す



➡ 決定

各種設定の2ページ目が現れます。

4 ◯で↖を「GRT*(ゴースト低減)時間設定」に合わせる

*GRT:ゴースト・リダクション・チューナー

5 ◯で設定を変更する

- 「**標準**」:通常は「標準」を選んでください。ゴースト低減処理をはじめてから約10秒後に、低減処理をした映像に切り換え、表示します。
- 「**短い**」:ゴーストがひどくないときに選びます。ゴースト低減処理をはじめてから約3秒後に、低減処理をした映像に切り換え、表示します。

6 ◯で↖を「各種設定を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

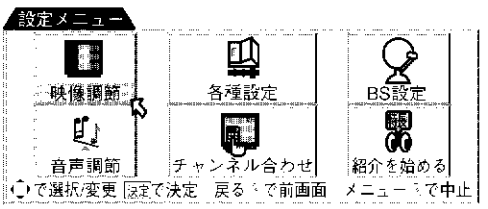
デモンストレーションをする

デモ機能

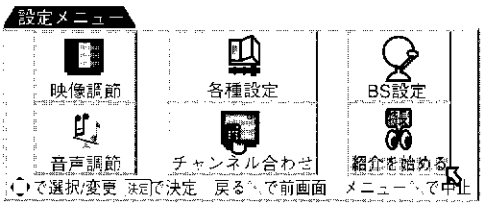
本機の機能を簡単に知ることができます。

1 メニューボタンを押す

設定メニューが現れます。



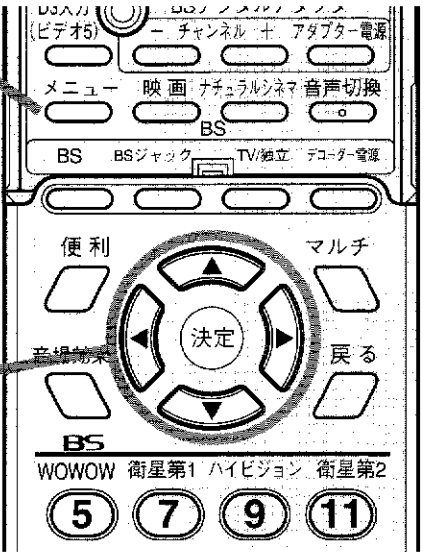
2 で↖を「紹介を始める」に合わせ 決定ボタンを押す



本機に内蔵されている主な機能の紹介が始まります。

- 機能を紹介中は「…(機能名)を紹介しています。中止するには、紹介を始めるを選んでください。」というメッセージが現れます。

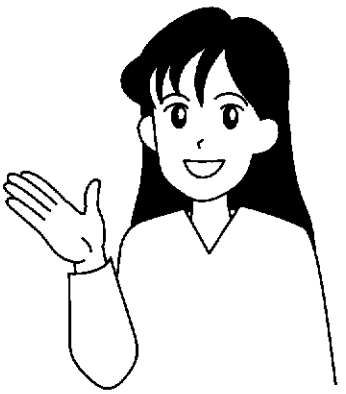
ふたを開ける



デモを中止するには

もう1度、上の手順**1**と**2**を繰り返します。
「紹介を中止しました。」というメッセージが現れます。

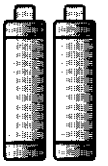
初めてお使いになる方はここからお読みください



◆テレビを見る前の準備 54
◆各部のなまえとはたらき 55
◆アンテナをつなぐ 60
◆チャンネルを合わせる 62

まず何をしたら良いの？

テレビを見る前の準備

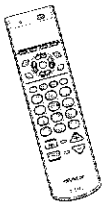


確認と準備

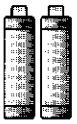
次の準備はお済みですか？　まだでしたら、参照ページをご覧になり準備を済ませてください。

1 付属品を確認する

万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

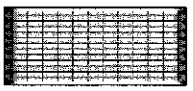


リモコン



単3電池2本
（動作確認用）

アンテナコネクター



局名シール

2 アンテナをつなぐ

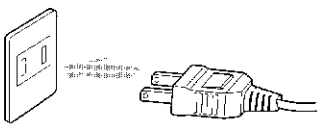
- VHF、UHFアンテナをつなぐには（☛P.60）
- BSアンテナをつなぐには（☛P.72）
- CATVケーブルをつなぐには（☛CATV各社にお問い合わせください。）

3 AV機器などをつなぐ

- ビデオデッキなどのビデオ機器をつなぐには（☛P.84～P.95）
- テレビゲーム機をつなぐには（☛P.83）
- アンプ（オーディオシステム）をつなぐには（☛P.96）
- ノートパソコンをつなぐには（☛P.98）

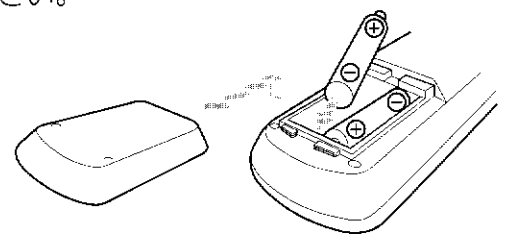
4 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセント（交流100V）に差し込みます。



5 リモコンに電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。



- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間使えます。
  ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったら交換してください。

6 地磁気による影響を減らす

大型テレビは地球による磁気の影響を受けやすくなっています。初めて本機を設置したときや、引っ越しなどで移動したときに、色むらが出たり映像が傾くことがあります。このようなときは以下の補正をしてください。

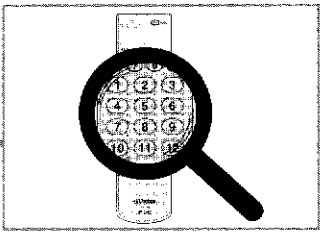
- 地磁気による色むらを軽減する（☛P.48）
- 地磁気による映像の傾きを補正する（☛P.49）

7 受信チャンネルを合わせる

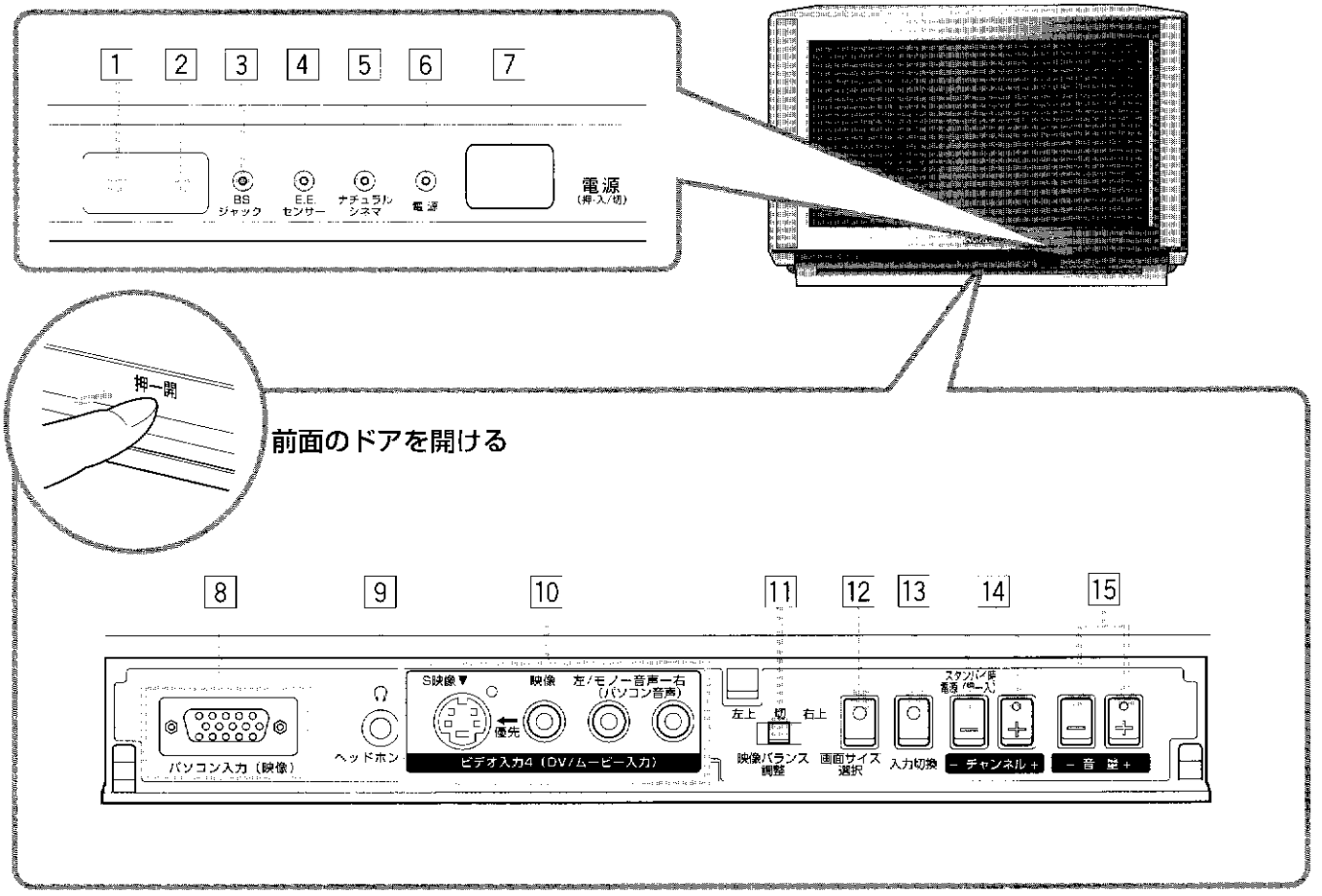
- 地域の放送局を一括して設定するには（☛P.62）
- 放送局をひとつずつ設定するには（☛P.64）
- CATVを見るには（☛P.66）
- BSチャンネルの設定を変更するには（☛P.76）

どんなボタンがあるの？

各部のなまえとはたらき



本体前面



1 **リモコン受光部**
リモコンで操作するときは、リモコンの先端をここに向けます。

2 **E.E.センサー(☛P.32)**
E.E.センサーが「入り」のときに、周囲の明るさを感知する部分です。

3 **BSジャックランプ(☛P.45、79)**
MUSE貸し出し設定が「設定する」のとき、あるいはBSジャックが「入り(BS固定)」のときにオレンジ色に点灯します。

4 **E.E.センサーランプ(☛P.32)**
E.E.センサーが「入り」のときに緑色に点灯します。

5 **ナチュラルシネマランプ(☛P.22)**
ナチュラルシネマが「入り」のときに緑色に点灯します。

6 **電源ランプ(☛P.14)**
本体の電源が入っているときに赤く点灯します。

7 **電源ボタン(☛P.14)**
電源を入り／切りします。

8 **パソコン入力端子(☛P.98)**
ノートパソコンなどをつなぎます。

9 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。(ヘッドホンは別売です。)

10 **ビデオ入力4(DV/ムービー入力)端子(☛P.83)**
ビデオムービーやテレビゲーム機の映像と音声などをつなぎます。(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子の入力信号が優先されます。)

11 **映像バランス調整スイッチ(☛P.49)**
映像バランスを調整するときに使います。

12 **画面サイズ選択ボタン(☛P.16)**
画面サイズを選ぶときに使います。

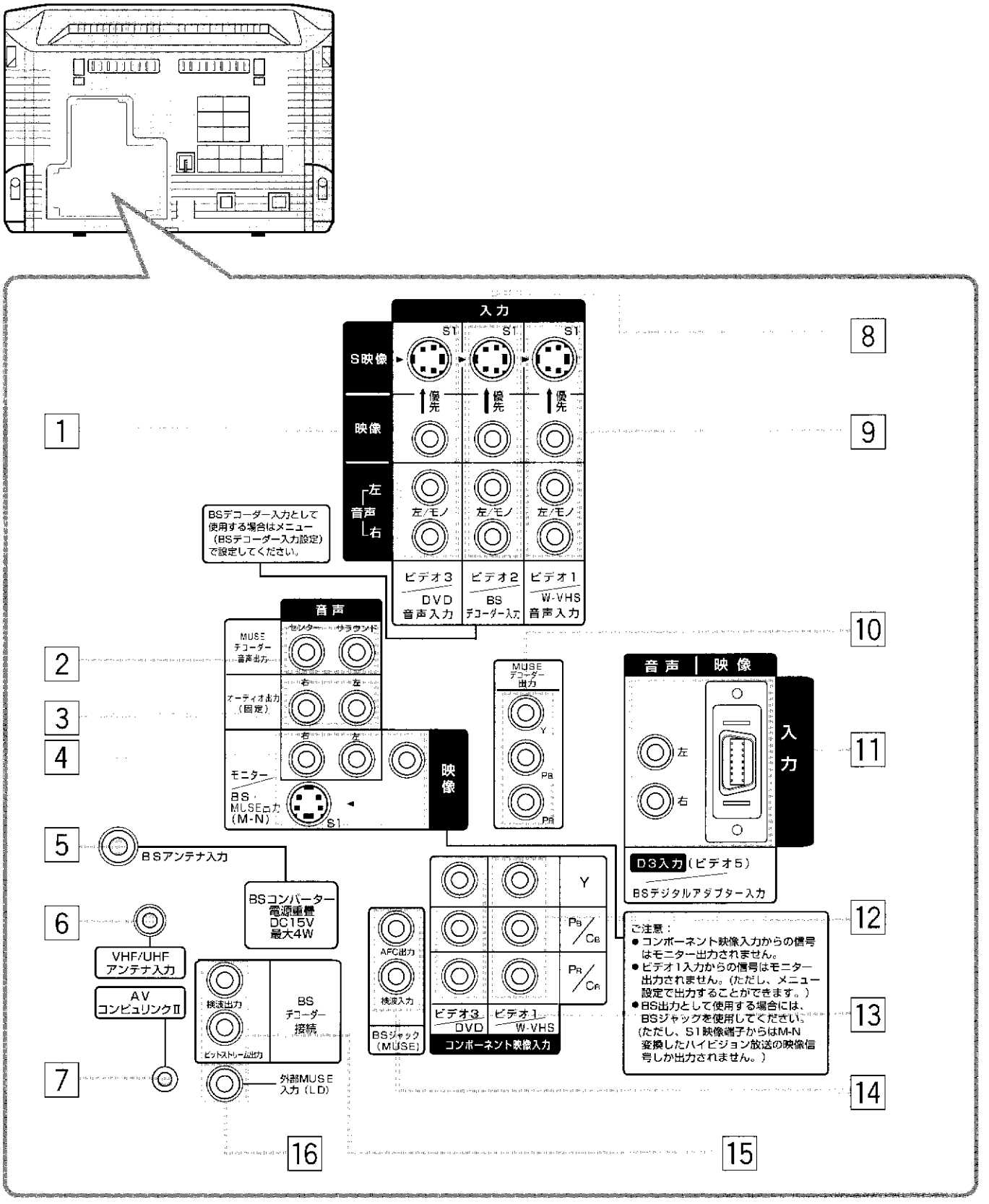
13 **入力切換ボタン(☛P.15)**
入力を切り換えるときに使います。

14 **チャンネル＋／－ボタン(☛P.14)**
チャンネルを変えるときに使います。
● リモコンの電源ボタンの代わりに－ボタンを押しても電源を入れられます。

15 **音量＋／－ボタン(☛P.14)**
音量を調節するときに使います。

各部のなまえとはたらき(つづき)

本体後面



1 **ビデオ3／DVD音声入力端子 (☛P.88)**
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます。)

2 **MUSEデコーダー音声出力端子(☛P.96)**
AVアンプなどの音声入力端子とつなぎます。ハイビジョン放送の3ー1方式4チャンネルステレオ音声のセンターとサラウンド音声を出力します。

3 **オーディオ出力(固定)端子(☛P.96)**
AVアンプなどの音声入力端子とつなぎます。

4 **モニター／BS・MUSE出力端子(☛P.84、86、90、92)**
モニター出力端子として使うときは、ビデオデッキの映像・音声入力端子とつなぎます。(テレビに映っている映像・音声信号を出力します)。
- コンポーネント映像入力端子(ビデオ1/W-VHS端子、ビデオ3/DVD端子)から入力した信号は、モニター出力端子からは出力されません。
- D3入力(ビデオ5)端子から入力した映像信号は、モニター出力端子からは出力されません。
- 番組一覧中は、信号は出力されません。

BS・MUSE出力端子として使うときは、ビデオデッキなどの映像・音声入力端子とつなぎます。(NTSC方式に変換したハイビジョン放送やBS放送の映像信号や音声信号を出力します。このとき、BS放送の映像信号はS映像端子からは出力されません。)

5 **BSアンテナ入力端子(☛P.72)**
BSアンテナをつなぎます。

6 **VHF/UHFアンテナ入力端子(☛P.60)**
VHF、UHFのアンテナをつなぎます。

7 **AVコンピュリンクII端子(☛P.84、88、89、92)**
AVコンピュリンクII対応のビデオデッキをつなぎます。
- この端子を使うときは、メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を「使用する」に設定してください。(☛P.38)

8 **ビデオ2／BSデコーダー入力端子 (☛P.87、90、92)**
ビデオ2入力端子として使うときは、ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
BSデコーダー入力端子として使うときは、BSデコーダーの映像・音声出力端子をつなぎます。(このときは、映像信号はS映像端子からは入力されません。)

9 **ビデオ1／W-VHS音声入力端子 (☛P.84、86、90、92)**
W-VHSデッキやビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます。)

10 **MUSEデコーダー出力端子(☛P.92)**
W-VHSデッキのコンポーネント映像入力端子(Y、P_B、P_R)とつなぎます。

11 **BSデジタルアダプター入力:D3入力(ビデオ5)端子(☛P.94)**
BSデジタルチューナーなどのD端子をもった機器とつなぎます。

12 **コンポーネント映像入力:ビデオ1/W-VHS端子(☛P.92)**
W-VHSデッキのコンポーネント映像出力端子(Y、P_B、P_R)とつなぎます(音声はビデオ1入力端子と共用)。

13 **コンポーネント映像入力:ビデオ3/DVD端子 (☛P.88)**
DVDプレーヤーのコンポーネント映像出力端子(Y、C_B、C_R)とつなぎます(音声はビデオ3入力端子と共用)。

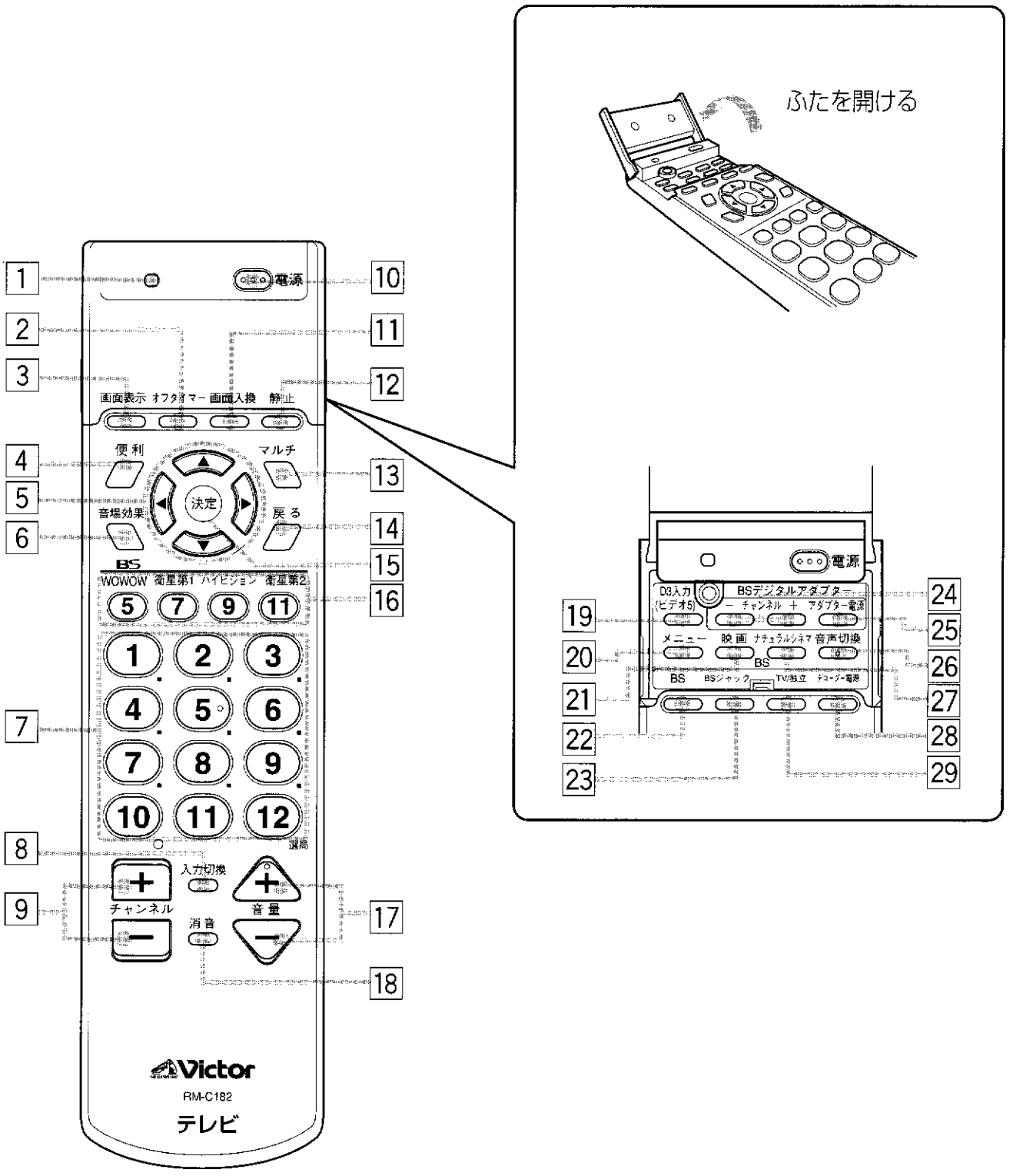
14 **BSジャック(MUSE)端子(☛P.90、92)**
W-VHSデッキやBSチューナー内蔵のビデオデッキの検波出力端子、AFC入力端子とつなぎます。

15 **BSデコーダー接続端子(☛P.87、90、92)**
BSデコーダーのビットストリーム入力端子と検波入力端子とつなぎます。

16 **外部MUSE入力(LD)端子(☛P.95)**
MUSE-LDプレーヤーなどのMUSE機器をつなぎます。

各部のなまえとはたらき(つづき)

リモコン



1 **操作ランプ**
リモコンのボタンを押すと点滅します。ランプが暗くなり、操作しにくくなったら電池を交換してください。

2 **オフタイマーボタン(☛P.28)**
電源を一定時間後に自動的に切りたいときに使います。

3 **画面表示ボタン(☛P.15)**
チャンネル番号などを画面に表示するときに使います。

4 **便利ボタン(☛P.16、23、32)**
便利メニュー(画面サイズ、映像選択、おトク)を使うときに使います。

5 **カーソルボタン**
メニューの項目を選ぶときや設定を変えるときに使います。

6 **音場効果ボタン(☛P.30)**
スペシャライザーを使って音場効果を高めたいときに使います。

7 **チャンネルボタン(☛P.14)**
VHF、UHF、CATV放送のチャンネルを選ぶときに使います。

8 **入力切換ボタン(☛P.15)**
ビデオデッキなどの外部機器の映像を見るときに使います。

9 **チャンネル+/−ボタン(☛P.14)**
チャンネルを変えるときに使います。

10 **電源ボタン(☛P.14)**
テレビの電源を入り/切りするときに使います。

11 **画面入換ボタン(☛P.19)**
2画面中に左右の画面を入れ換えるときに使います。

12 **静止ボタン(☛P.19、29)**
映像を静止して見るときに使います。

13 **マルチボタン(☛P.18~21)**
マルチメニュー(2画面、裏番組、番組一覧)を使うときに使います。

14 **戻るボタン**
前のメニュー画面に戻りたいときに使います。

15 **決定ボタン**
メニュー画面で選んだ項目を確定するときに使います。

16 **BSチャンネルボタン(☛P.14)**
BS放送のチャンネルやハイビジョン放送を選ぶときに使います。

17 **音量+/−ボタン(☛P.14)**
音量を調節するときに使います。

18 **消音ボタン(☛P.15)**
急いで音を消すときに使います。

19 **D3入力(ビデオ5)ボタン(☛P.80、94)**
本機後面のD3入力(ビデオ5)端子に接続したBSデジタルチューナーなどの機器の映像を見るときに使います。

20 **メニューボタン**
設定メニューを使うときに使います。

21 **映画ボタン(☛P.22)**
映画番組や映画ソフトを見るときに使います。

22 **BSボタン(☛P.15)**
チャンネルボタン(0(10)~9)でBSチャンネルを選ぶときに使います。

例1:NHK衛星第1を選ぶとき
BS ⇨ 10 7

例2:NHK衛星第2を選ぶとき
BS ⇨ 1 1

23 **BSジャックボタン(☛P.79)**
BS放送を録画するときに使います。

24 **BSデジタルアダプター チャンネル+/−ボタン(☛P.80)**
ビクター製BSデジタルチューナーのチャンネルを切り換えるときに使います。

25 **BSデジタルアダプター アダプター電源ボタン(☛P.80)**
ビクター製BSデジタルチューナーの電源を入り/切りするときに使います。

26 **音声切換ボタン(☛P.30)**
二重音声放送やステレオ放送の音声を選ぶときに使います。

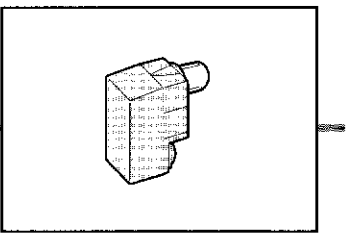
27 **ナチュラルシネマボタン(☛P.22)**
映画番組や映画ソフトまたは、アニメ番組を見るときに使います。

28 **デコーダー電源ボタン(☛P.87、91)**
BSデコーダーの電源を入り/切りするときに使います。

29 **TV/独立ボタン(☛P.30)**
BS放送の独立音声を聞きたいときに使います。

分からない場合は販売店に頼みましょう！

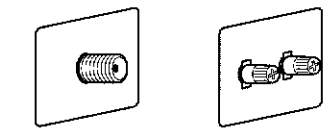
アンテナをつなぐ

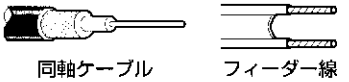


VHF、UHFアンテナ

まず、はじめにVHF、UHFアンテナをつなぎます。一番近い例を選んで、接続してください。

壁面アンテナ端子の形とアンテナ線の種類

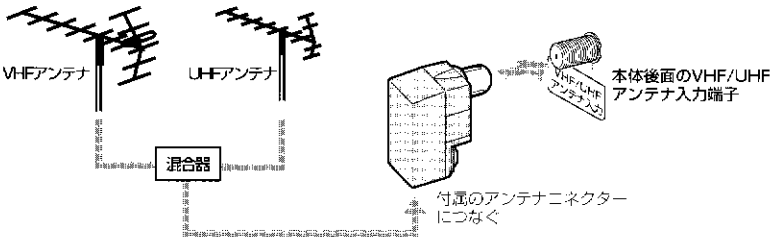




F型コネクター

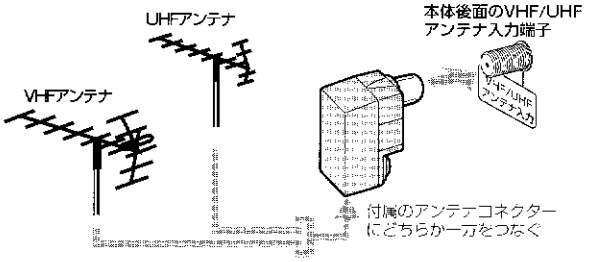
※壁面アンテナ端子にF型コネクターが付いているときは、そのまま本機のアンテナ端子につなぎます。

VHFとUHFが混合されているとき

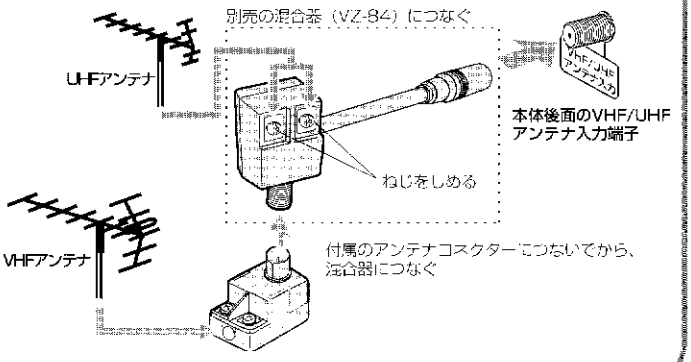


VHFとUHFが別々になっているとき

■ VHF、UHFのどちらか一方を接続する

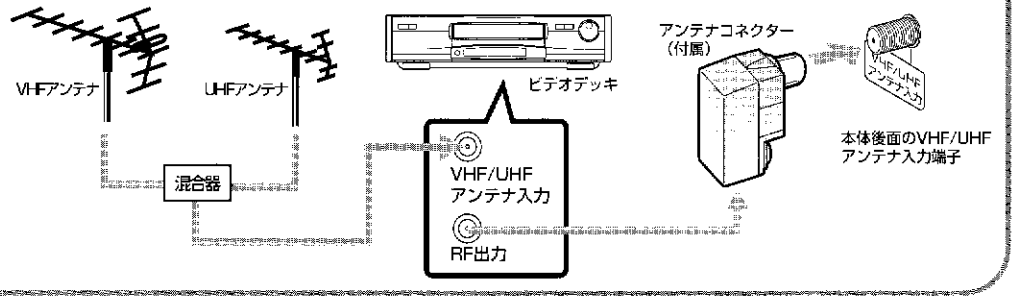


■ VHF、UHFの両方を接続する



ビデオデッキを接続するとき

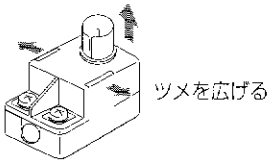
アンテナのケーブルはビデオデッキに接続し、ビデオデッキのRF出力からのケーブルを本機のVHF/UHFアンテナ入力端子につなぎます。
ビデオデッキの取扱説明書も合わせてご覧ください。



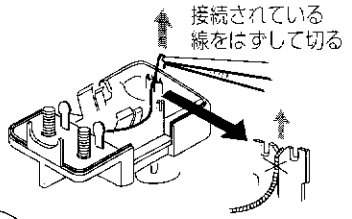
アンテナコネクターのつなぎかた

同軸ケーブルのとき

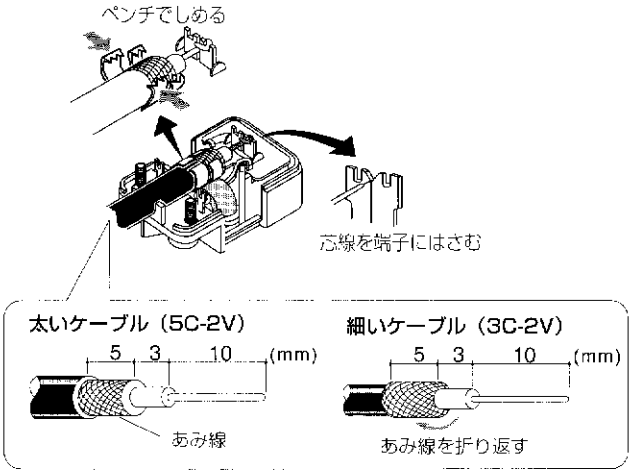
1 カバーを開ける



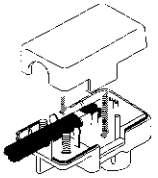
2 接続線を取りはずす



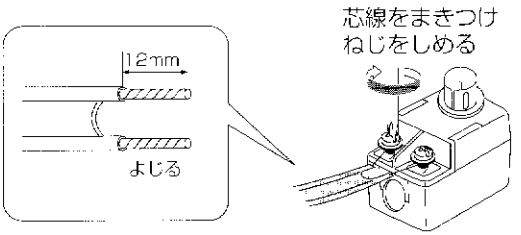
3 ケーブルをつなぐ



4 カバーをつける



フィーダー線のとき



初めてお使いになる方はここからお読みください

ひとくちメモ アンテナをつなぐときは

- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
  ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。
- 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
- アンテナは定期的に点検・交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、サービス取扱所にご相談ください。
- フィーダー線を使用すると、電波妨害を受けやすくなります。できるだけ同軸ケーブルをお使いください。お部屋（壁面）のアンテナ端子がフィーダー線用端子の場合は、サービス取扱所にご相談ください。

手早く簡単に合わせたい！

チャンネルを合わせる

地域の放送局を一括して設定する

設定を変えなければ、VHFの1～12チャンネルが映るようになっています。

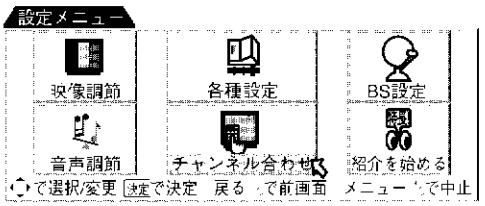
◆基本操作◆

UHF放送がある場合など、お買い求めのときの設定ではすべての放送局を受信できないときは、以下の操作で地域内のテレビ局を受信できるようにします。

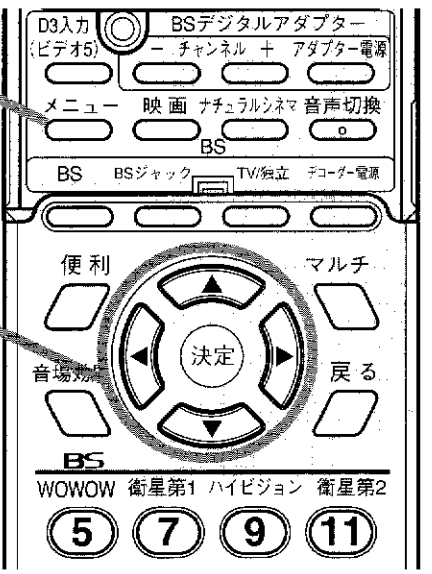
1 メニューボタンを押す

テレビに「設定メニュー」が現れます。

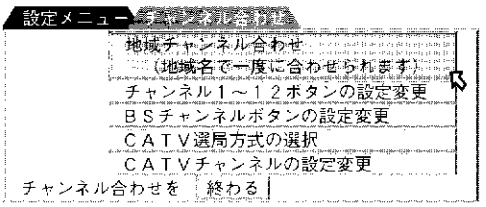
2 ↕↔で↖を「チャンネル合わせ」に合わせ決定ボタンを押す



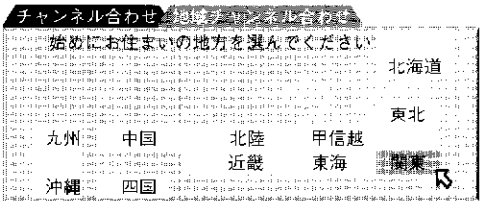
ふたを開ける



3 決定ボタンを押す



4 ↕↔で↖をお住まいの地方に合わせ決定ボタンを押す

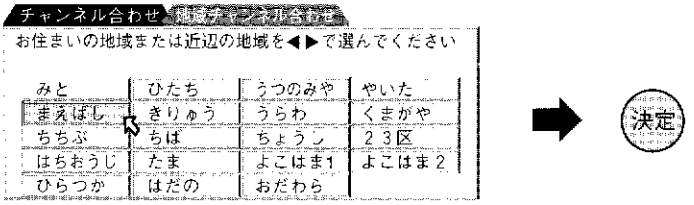


例：関東地方

こんなときは

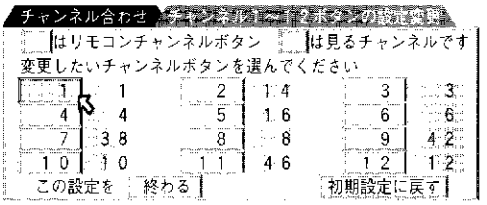
- **一括して設定される地域ごとの放送局については、**「地域番号表」(☛P.106～109)をご覧ください。
- **CATV放送のチャンネル設定をするときは、**64ページ～69ページをご覧ください。

5 ✥で↖をお住まいの都市に合わせ決定ボタンを押す



例：前橋市

6 ✥で↖を動かして、各チャンネルを受信できるかどうか確認する



7 地域チャンネル合わせが終わったら、✥で↖を「この設定を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

● チャンネル合わせを中止して、お買い上げ時の設定に戻すときは、↖を「**初期設定に戻す**」に合わせて、**決定**ボタンを押します。

8 ✥で↖を「チャンネル合わせを『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

設定した受信チャンネルを変更するには

地域チャンネル合わせで設定されなかったチャンネルを設定したいときは、手順**6**で、次の操作を行います。

1 ✥で、変更したいリモコンチャンネルボタンを選ぶ
2 **決定**ボタンを押す
3 「放送局をひとつずつ設定する」の手順**4**からの操作(☛P.64)を行う

ゴースト低減設定について

● 地域チャンネル合わせを行なうと自動的にGRT(ゴースト低減)設定は「**入り**」になります。「**切り**」にしたい場合は「放送局をひとつずつ設定する」の手順**5**で設定を変更してください。(☛P.65)

● **ゴースト低減機能については**
詳しい説明については「ゴーストを低減する」(☛P.50)をご覧ください。

こんなときは

● **地域チャンネル合わせで、お住まいの地域に合った放送局が設定できないとき**
近県の地域を選び、再度地域チャンネル合わせを行ってみてください。また、地域チャンネル合わせは、テレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせを行ってください。(☛P.64)

● **操作を途中で中止するには**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

チャンネルを合わせる(つづき)

放送局をひとつずつ設定する

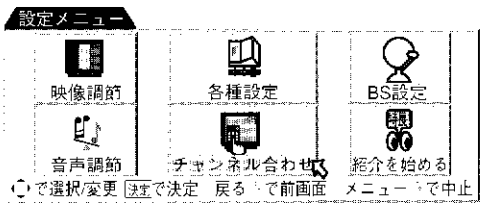
一括チャンネル合わせで受信できない放送局をひとつずつ設定します。

地域の放送局が「地域チャンネル合わせ」の受信チャンネルに当てはまらないときや、受信チャンネルの順番を変えたいときに設定します。

1 メニューボタンを押す

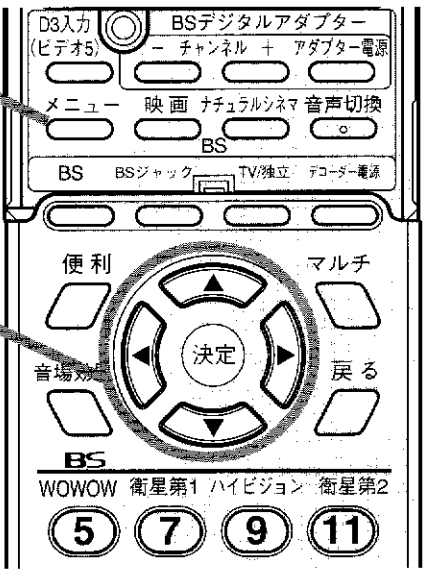
テレビに設定メニューが現れます。

2 で↖を「チャンネル合わせ」に合わせ決定ボタンを押す

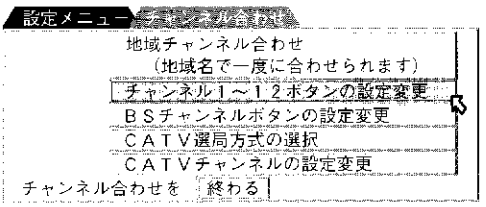


決定

ふたを開ける

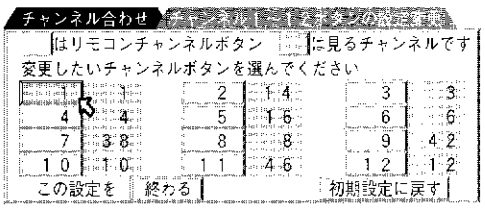


3 で↖を「チャンネル1～12ボタンの設定変更」に合わせ決定ボタンを押す



決定

4 で↖を設定したいリモコンチャンネルボタンに合わせ決定ボタンを押す



決定

例:リモコンのチャンネルボタン「1」を選んだとき

こんなときは

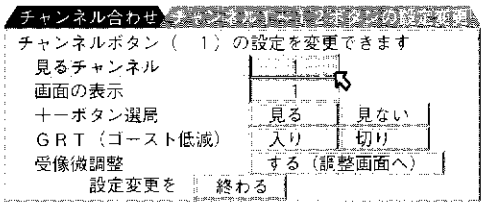
● 操作を途中で中止するには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● 2画面、裏番組、番組一覧中は…
設定メニューの「**チャンネル1～12ボタンの設定変更**」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押すと、上記の機能は解除されます。

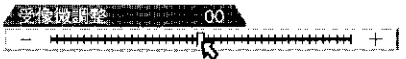
5 ↕↔で必要な項目を設定する

1 ↕で↖を設定したい項目に合わせる

2 ←→で設定を変更する



● 受像微調整を選んだときは、**決定**ボタンを押してから、←→で調整する

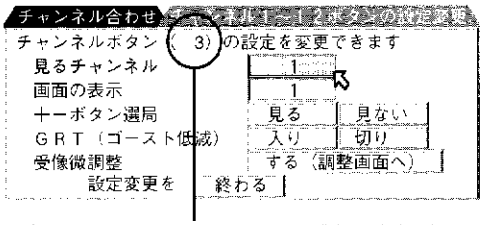


3 手順**1**と**2**を繰り返し、必要な設定を行う

4 続けて、他のリモコンチャンネルボタンの設定も変更するときは、変更したいリモコンの**チャンネル**ボタンを押す

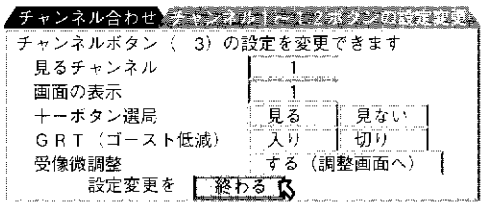
5 手順**1**から**3**を繰り返し、必要な設定を行う
- 設定を変更すると、自動的に変更内容が記憶されます。

6 手順**4**から**5**を繰り返し、必要なリモコンチャンネルボタンの設定を行う



手順**4**でリモコンの**チャンネル**ボタンを押すと、チャンネルボタン番号が変わります。

6 変更が終わったら、↕↔で↖を「設定変更を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す



● ここで、手順**4**と**5**を繰り返して、他のリモコンのチャンネルボタンの設定を変更することもできます。

7 設定が終わったら、↕↔で↖を「この設定を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

● チャンネル合わせを中止して、お買い上げ時の設定に戻すときは、↖を「**初期設定に戻す**」に合わせて、**決定**ボタンを押します。

8 ↕↔で↖を「チャンネル合わせを『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す

手順5の設定項目について

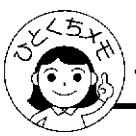
● 見るチャンネル
受信するチャンネルの番号を選びます。（1～12：VHF放送、13～62：UHF放送、C13～C38：CATV放送）

● 画面の表示
テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。

● ＋ーボタン選局
チャンネル＋/－ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。（チャンネルスキップ）
放送を受信していないときは、「**見ない**」にします。

● GRT（ゴースト低減）
ゴースト（映像が2重・3重になって映る現象）を低減するか、しないかの設定をします。
1チャンネルまたは2チャンネルでビデオデッキの再生映像を見るときは、そのチャンネル（1チャンネルまたは2チャンネル）のGRT設定は「**切り**」にします。

● 受像微調整
受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。



ゴースト低減機能について

● ゴースト低減機能については
詳しい説明については「ゴーストを低減する」（☛P.50）をご覧ください。

こんな点にご注意ください

● 次のようなときは、ゴースト低減機能は働きません。
- 放送局からGCR信号が送られてきていないとき
（平成11年4月現在、群馬テレビ、琵琶湖放送、BS放送、CS放送や、ほとんどのCATV放送は、GCR信号を送っていません。）
- 常に違った方向からゴーストが入ってくるときや、ゴーストの電波が強いとき

チャンネルを合わせる(つづき)

CATVチャンネルを直接選ぶ

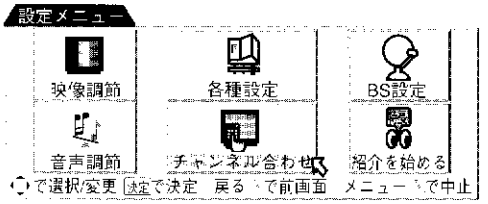
CATVチャンネルを2桁の数字で直接選べるようにします。

◆基本操作◆

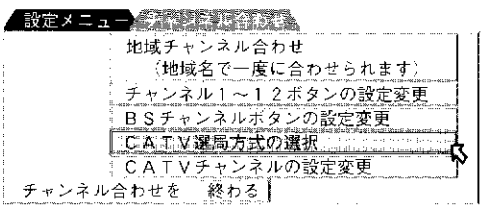
1 メニューボタンを押す

テレビに「設定メニュー」が現れます。

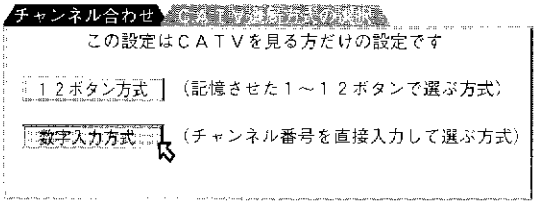
2 で↖を「チャンネル合わせ」に合わせ決定ボタンを押す



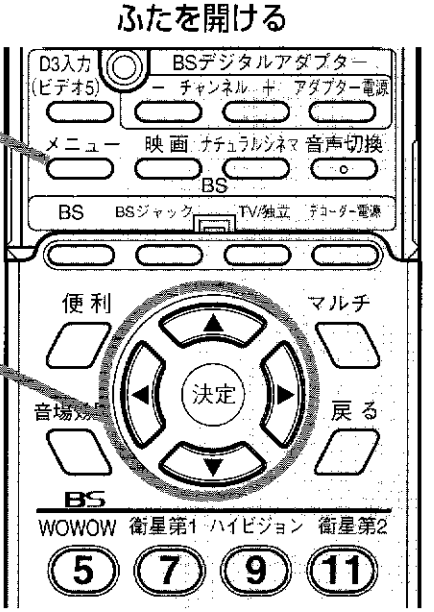
3 で↖を「CATV選局方式の選択」に合わせ決定ボタンを押す



4 で↖を「数字入力方式」に合わせ決定ボタンを押す



ふたたび、手順**3**の画面に戻ります。

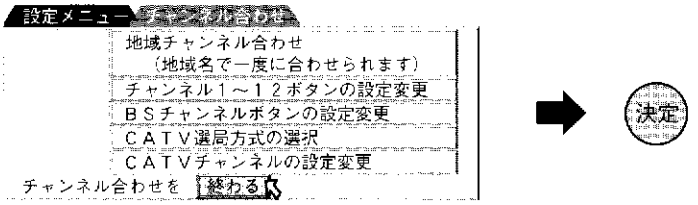


こんなときは

● 操作を途中で中止するには

戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

5 で↖を「チャンネル合わせを「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す



◆応用操作◆

「数字入力方式」を選んだときのチャンネルの選びかた

受信チャンネルを2桁の数字で選びます。

例:
- チャンネル1を選ぶときは、**0(10)**、**1**と押します。
- チャンネル12を選ぶときは、**1**、**2**と押します。
- CATVのチャンネル34を選ぶときは、**3**、**4**と押します。

お買い上げ時の設定に戻すには

チャンネルをリモコンの1～12ボタンで選ぶ方式に戻すときは、手順**4**で↖を「**12ボタン方式**」に合わせてから、**決定**ボタンを押します。

CATVを見る

CATV(ケーブルテレビ)はサービスの行われている地域でだけ受信できます。
CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

CATVを見るための準備

- **CATV会社と受信契約をする**
  詳しくはCATV各社にお問い合わせください。
- **CATVケーブルを接続する**
  ケーブルのつなぎかたはCATV各社にお問い合わせください。
- **CATVのチャンネル合わせをする**

CATVのチャンネル合わせをするには

- **CATVのチャンネル数が12より少ないとき:**
  リモコンの**チャンネル**ボタン**1**から**12**に、空きがあるときは「放送局をひとつずつ設定する」(☛P.64)の説明に従ってチャンネル合わせを行います。
- **CATVのチャンネル数が12より多いとき:**
  CATVの選局方式を「**数字入力方式**」(☛P.66)にしてから、CATV放送のチャンネル合わせを行います。(☛P.68)

チャンネルを合わせる(つづき)

CATVチャンネルを設定する

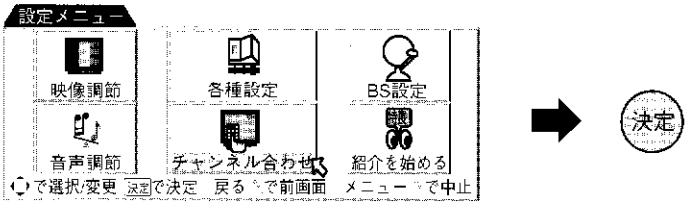
受信チャンネル数が多いときは、次のようにCATVチャンネルを設定します。

CATVの受信チャンネル数が少ないときは、リモコンの1～12ボタンに割り当てられます(☛P.64)。受信チャンネル数が多くて、CATVの選局方法を「**数字入力方式**」(☛P.66)にしてあるときは、次のようにCATVチャンネルを設定します。

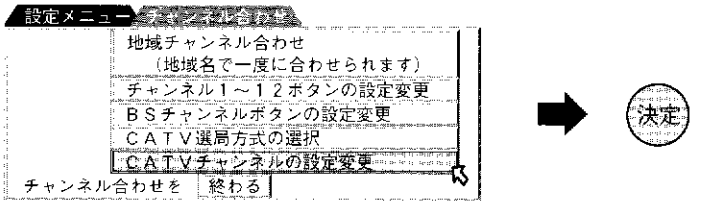
1 メニューボタンを押す

テレビに「設定メニュー」が現れます。

2 で↖を「チャンネル合わせ」に合わせ決定ボタンを押す

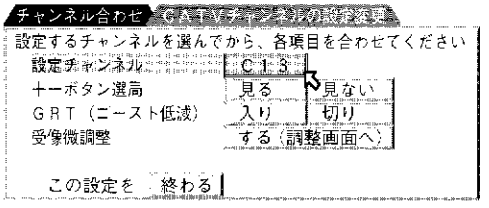


3 で↖を「CATVチャンネルの設定変更」に合わせ決定ボタンを押す



4 で必要な項目を設定する

1 で↖を設定したい項目に合わせる

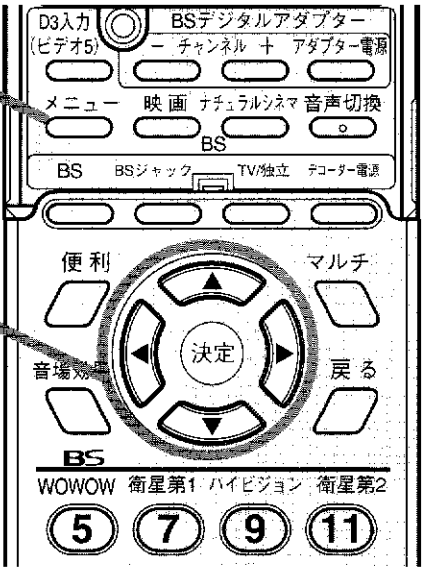


2 で設定を変更する

● 受像微調整を選んだときは、**決定**ボタンを押してから、で調整する

3 手順**1**と**2**を繰り返し、必要な設定を行う

ふたを開ける



こんなときは

● **操作を途中で中止するには**
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

● **2画面、裏番組、番組一覧中は…**
設定メニューの「**チャンネル1～12ボタンの設定変更**」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押すと、上記の機能は解除されます。

5 他のCATVチャンネル設定をするときは

1 ▲▼で↖を「**設定チャンネル**」に合わせる

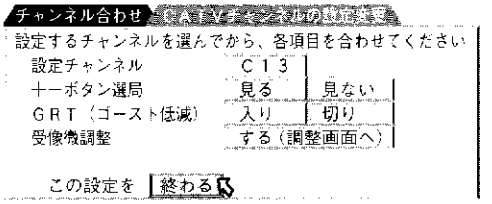
2 ◀▶で設定チャンネルを変更する

3 ▲▼で↖を設定したい項目に合わせる

4 ◀▶で設定を変更する

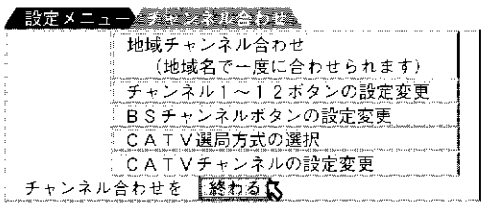
5 手順**3**と**4**を繰り返し、必要な設定を行う

6 設定が終わったら、▲▼で↖を「この設定を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す



ふたたび、手順**3**の画面に戻ります。

7 ▲▼で↖を「チャンネル合わせを『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す



ひとくちメモ 手順4と手順5の設定項目について

● 設定チャンネル
受信するチャンネルの番号を選びます。(C13～C38)

● 十一ボタン選局
チャンネル一/一ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。(チャンネルスキップ)
放送を受信していないときは、「**見ない**」にします。

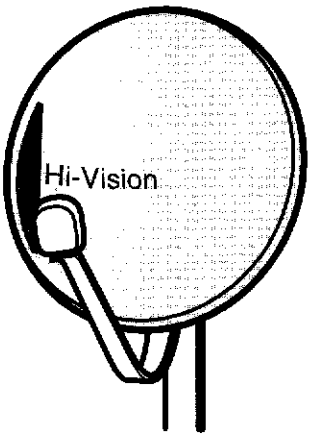
● GRT(ゴースト低減)
ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。

● 受像微調整
受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。

ひとくちメモ ゴースト低減機能について

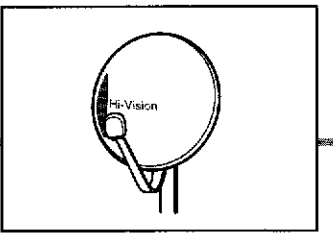
● ゴースト低減機能については
詳しい説明については「ゴーストを低減する」(☛P.50)をご覧ください。

BS放送を楽しむために



◆BSアンテナをつなぐ 72
◆BSアンテナの設定をする 74
◆BSチャンネルの設定を変更する 76
◆BS番組を録画する 78
（BSなしビデオデッキをお持ちのとき） 78
（BS内蔵ビデオデッキをお持ちのとき） 45
◆BSデジタル放送を見る 80

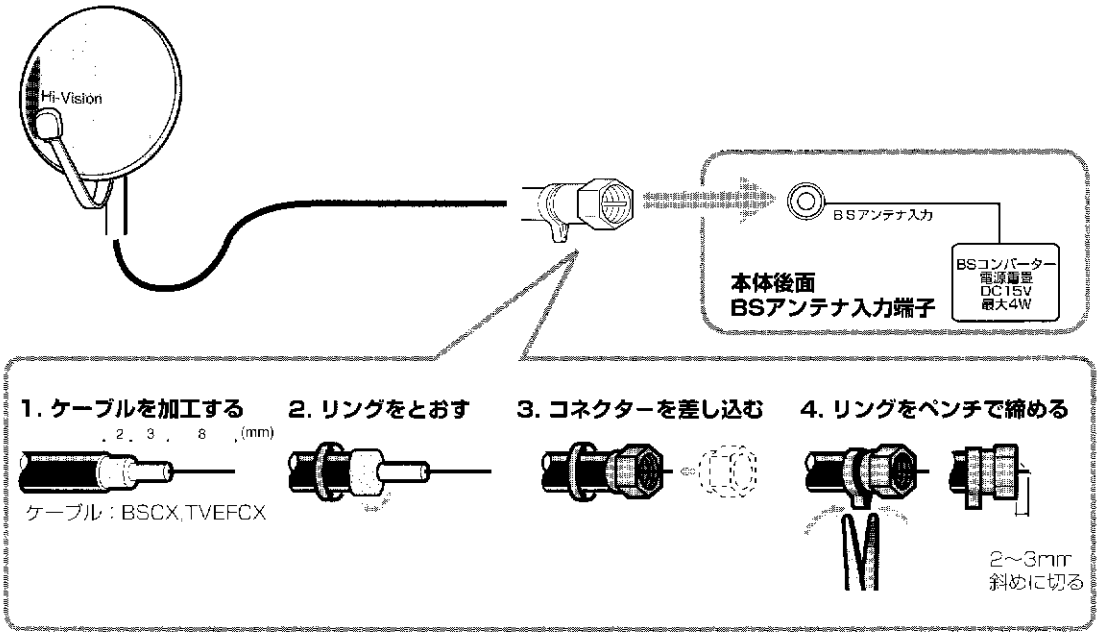
BSアンテナをつなぐ



接続方法

BSアンテナ(コンバーター付)をつなぎます。
一番近い例を選んで、接続してください。

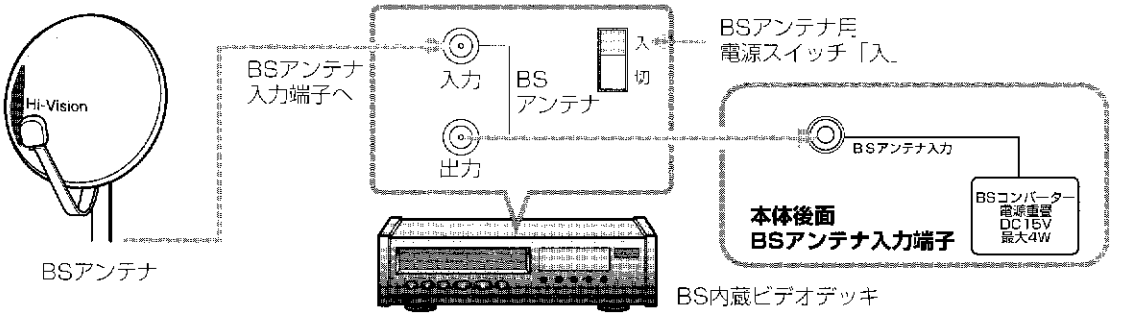
BSアンテナを接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

1. 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」を設定する。(☛P.74)
2. 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。(☛P.75)
3. 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合わせ」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(☛P.76)

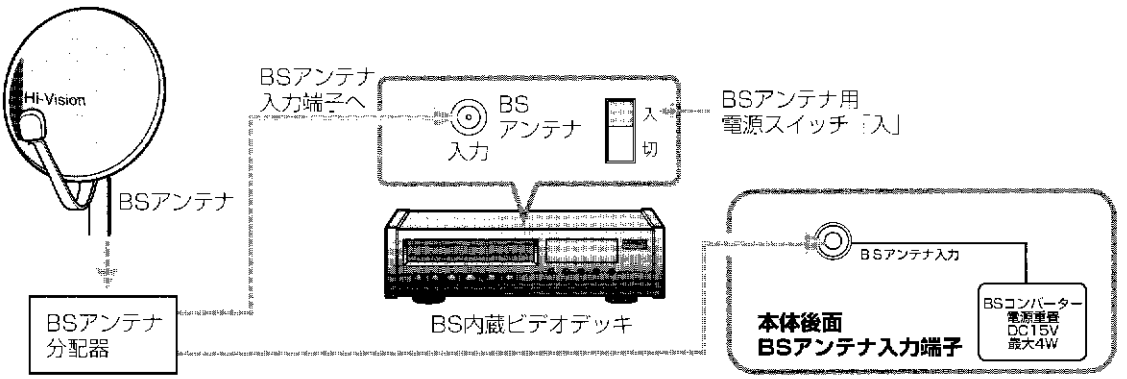
BS内蔵のビデオデッキも一緒に接続するとき



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

1. 設定メニューの「BS設定」で「BSアンテナへの電源供給」を「**供給しない**」にする。(☛P.74)
2. 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。(☛P.75)
3. 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合わせ」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(☛P.76)

BS内蔵のビデオデッキ(BSアンテナ出力端子なし)も一緒に接続する



接続が終わったら、以下の設定をしてください。

1 設定メニューの「BS設定」で「BSアンテナへの電源供給」を設定する。(☛P.74)

- BSアンテナ分配器が両通電のとき:「**供給する**」にする。
  このときは、本装置またはビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
- BSアンテナ分配器が片通電のとき:「**供給しない**」にする。
  このときは、ビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。

2 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。(☛P.75)

3 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合わせ」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(☛P.76)

こんな点にご注意ください

- **BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。**
  ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。
- **82ページから98ページの接続もお手持ちの機器に合わせて必ず行ってください。**

BS(衛星)放送について

日本の南西、赤道上空約36,000kmにある放送衛星を経由してテレビ電波を受信するシステムです。平成11年9月現在でBS5、7、9、11チャンネルが放送されています。

BS5チャンネルはJSB(日本衛星放送株式会社)がWOWOWを、SDAB(衛星デジタル音楽放送株式会社)がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また専用のBSデコーダーが必要になります。

BS9チャンネルでは、ハイビジョンを放送しています。

早くBSを見たい!

BSアンテナの設定をする

BSアンテナに電源を供給する

BSアンテナに電源を本機から供給するかどうかを設定します。

1 放送されているBSチャンネルを選ぶ

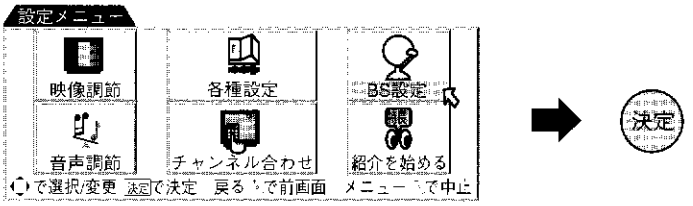
WOWOW　衛星第1　ハイビジョン　衛星第2

5　7　9　11

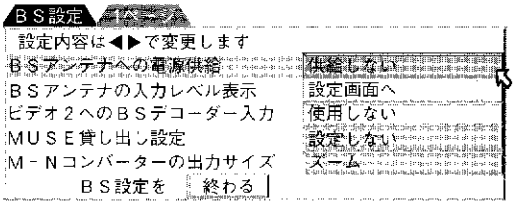
2 メニューボタンを押す

テレビに「設定メニュー」が現れます。

3 ↕で↖を「BS設定」に合わせ 決定ボタンを押す



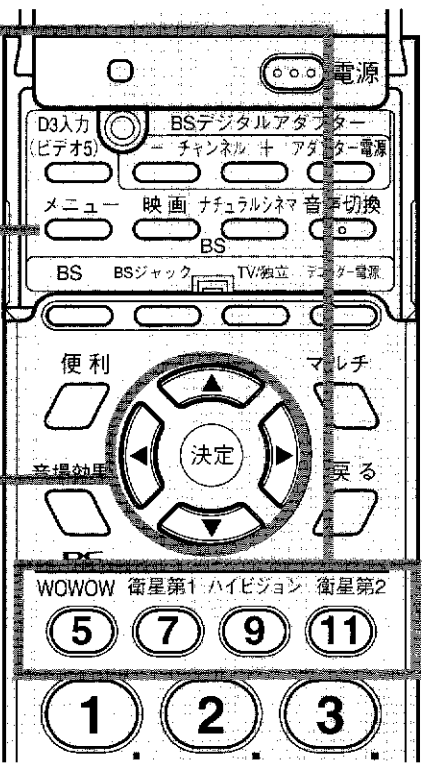
4 ↕で設定を変更する



- 「**供給する　テレビ電源連動**」：本機からBSアンテナのコンバーターに電源を供給します。ただし、本機の電源を切ったときは、BSアンテナコンバーターには電源は供給されません。
  （リモコンの**電源**ボタンを押して、電源を切ったときに、BSジャックが「**入り(BS固定)**」になっていれば、BSアンテナ電源は供給されます。）
- 「**供給しない**」：本機からBSアンテナのコンバーターに電源を供給しません。
  マンションなどで共聴アンテナをお使いのときや、他のBS機器から電源を供給しているときに選びます。

5 ↕で↖を「BS設定を『終わる』」に合わせ 決定ボタンを押す

ふたを開ける



BSアンテナの向きを調節する

画面に表示されるBSアンテナの入力レベルを見ながら、BSアンテナの向きを調節します。

1 放送されているBSチャンネルを選ぶ

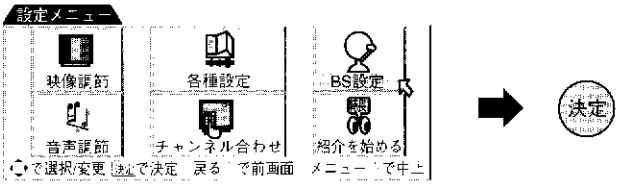
WOWOW 衛星第1 ハイビジョン 衛星第2

5 7 9 11

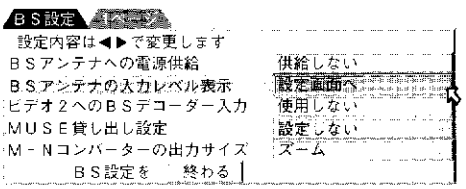
2 メニューボタンを押す

テレビに「設定メニュー」が現れます。

3 で↖を「BS設定」に合わせ 決定ボタンを押す



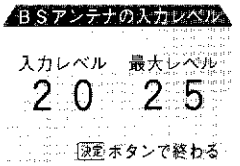
4 で↖を「BSアンテナの入力レベル表示」に合わせ決定ボタンを押す



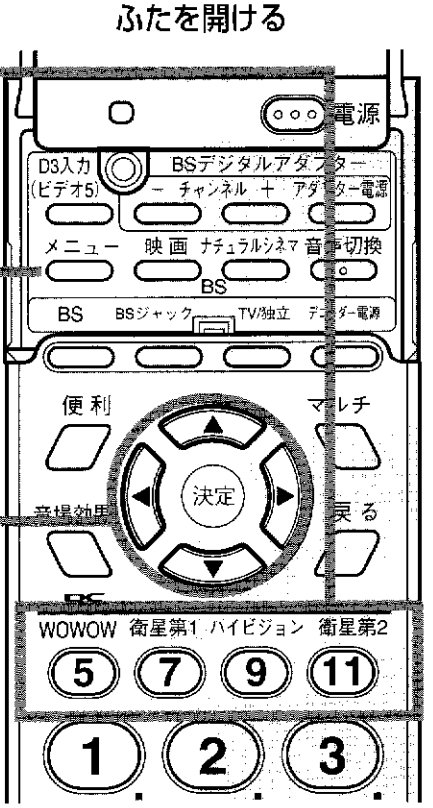
BSアンテナの入力レベル表示画面が現れます。

5 画面を見ながら、BSアンテナの向きを調節する

● 画面上の「入力レベル」の数値が「最大レベル」の数値に近づくように調節します。



6 で↖を「BS設定を『終わる』」に合わせ決定ボタンを押す



入力レベルの数値は

● **入力レベルの数値は…**
BSアンテナを調節するときの目安です。
BS放送がきれいに映っていれば、数値を気にする必要はありません。

BSチャンネルの画面表示を変更したい!

BSチャンネルの設定を変更する

画面表示とBSチャンネルのスキップを設定する

BSチャンネルの画面表示と、BSチャンネルのスキップを設定します。
(通常は、設定の必要はありません。)

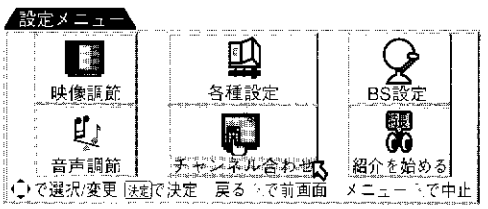
1 放送されているBSチャンネルを選ぶ

WOWOW 衛星第1 ハイビジョン 衛星第2
5 7 9 11

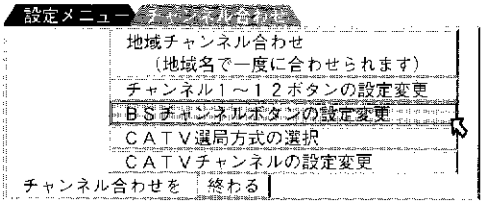
2 メニューボタンを押す

テレビに「設定メニュー」が現れます。

3 ↕で↖を「チャンネル合わせ」に合わせ決定ボタンを押す

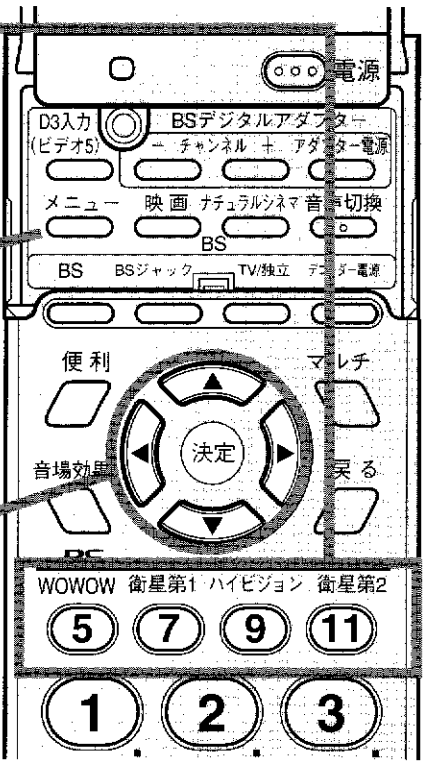


4 ↕で↖を「BSチャンネルボタンの設定変更」に合わせ決定ボタンを押す



BSチャンネルボタンの設定変更画面が現れます。

ふたを開ける



こんな点にご注意ください

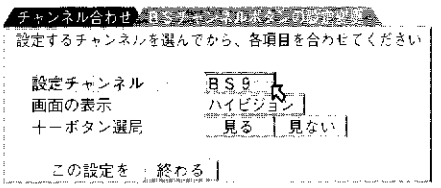
- **2画面や裏番組の表示中は…**
  設定メニューの「BSチャンネルボタンの設定変更」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押すと、上記の機能は解除されます。

5 ↕で必要な項目を設定する

1 ↕で↖を設定したい項目に合わせる

2 ←→で設定を変更する

3 手順1と2を繰り返し、必要な設定を行う



● WOWOWをご覧になるには、別売のBSデコーダーが必要になります。

6 他のBSチャンネルの設定を変更するときは

1 ↕で↖を「**設定チャンネル**」に合わせる

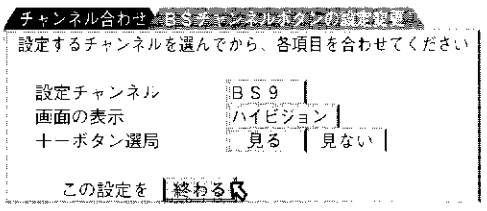
2 ←→で設定チャンネルを変更する

3 ↕で↖を設定したい項目に合わせる

4 ←→で設定を変更する

5 手順3と4を繰り返し、必要な設定を行う

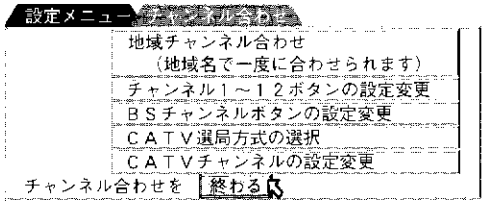
7 設定が終わったら、↕で↖を「この設定を「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す



➡ 決定

ふたたび、手順**4**の画面に戻ります。

8 ↕で↖を「チャンネル合わせを「終わる」」に合わせ決定ボタンを押す



➡ 決定

ひとくちメモ 手順5と手順6の設定項目について

● 設定チャンネル
設定するチャンネルの番号を選びます。
（BS1、3、5、7、9、11、13、15）

● 画面の表示
テレビ画面の表示を選びます。
（表示なし、衛星第1、衛星第2、WOWOW、ハイビジョン）

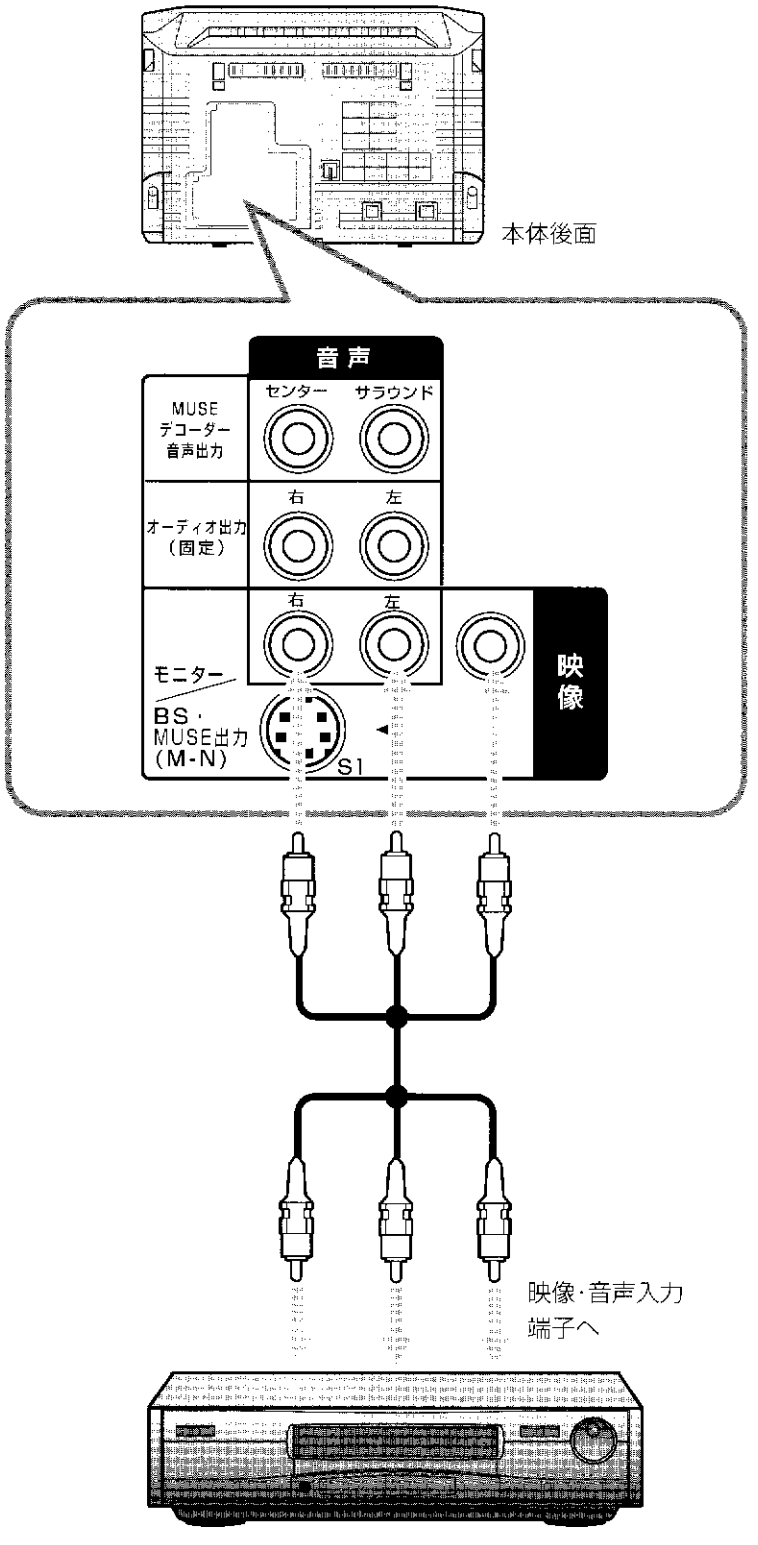
● 十一ボタン選局
チャンネル＋／－ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。（BSチャンネルスキップ）
放送を受信していないときは、「**見ない**」にします。

失敗しないBS録画のしかたを覚えたい!

BS番組を録画する

接続のしかた

本機に内蔵のBSチューナーを使えば、BSの付いていないビデオデッキでもBS放送を録画することができます。



BSなしのビデオデッキ

用語解説

ビーエス BSジャック

BS番組を録画しているときに、録画中のBSチャンネルを固定する機能。

こんな点にご注意ください

● **BSジャックが「入り(BS固定)」のときは**

- 他のBSチャンネルは選べません。
- BSの音声切換はできません。
- 本体の**電源**ボタンを押して、テレビの電源を切らないでください。電源を切るとモニター/BS・MUSE出力端子からはBSチャンネルの映像と音声が出力されなくなります。

録画のしかた

BS番組を見ながら録画するときはビデオの録画操作をおこなってください。

1 録画したいBSチャンネルを選ぶ

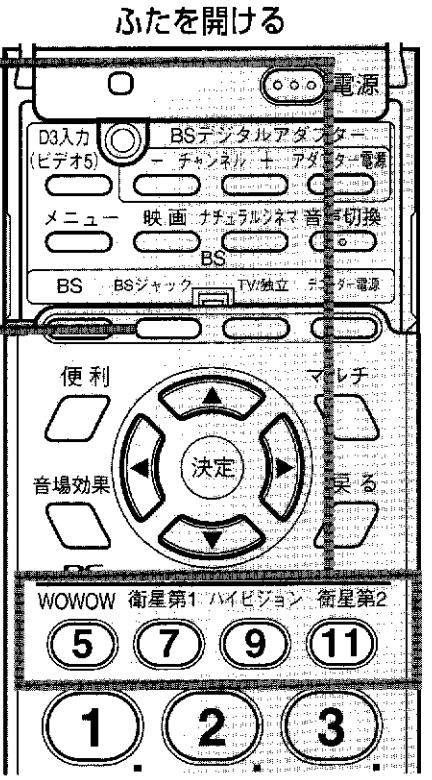
● 必要ならば、二重音声や独立音声を選びます。(☛P.30)

2 BSジャック ボタンを押してBSジャックを「入り(固定)」にする

1度押すと、現在の設定を表示します。
その後押すたびにBSジャックの「**入り(BS固定)**」「**切り**」が切り換わります。

現在の設定

● 「**入り(BS固定)**」:BSチャンネルが固定され、モニター/BS・MUSE出力端子からは、選んだBSチャンネルの映像と音声が出力されます。
BSジャック中はテレビ本体前面のBSジャックランプがオレンジ色に点灯します。
● 「**切り**」:BSジャックは解除され、モニター/BS・MUSE出力端子からは、テレビ画面に映っている映像と音声が出力されます。



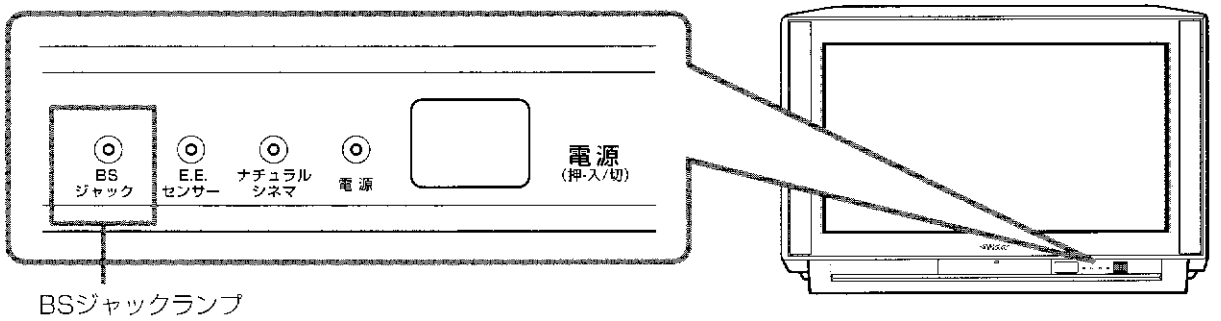
3 ビデオデッキで録画を始める

ビデオデッキの操作については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

※録画中でも、BS以外の番組はご覧になれます。(裏番組録画)

4 BSジャック ボタンを押して「BSジャック」を「切り」にする

BSジャックが解除され、テレビ本体前面のBSジャックランプが消えます。



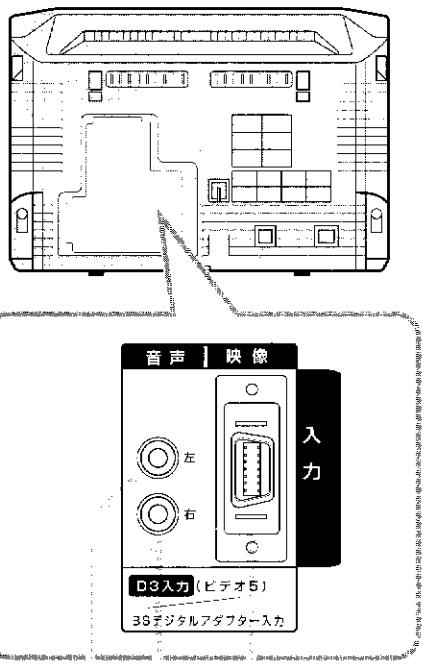
BSジャックランプ

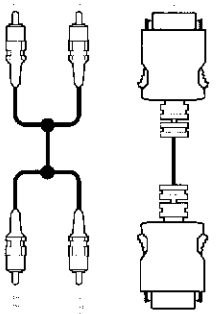
BSデジタル放送を見る

接続のしかたと操作方法

BSデジタル放送(平成12年放送開始予定)をご覧になるには、別売のBSデジタルチューナーが必要です。

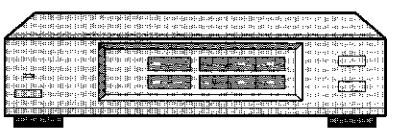
本体後面





音声出力端子へ

D端子出力へ



BSデジタルチューナー

用語解説

BSデジタル放送(ビーエス)

2000年に打ち上げが予定されている「BS-4後発機」で行われる放送です。すべてデジタル方式で放送されます。

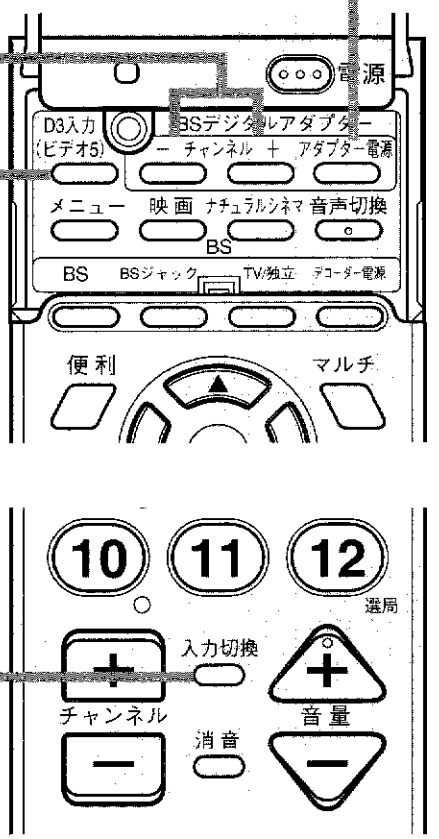
BSデジタルチューナー(ビーエス)

BSデジタル放送を見るときに接続する機器です。
BSデジタルアダプターと呼ばれることもあります。

1 BSデジタルチューナーの電源を入れる

● ビクター製のBSデジタルチューナーをお使いのときは、本機のリモコンの**アダプター電源**ボタンで電源が入れられます。

ふたを開ける



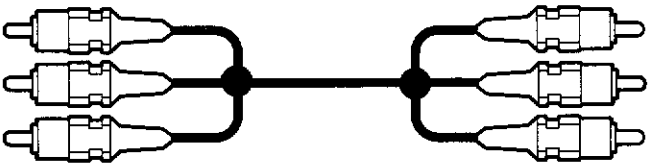
2 D3入力(ビデオ5)ーまたは入力切換ーを押して「D3入力」を選ぶ

● BSデジタルチューナーが本機に接続されていないときは、「D3入力」は選べません。

3 BSデジタルチューナー側で、BSデジタル放送のチャンネルを選ぶ

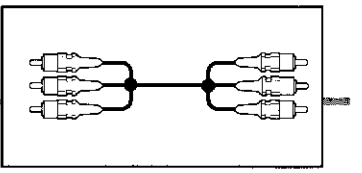
● ビクター製のBSデジタルチューナーをお使いのときは、本機のリモコンの**BSデジタルアダプター チャンネル+/ー**ボタンでチャンネルを選ぶことができます。

さまざまな接続のしかた



◆AV機器などを接続する 82
ビデオムービーを接続する 83
テレビゲームを接続する 83
ビデオデッキ（BSなし）を接続する 84
ビデオデッキ（BS内蔵）を接続する 86
BSデコーダーを接続する 87
DVDプレーヤーを接続する 88
BSデコーダーとBS内蔵ビデオデッキを接続する ... 90
BSデコーダーとW-VHSデッキを接続する 92
BSデジタルチューナーを接続する 94
MUSE-LDプレーヤーを接続する 95
アンプ（オーディオシステム）を接続する 96
ノートパソコンを接続する 98

AV機器などを接続する

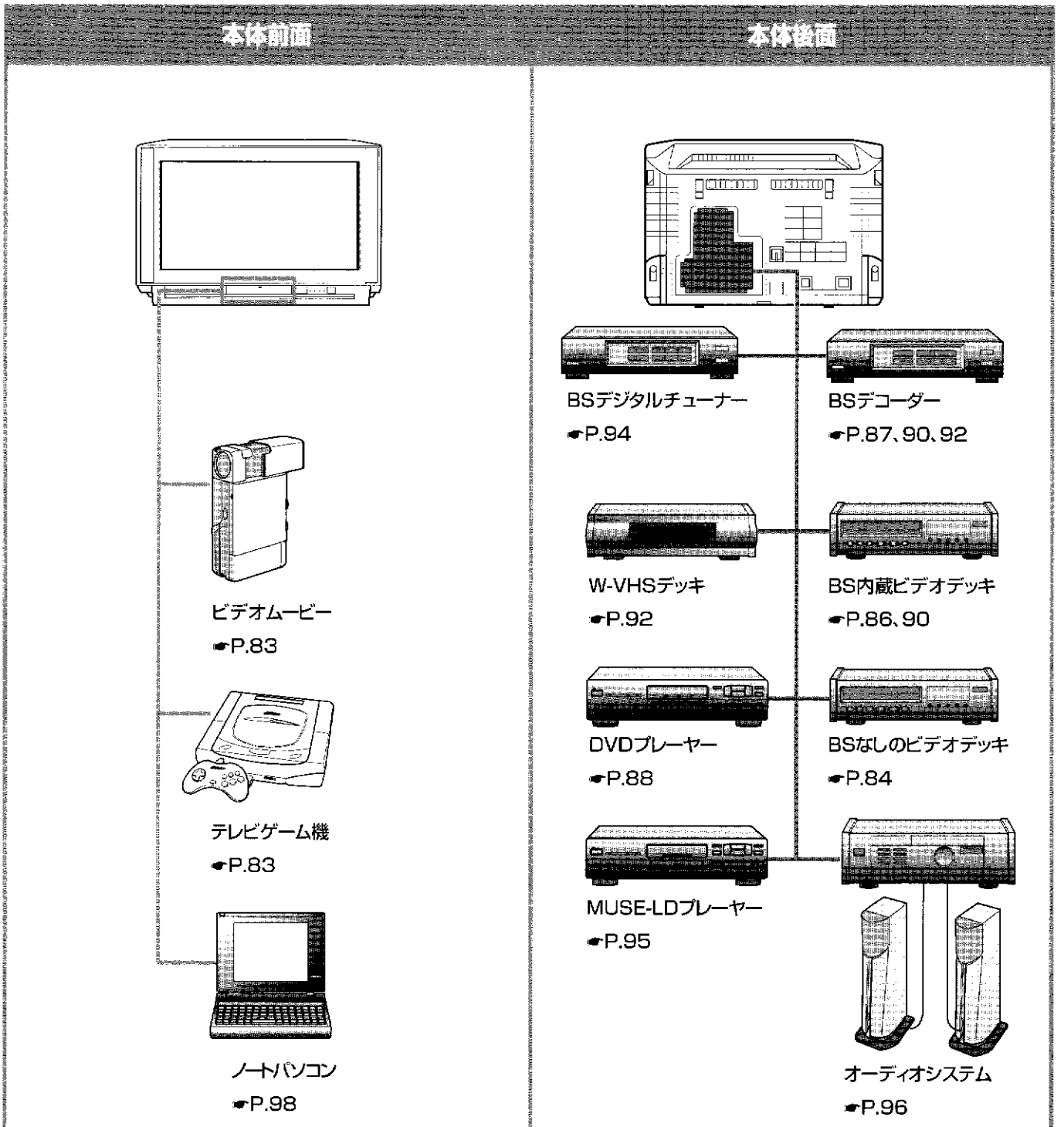


接続できる機器

次のようなAV機器を本機につないで
ご利用いただけます。

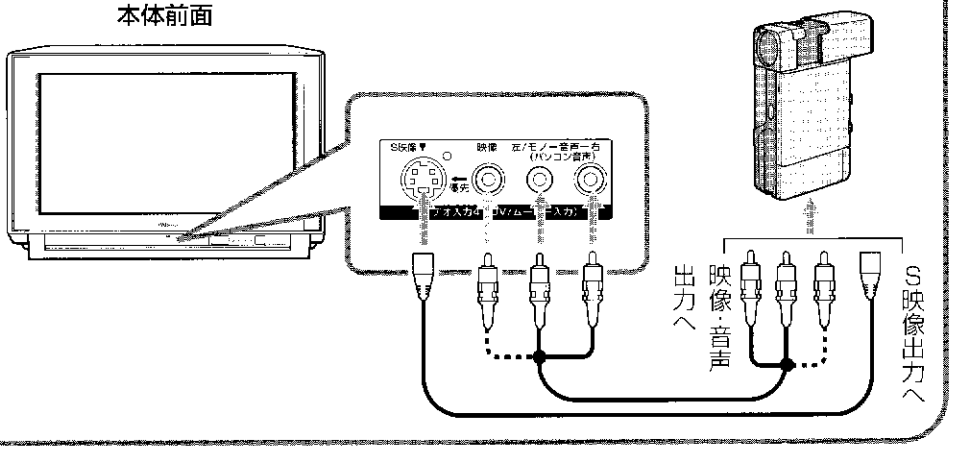
接続するときには、それぞれの機器の電源を切ってから行います。また、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

● 下記の機器は、接続できるAV機器の一例です。下記以外の機器をつなぐときは、接続する機器の取扱説明書を参照ください。



ビデオムービーを接続する

本体前面

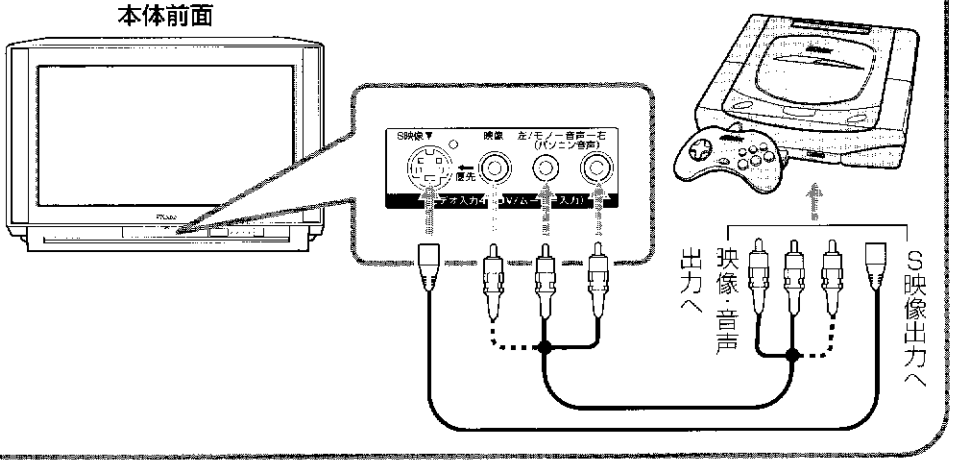


ビデオムービーを見るときは:
入力切換ボタンを押し、「**ビデオ4**」を選びます。

- ビデオムービーの接続には、機種により専用のコードが必要になります。詳しくは、ビデオムービーの取扱説明書をご覧ください。

テレビゲームを接続する

本体前面



ゲームをするときは:
入力切換ボタンを押し、「**ビデオ4**」を選びます。

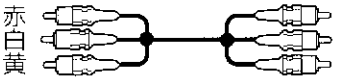
- テレビゲーム機の接続には、機種により専用のコードが必要になります。詳しくは、テレビゲーム機の取扱説明書をご覧ください。

ひとくちメモ

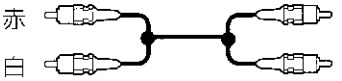
接続コードについて

- 接続に必要なコード類は、次のような市販のコードまたは相手機器に付属のコードをお使いください。
- S映像コードと映像コードの両方のコードが使用できるときは、S映像コードで接続すると、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

映像・音声コード



音声コード

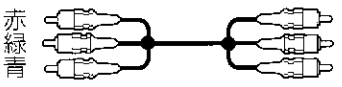


映像コード

S映像コード

AVコンピュリンクケーブル

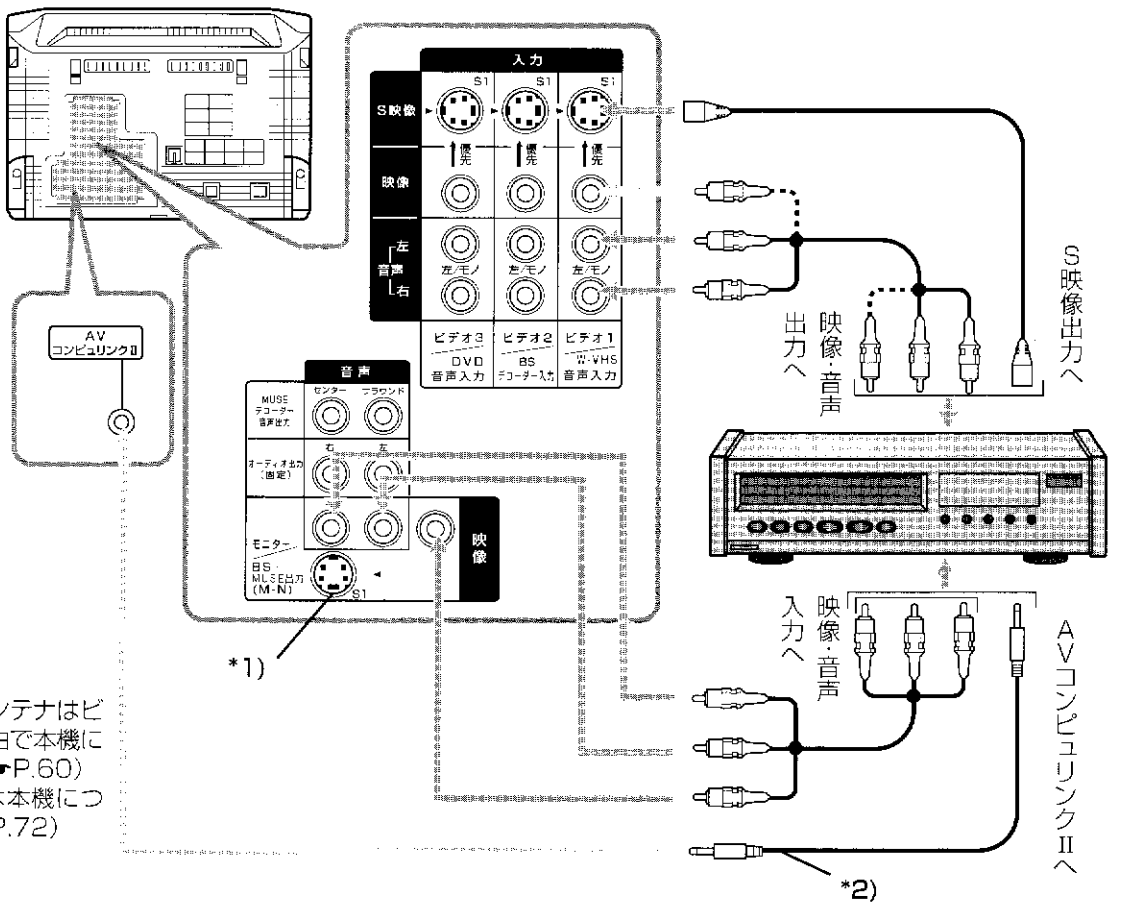
DVD用コンポーネントビデオコード



AV機器などを接続する(つづき)

ビデオデッキ(BSなし)を接続する

本体後面



アンテナの接続:

- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。(☛P.60)
- BSアンテナは本機につなぎます。(☛P.72)

*1) モニター/BS·MUSE出力映像端子をS映像コードで接続すると、BSジャックが「**入り(BS固定)**」のときに、BS9チャンネル以外のBS放送の番組は録画できなくなります。

*2) ビクター製のAVコンピュリンクII端子があるビデオデッキを接続するときにつなぎます。AVコンピュリンクケーブルがないときは、モノラルミニプラグ付接続ケーブル(別売り:CN-120A)をご使用ください。

設置後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「**出力しない**」に設定する。(☛P.37)
- 設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を設定する。(☛P.38)
- 設定メニューの「BS設定」の「M-Nコンバーターの出力サイズ」を設定する。(☛P.44)
- AVコンピュリンクII端子を接続したときは、ビデオデッキのリモコンコードを「Aコード」に設定する。
  (ビデオデッキをビデオ2入力端子に接続するときは「Bコード」に設定します。)

◆基本操作◆

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「**ビデオ1**」を選びます。

BS放送やハイビジョン番組を録画するときは

「BS番組を録画する」(☛P.78)をご覧ください。

通常のテレビ番組(VHF/UHF/CATV)を録画するには

通常のテレビ番組は、ビデオデッキ側だけで録画します。操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

◆応用操作◆

ビデオデッキにAVコンピュリンクII端子が付いているときは

本機とビデオデッキのAVコンピュリンクII端子どうしをつなぎ、設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」(☛P.38)を「**使用する**」に設定すると、テレビとビデオデッキなどの連係操作ができるようになります。

- ビデオデッキのタイマー予約でBS放送のタイマー録画ができます。(ビデオデッキ側のBSチャンネル設定が必要です。)
  ビデオデッキのBSチャンネル設定やタイマー予約の方法は、お持ちのビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- ツメの折れたビデオテープ(市販のビデオソフトなど)をビデオデッキに入れるだけで、自動的にビデオデッキの電源が入りテープの再生が始まります。テレビの入力は「**ビデオ1**」に切り換わります。
  (テレビの電源が切れているときは、自動的に電源が入ります。)
- AVコンピュリンクII端子を使うときは、本機後面のモニター/BS・MUSE出力端子のS映像端子には、ケーブルを接続しないでください。BSジャックが「**入り(固定)**」になると、S映像端子からはBS信号は出力されず、BS放送が録画できなくなります。

ビデオを見るときは:
テープをビデオデッキに入れ、再生ボタンを押します。

BS放送やハイビジョン番組を録画するときは:

1 ビデオデッキで、録画したい番組を選ぶ
  ビデオデッキでBS放送やハイビジョン番組を選ぶと、本機のBSジャックは自動的に「**入り(BS固定)**」になります。テレビ本体前面のBSジャックランプがオレンジ色に点灯します。
  - ビデオデッキでBSチャンネルを選べるようにするには、ビデオデッキのBSチャンネル合わせを行なう必要があります。設定方法については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
2 ビデオデッキで録画を始める
3 録画が終わったら、ビデオデッキでBSチャンネル以外のチャンネルを選ぶ
  本機は自動的にBSジャックを「**切り**」にします。テレビ本体前面のBSジャックランプが消えます。

ハイビジョン番組の録画について

ハイビジョン放送の番組を録画中にできること

- 他の番組(VHF/UHF/CATV)を見る。
- 外部接続機器の映像を見る。
- リモコンで電源を切る。
  録画はそのまま継続されます。

絶対に本体の電源ボタンで電源を切らないでください。BSチューナーの電源が切れて、録画が途切れてしまいます。

ハイビジョン放送の番組を録画中にできないこと

- BSチャンネルを切り換える。
- MUSE-LDプレーヤーからの映像を見る。
- 音声を切り換える。(音声切換、TV/独立)

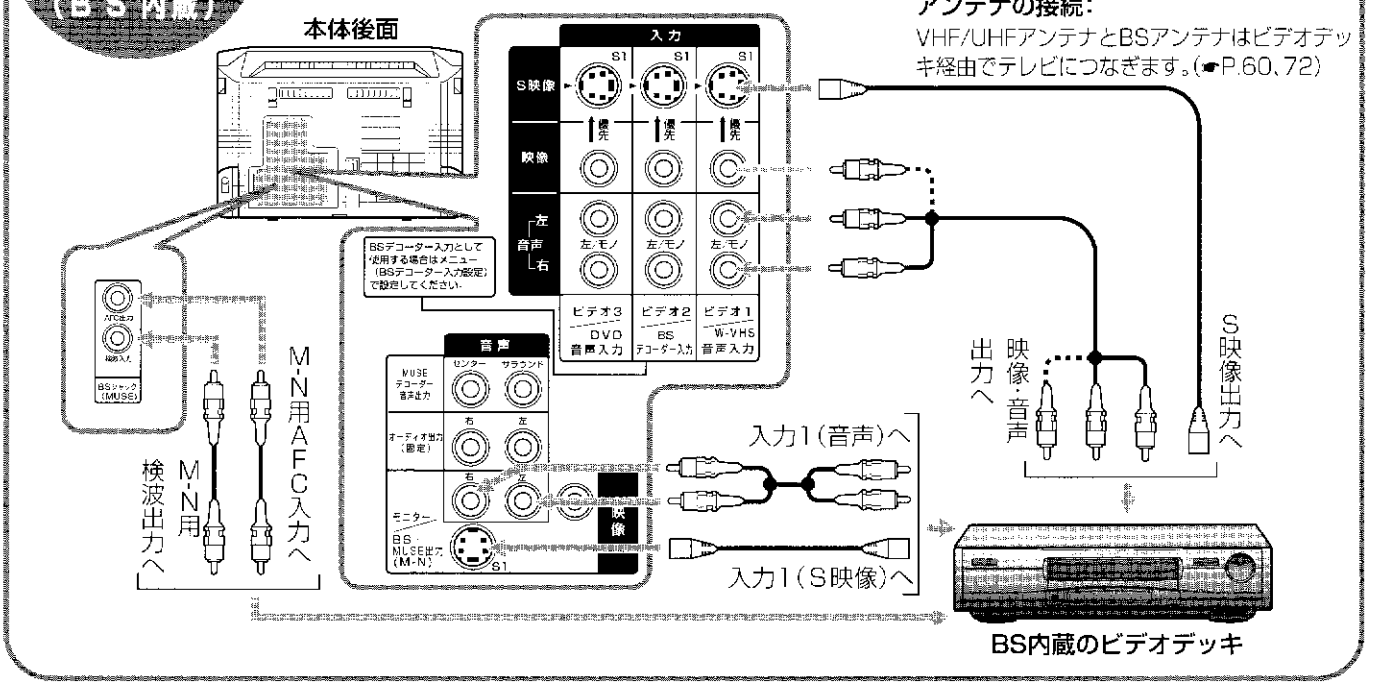
■ビデオデッキと連動する機能について

ビデオデッキ側で行う操作	テレビの動作
ツメを折ったビデオテープを入れる	テレビの電源が入る ビデオ入力が切り換わる(ビデオ1)
再生の操作をする	
BSチャンネルを選ぶ	BSチャンネルが切り換わる BSジャックが「**入り(BS固定)**」になる
電源を切る	ビデオデッキ側の操作で、BSジャックが「**入り(BS固定)**」になっていた場合、BSジャックは「**切り**」になる

- ビデオデッキのリモコンコードを「Bコード」に設定してお使いのときは、ビデオデッキの映像・音声出力端子を本機のビデオ2入力端子に接続してください。

AV機器などを接続する(つづき)

ビデオデッキ(BS内蔵)を接続する



アンテナの接続:
VHF/UHFアンテナとBSアンテナはビデオデッキ経由でテレビにつなぎます。(☛P.60、72)

設置後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「**出力しない**」に設定する。(☛P.37)
- 設定メニューの「M-Nコンバーターの出力サイズ」を設定する。(☛P.44)

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

ハイビジョン放送の番組を録画するときは

1 各種設定メニューの「MUSE貸し出し設定」で「**設定する**」を選ぶ(☛P.45)
2 ビデオデッキでBS9チャンネルを選び、録画を始める
3 録画が終わったら、各種設定メニューの「MUSE貸し出し設定」で「**設定しない**」を選ぶ

- 録画中にハイビジョン番組を見たいときは、**入力切換**ボタンを押し、「**ビデオ1**」を選びます。

もっと簡単にハイビジョン番組を録画したいとき

ハイビジョンを見ながらハイビジョン番組を録画する場合は、ビデオデッキの入力を切り換え、録画の操作をしてください。

通常のテレビ番組(VHF/UHF/CATV)とBS放送を録画するには

通常のテレビ番組やBS有料放送以外のBS放送は、ビデオデッキ側だけで録画します。
操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

ハイビジョン番組の録画について

ハイビジョン放送の番組を録画中にできること

- 他の番組(VHF/UHF/CATV/BS)を見る。
- ビデオ1～5の映像を見る。
- リモコンで電源を切る。
  録画はそのまま継続されます。

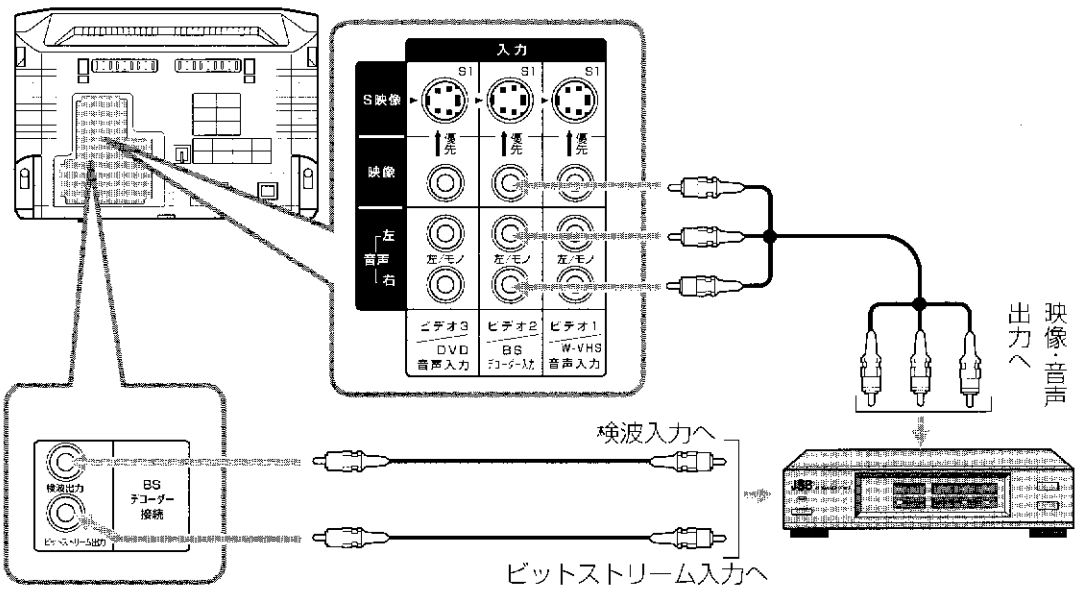
絶対に本体の電源ボタンで電源を切らないでください。BSチューナーの電源が切れて、録画が途切れてしまいます。

ハイビジョン放送の番組を録画中にできないこと

- MUSE-LDプレーヤーからの映像を見る。

BSデコーダーを接続する

本体後面



設置後に次の設定をしてください。

● 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(自動切換)**」あるいは「**使用する(固定)**」にする。(☛P.36)

WOWOWを見るときは

1 **デコーダー電源**ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ(☛P.14)
● 二重音声はBSデコーダー側で選びます。

St. GIGAを聞くときは

1 **デコーダー電源**ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ(☛P.14)
3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
● BSデコーダー側で独立音声を選んでSt.GIGAの音声が聞けないときは、設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(固定)**」に設定してください。

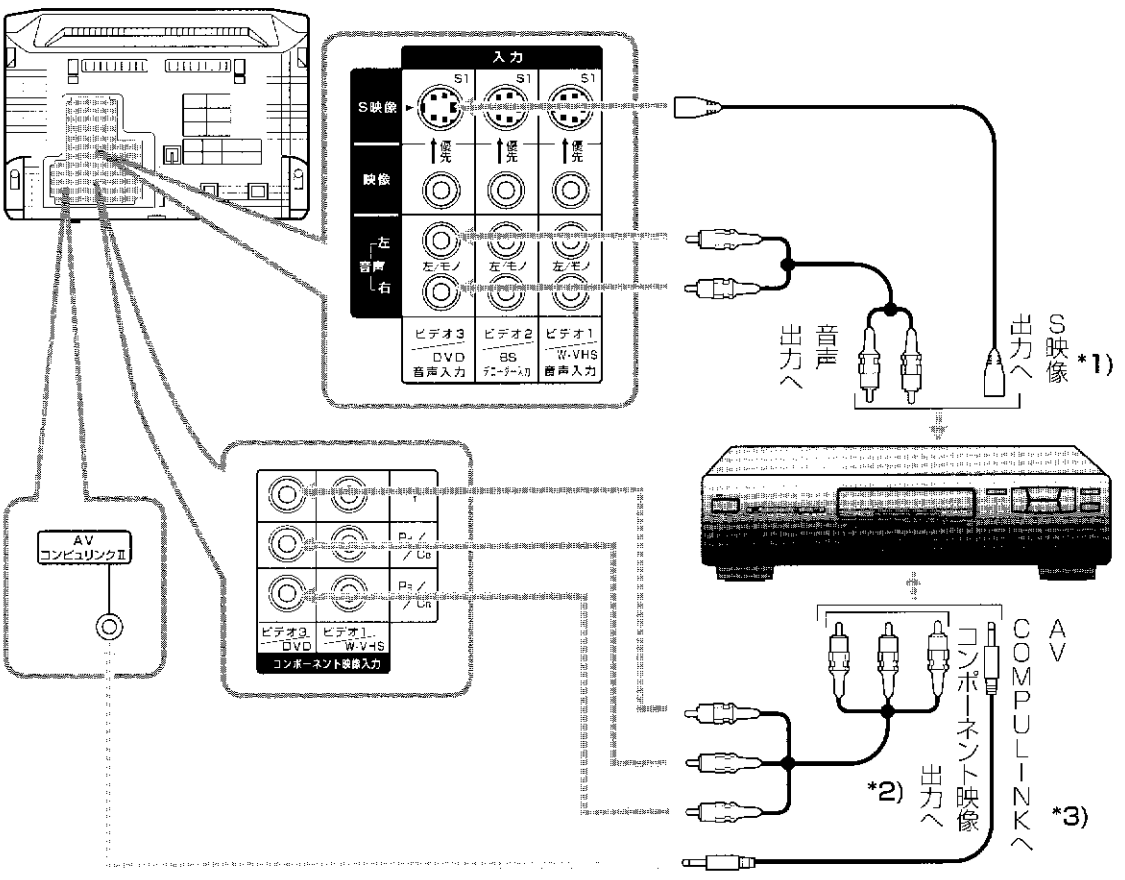
用語解説 **WOWOW**(ワウワウ)
JSBが放送する番組の愛称。

用語解説 **St.GIGA**(セント ギガ)
衛星デジタル音楽放送株式会社の放送局名。WOWOWの独立音声を使って放送しています。

AV機器などを接続する(つづき)

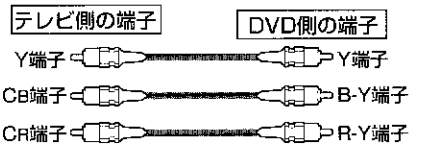
DVDプレーヤーを接続する

本体後面



*1) コンポーネント映像入力を使って接続している場合でも、S映像コードを接続することをおすすめします。DVDプレーヤーからの映像の画面サイズを自動で切り換えることができるようになります。
DVDプレーヤーからの映像を2画面(☛P.18)で見たいときは、S映像コードと音声コードで接続してください。コンポーネント映像コードのみでご使用の場合は、DVDプレーヤーからの映像を2画面で見ることはできません。

*2) お手持ちのDVDプレーヤーにコンポーネント映像出力(Y/C_B/C_R)端子があるときに接続します。DVD用コンポーネントビデオコード(別売り)などをお使いください。
また、DVDプレーヤーのコンポーネント映像出力端子に「Y/B-Y/R-Y」と記載されているときは、右のように接続してください。



*3) ビクター製のAVコンピュリンク端子があるDVDプレーヤーを接続するときにつなぎます。AVコンピュリンクケーブルがないときは、モノラルミニプラグ付接続ケーブル(別売り:CN-120A)をご使用ください。

ひとくち メモ

設置後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を設定する。(☛P.38)
- DVDプレーヤーのマルチアスペクト(画面サイズ)をワイド画面用の設定にしてください。
詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDを見るときは

入力切換ボタンを押し、「**ビデオ3**」を選びます。

DVDプレーヤーにAVコンピュリンク端子が付いているときは

本機のAVコンピュリンクII端子とDVDプレーヤーのAVコンピュリンク端子をつなぎ、設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」(☛P.38)を「**使用する**」に設定すると、DVDプレーヤーを操作するだけで、テレビ電源が入り、DVDプレーヤーを接続した入力が自動的に選ばれます。

必要な設定:

- 本機でDVDプレーヤーの接続に使用した入力端子にあわせて、DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードを次のように設定してください。

使用した入力端子	AVコンピュリンクモード
ビデオ3	DVD1
ビデオ1	DVD2
ビデオ2	DVD3

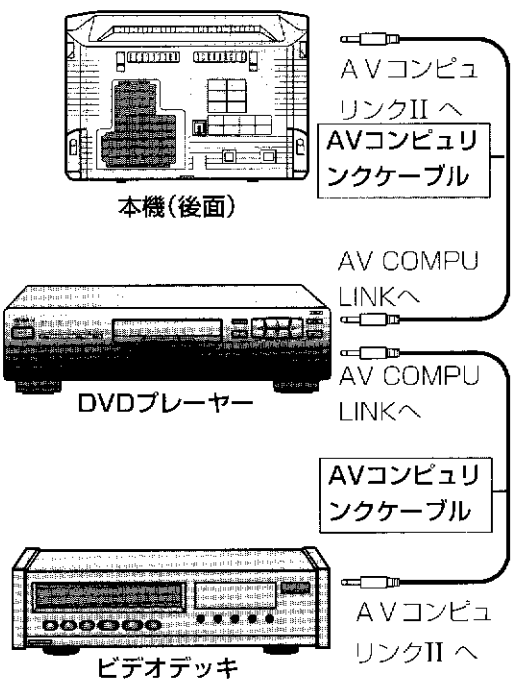
88ページの図のように接続したときは、AVコンピュリンクモードを「DVD1」にします。

AVコンピュリンクII端子のあるビデオデッキも接続するときは

AVコンピュリンクII端子のあるビデオデッキも接続するときは:

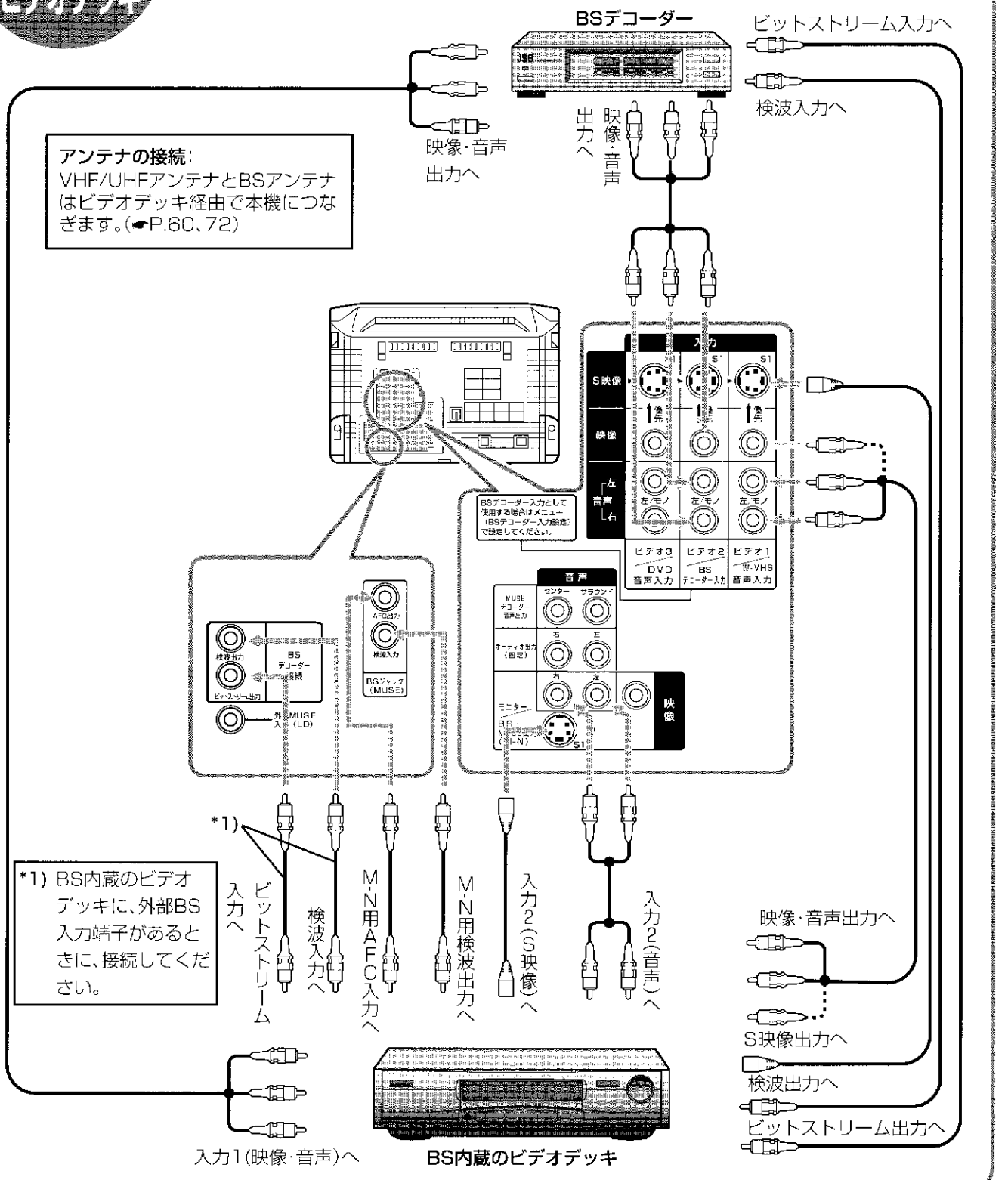
1 次のようにAVコンピュリンクケーブルを接続する
2 DVDプレーヤーの映像・音声出力を本機後面のビデオ3入力端子に接続する
3 ビデオデッキの映像・音声出力を本機後面のビデオ1入力端子に接続する
4 DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードを「DVD1」に設定する
5 ビデオデッキのリモコンコードを「Aコード」に設定する

- BSジャックが「**入り(BS固定)**」(☛P.79)のとき、あるいは、MUSE貸し出し設定が「**設定する**」(☛P.45)のときは、DVDプレーヤーの電源を切らないでください。DVDプレーヤーの電源を切ると、録画が中止されることがあります。
- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する**」にしているときは、DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードを「**DVD3**」に設定すると、本機の入力は「**ビデオ3**」に切り換わるようになります。
- AVレシーバーを組み合わせて接続するときは、DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードの設定を変える必要がある場合があります。詳しくは、AVレシーバーとDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。



AV機器などを接続する(つづき)

BSデコーダーとBS内蔵ビデオデッキを接続する



もっと簡単にハイビジョン番組を録画したいとき

ハイビジョンを見ながらハイビジョン番組を録画する場合は、ビデオデッキの入力を切り換え、録画の操作をしてください。

設置後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「**出力しない**」に設定する。(☛P.37)
- 設定メニューの「BS設定」の「M-Nコンバーターの出力サイズ」を設定する。(☛P.44)
- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(自動切換)**」にする。(☛P.36)

ビデオを見るときは

入力切換ボタンを押し、「**ビデオ1**」を選びます。

WOWOWを見るときは

1 **デコーダー電源**ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ(☛P.14)

St. GIGAを聞くときは

1 **デコーダー電源**ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ(☛P.14)
3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
- BSデコーダー側で独立音声を選んでSt. GIGAの音声が聞けないときは、設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(固定)**」に設定してください。

こんな点にご注意ください

BS内蔵のビデオデッキに外部BS入力端子がなく、90ページの*1)接続ができないときは、以下の手順でWOWOWやSt.GIGAをお楽しみください。

1 BS内蔵のビデオデッキ側で、BS5チャンネルを選ぶ
2 本機の**入力切換**ボタンを押し、「**ビデオ1**」を選ぶ

- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用しない**」にします。

通常のテレビ番組(VHF/UHF/CATV)とBS放送を録画するには

通常のテレビ番組やBS有料放送以外のBS放送は、ビデオデッキ側だけで録画します。
操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

BS有料番組を録画するときは

BSデコーダーとビデオデッキだけで行えます。(本機の操作とは関係なく、録画できます。)

1 **デコーダー電源**ボタンを押して、BSデコーダーの電源を入れる
2 ビデオデッキの電源を入れ、ビデオデッキで録画したい番組(BS5チャンネル)を選ぶ
操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
3 BSデコーダーで音声を選ぶ
4 ビデオデッキで録画を始める

ハイビジョン放送の番組を録画するときは

1 各種設定メニューの「MUSE貸し出し設定」で「**設定する**」を選ぶ(☛P.45)
2 ビデオデッキでBS9チャンネルを選び、録画を始める
3 録画が終わったら、もう1度「MUSE貸し出し設定」で「**設定しない**」を選ぶ
- 録画中にハイビジョン番組を見たいときは、**入力切換**ボタンを押し、「**ビデオ1**」を選びます。

ハイビジョン番組の録画について

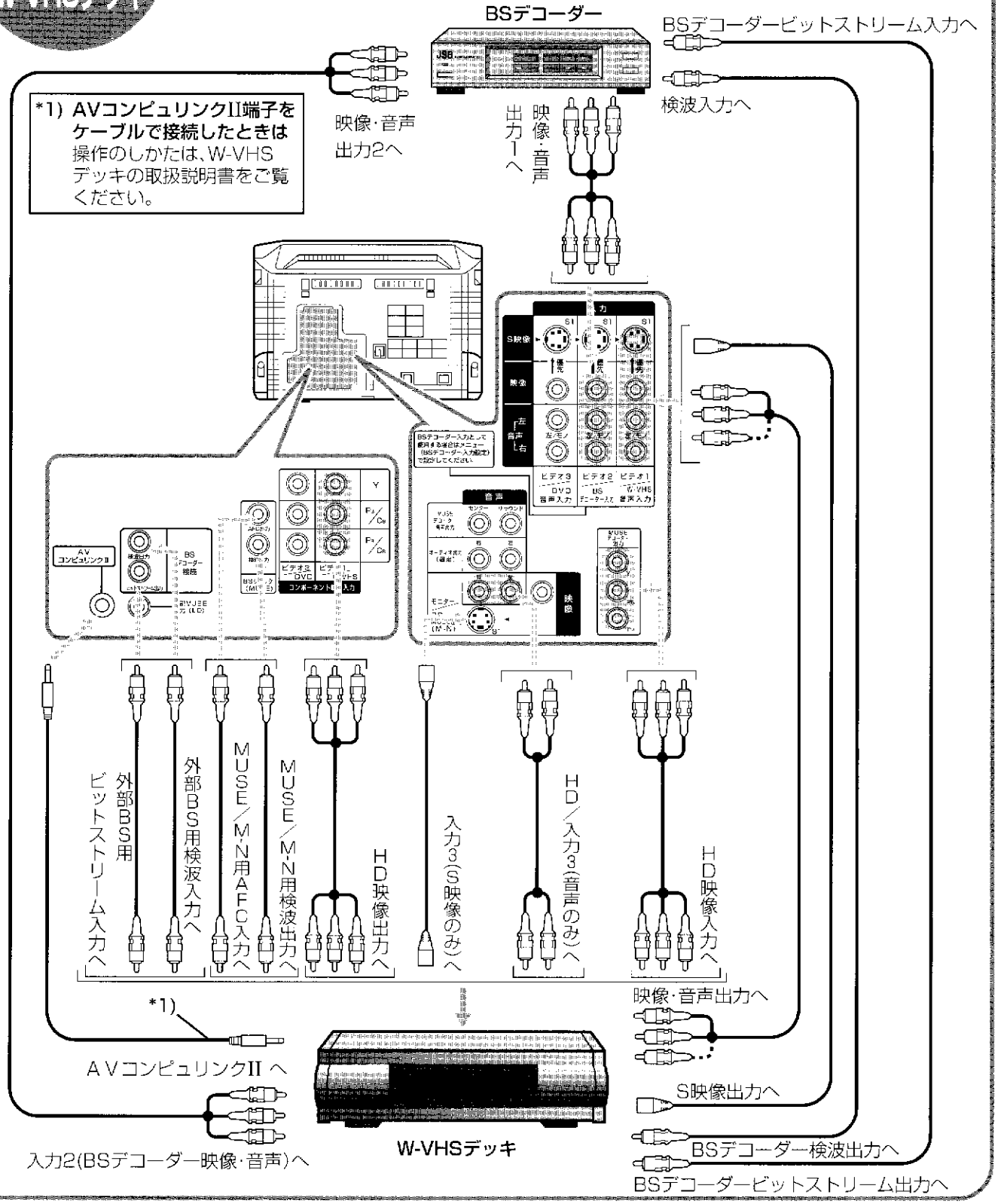
ハイビジョン放送の番組を録画中にできること
- 他の番組(VHF/UHF/CATV/BS)を見る。
- ビデオ1～5の映像を見る。
- リモコンで電源を切る。
録画はそのまま継続されます。

絶対に本体の電源ボタンで電源を切らないでください。BSチューナーの電源が切れて、録画が途切れてしまいます。

ハイビジョン放送の番組を録画中にできないこと
- MUSE-LDプレーヤーからの映像を見る。

AV機器などを接続する(つづき)

BSデコーダーとW-VHSデッキを接続する



設置後に次の設定をしてください

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「**出力しない**」に設定する。(☛P.37)
- 設定メニューの「BS設定」の「M-Nコンバーターの出力サイズ」を設定する。(☛P.44)
- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(自動切換)**」にする。(☛P.36)
- 設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を設定する。(☛P.38)

W-VHSデッキの映像を見るときは

1 **入力切換**ボタンを押し、「**ビデオ1**」を選ぶ
2 W-VHSデッキの電源を入れ、テープを再生する

BS有料番組を見るときは

1 BSデコーダーの電源を入れる
2 **BSチャンネル**ボタンを押して、見たい番組を選ぶ

通常のテレビ番組(VHF/UHF/CATV)とBS放送を録画するには

通常のテレビ番組やBS有料放送以外のBS放送は、W-VHSデッキ側だけで録画します。
60ページや72ページのアンテナ接続も行ってください。
操作のしかたは、W-VHSデッキの取扱説明書をご覧ください。

ハイビジョン放送を録画するときは

1 各種設定メニューの「MUSE貸し出し設定」で「**設定する**」を選ぶ(☛P.45)
2 W-VHSデッキでBS9チャンネルを選び、録画を始める
操作のしかたは、W-VHSデッキの取扱説明書をご覧ください。
3 録画が終わったら、もう1度「MUSE貸し出し設定」で「**設定しない**」を選ぶ

- 録画中にハイビジョン番組を見たいときは、**入力切換**ボタンを押し、「**ビデオ1**」を選びます。

BS有料番組を録画するときは

1 リモコンの**デコーダー電源**ボタンを押して、BSデコーダーの電源を入れる
2 W-VHSデッキの電源を入れ、W-VHSデッキでBS5チャンネルを選ぶ
操作のしかたは、W-VHSデッキの取扱説明書をご覧ください。
3 BSデコーダーで音声を選ぶ
4 W-VHSデッキで録画を始める

もっと簡単にハイビジョン番組を録画したいとき

ハイビジョンを見ながらハイビジョン番組を録画する場合は、ビデオデッキの入力を切り換え、録画の操作をしてください。

ハイビジョン放送の録画について

ハイビジョン放送を録画中にできること

- 他の番組(VHF/UHF/CATV/BS)を見る。
- ビデオ1～5の映像を見る。
- リモコンで電源を切る。
録画はそのまま継続されます。

絶対に本体の電源ボタンで電源を切らないでください。BSチューナーの電源が切れて、録画が途切れてしまいます。

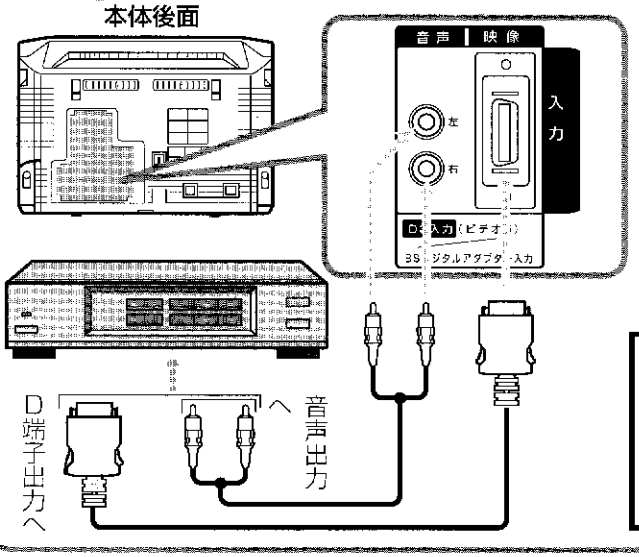
ハイビジョン放送を録画中にできないこと

- MUSE-LDプレーヤーからの映像を見る。

AV機器などを接続する(つづき)

BSデジタルチューナーを接続する

本体後面

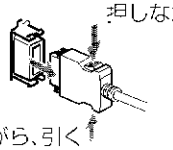


接続するためには？

映像は「D端子ケーブル」という、専用ケーブルを使って接続します。

音声は通常の音声コード(ピンコード)を使って接続します。

D端子コネクタの外しかた



D端子とは？

近い将来始まるBSデジタル放送に備えて誕生した、新しい規格の端子です。

接続できる機器は？

BSデジタル放送を受信するためのBSデジタルチューナーなどの、BSデジタル放送の周辺機器がいろいろと開発・発売される予定です。

D端子の種類とフォーマット

D端子は、機器が出力できる信号の種類(フォーマット)により、D1からD5までに分けられています。

- **本機がもっている端子は「D3端子」です。**
- **接続する機器のD端子が「D3」、「D2」または「D1」に対応していないと、本機には接続できません。**

D1	480i
D2	480p (480i)
D3	1080i (480p、480i)
D4	720p (1080i、480p、480i)
D5	1080p (720p、1080i、480p、480i)

- 表中の( )内の信号は、機器によっては対応していないことがあります。実際にお使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。また、「D4」と「D5」で扱える信号は変更になることがあります。
- 出力できる信号や切換方法については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

BSデジタル放送の映像を見るときは

D3入力(ビデオ5)ボタンまたは**入力切換**ボタンを押し、「**D3入力**」を選ぶ

D端子で接続した機器からの映像が画面に映ります。(D端子ケーブルを本機に接続しないと、「**D3入力**」は選べません。)

1080iの映像信号を受信したときは、画面サイズは自動的に「**サイズ2**」になります。

480pの映像信号を受信したときは、画面サイズは次のように自動的に切り換わります。

- 16:9の映像の場合:「**フル**」になります。
- 劇場サイズの映像の場合:「**シネマ**」になります。
- 通常の4:3の映像の場合:「**ノーマル**」になります。

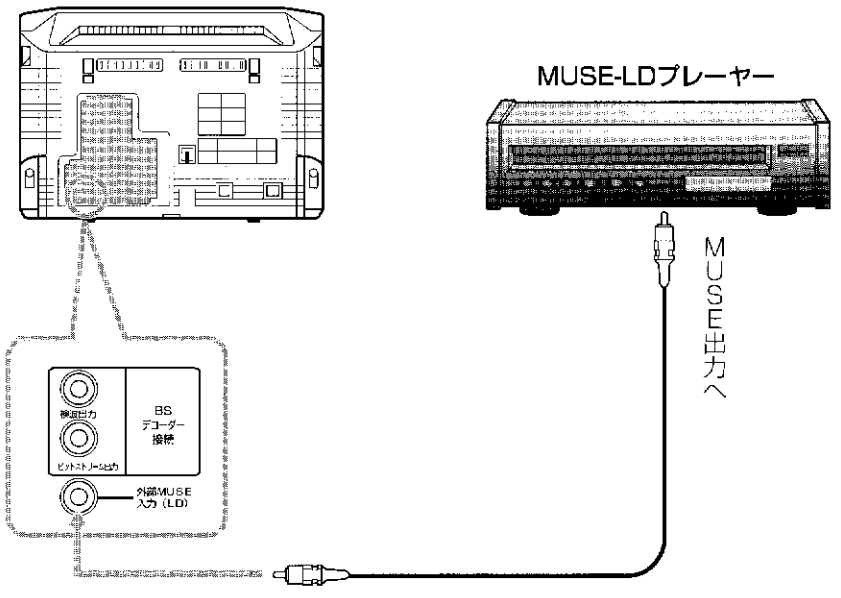
画面サイズが自動的に切り換った後で、「**シネマ**」、「**フル**」または「**ノーマル**」の中から、お好きな画面サイズを選ぶことができます。

480iの映像信号を受信したときは、画面サイズは次のように自動的に切り換わります。

- 16:9の映像の場合:「**フル**」になります。
- 劇場サイズの映像の場合:「**シネマ**」になります。
- 通常の4:3の映像の場合:設定メニューの「各種設定」の「オートパノラマ動作時の画面」で設定した画面サイズになります。

画面サイズが自動的に切り換った後で、「**シネマ**」、「**フル**」または「**ノーマル**」の中から、お好きな画面サイズを選ぶことができます。

MUSE-LDプレーヤーを接続する



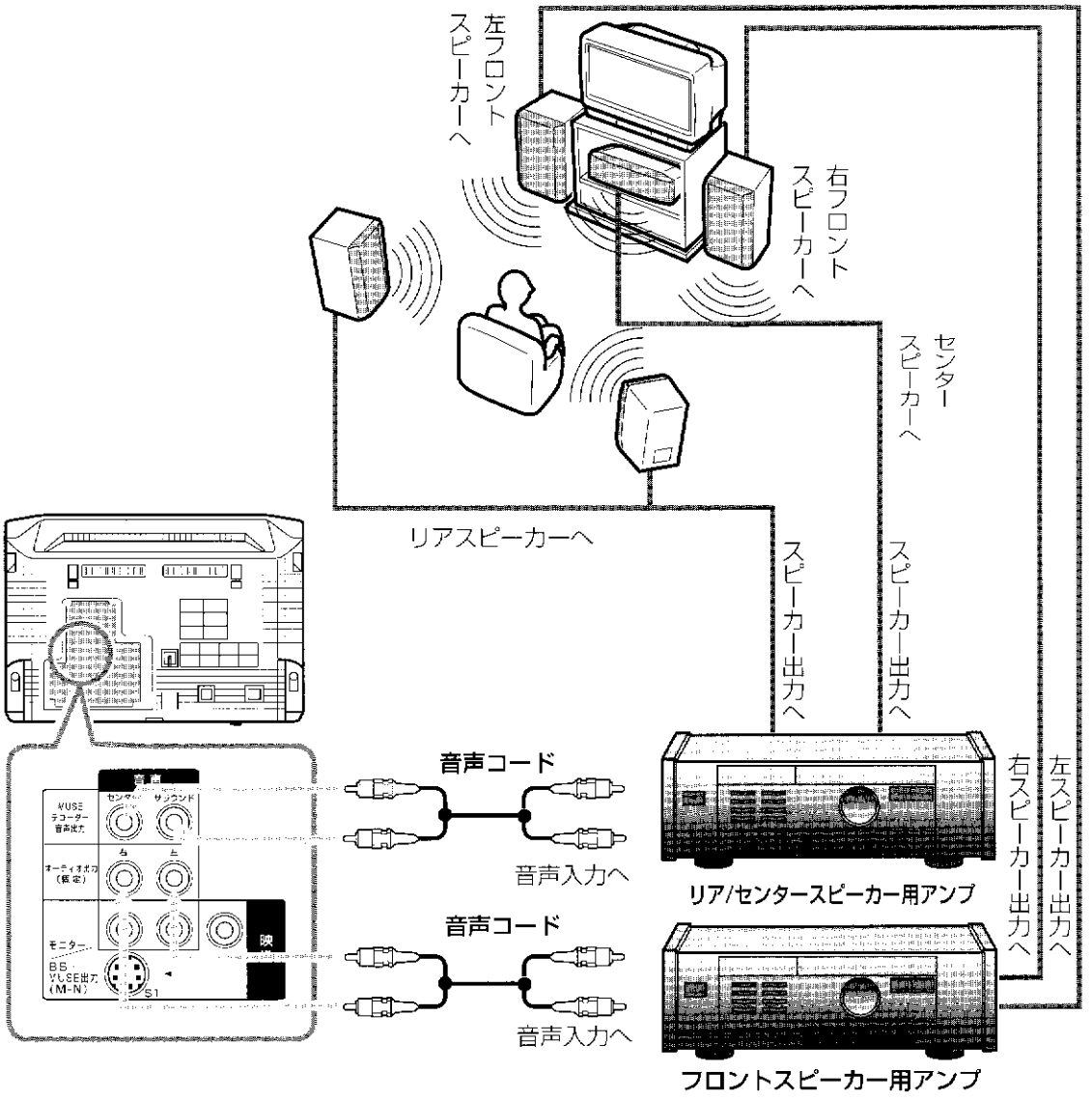
MUSE-LDプレーヤーの映像を見るときは

1 **入力切換**ボタンを押し、「**外部MUSE**」を選ぶ
2 音声を設定する
設定のしかたは、「ハイビジョンの音声の設定」(☛P.46)をご覧ください。

AV機器などを接続する(つづき)

アンプ(オーディオシステム)を接続する

オーディオ機器のスピーカーで本格的なステレオ音声を楽しむことができます。
また、アンプを2台接続すれば、ハイビジョン放送の4チャンネル音声(3−1方式4チャンネルステレオ)を再現して、サラウンド効果を楽しむことができます。



ひとくちメモ

設置後に次の設定をしてください

● 設定メニューの「MUSE音声の出力」を正しく設定する。(☛P.46)

オーディオシステムで本格的なステレオ音声またはサラウンドを楽しむには

詳しくは、アンプ(オーディオシステム)の取扱説明書をご覧ください。
(ハイビジョンの4チャンネル放送を2台のアンプ(オーディオシステム)を使ってお楽しみになるときは、両方のアンプで同じ操作をします。)

1 アンプ(オーディオシステム)の電源を入れる
2 アンプ(オーディオシステム)のソースセレクター(入力切換)で本機の音声を選ぶ
3 アンプ(オーディオシステム)で音量を調節する

ハイビジョンの音声について

ハイビジョン放送の4チャンネル音声について
4つの音声信号によって視聴者を取り囲むようにスピーカーを配置して、コンサートホールやスポーツ競技場など、実際にその場にいるような臨場感あふれる音場再生が得られます。

3−1方式4チャンネルステレオ
実際のハイビジョン放送で使われている方式です。前方3チャンネルと後方1チャンネルを使います。中央にセンタースピーカーがあるため、視聴者の位置が左右に偏っても、中央の位置がずれないという特長があります。リア音声は1チャンネルですが、通常はスピーカーを2台使い、どこにいても背後からの音声のバランスがとれるようにします。

● **3−1方式4チャンネルステレオ音声を楽しむときは**
BSジャックが「**入り(BS固定)**」(☛P.78)のときや2画面(☛P.18)のときは、4チャンネル音声はお楽しみいただけません。

スピーカーについて

● スピーカーは防磁タイプのものをお使いください。
● スピーカーをテレビに近づけすぎないでください。スピーカーから発生する磁気の影響で画面に色むらがでることがあります。スピーカーはテレビから20〜30cm以上離して置いてください。スピーカーを離して置いても色むらがでるときは、いったん電源を切り、約30分間そのままにしておきます。その後、再び電源を入れます。
● リアスピーカー(サラウンド音声)2台を1つのスピーカー出力端子に並列に接続してお使いになるときは、スピーカーの合成インピーダンスにご注意ください。アンプのスピーカー端子の許容インピーダンスの2倍のインピーダンスのスピーカーをお使いください。(例:アンプのスピーカー端子の許容インピーダンスが8オームのときは、スピーカーはインピーダンスが16オームのものを使います。)

3−1方式4チャンネルステレオは いつ放送しているの?

BS9チャンネルの高校野球、大相撲、歌番組などで主に放送されています。

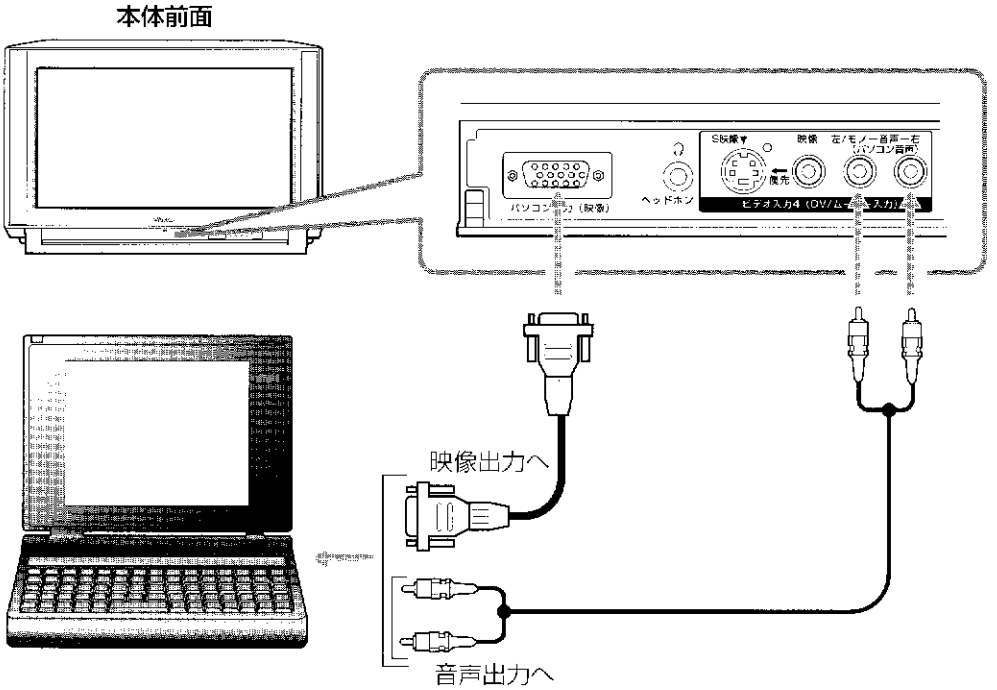
AV機器などを接続する(つづき)

ノートパソコンを接続する

VGA出力ができるパソコン(DOS/V機など)を接続できます。

●Windows95などの「プラグアンドプレイ」には対応していません。

本体前面



VGA

解像度:640 x 480/400/350ドット
水平走査周波数: 31.5 kHz
垂直走査周波数: 60.0/70.0 Hz

ノートパソコンからの映像を見るときは

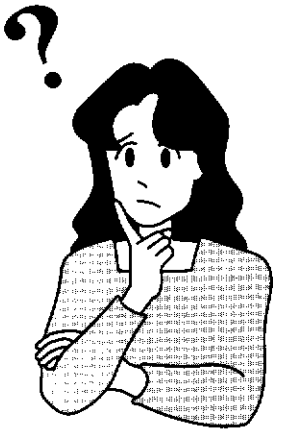
入力切換ボタンを押し、「**パソコン**」を選びます。

こんな点にご注意ください

ノートパソコンからの映像を2画面で見ることはできません。
1画面でご覧ください。

* Windows、Windows95はマイクロソフト社の登録商標です。

トラブルシューティング 地域番号表・その他



◆故障かな？と思ったら 100
◆こんなメッセージが表示されたら 104
◆地域番号表 106
◆主な仕様 110
◆保証書とアフターサービス 112
◆メニュー早見表 114
◆索引 118

故障かな？と思ったら

トラブルシューティングQ&A

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

Q 症　状	A 原因と対処(参照ページ)
●電源が入らない	■電源プラグがはずれていませんか？(P.54) ■本体の電源ランプは点灯していますか。点灯していない場合は、まず本体の電源ボタンを押し電源ランプを点灯させてください。電源ランプが点灯していれば、リモコン側の電源ボタンで電源を入れられます。
●リモコンで操作できない	■本体の電源ランプが赤く点灯していますか。点灯していなければ、本体の電源ボタンを押してください。(P.14) ■リモコンのボタンを押したときに、リモコン上部の操作ランプが暗かったり、点滅しなければ、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。(P.54)
●正常に動作しない	■本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。
●VHF/UHFが映らない	■アンテナは正しく接続されていますか。(P.60) ■チャンネル合わせは済んでいますか。(P.62、64)
●CATVが映らない	■受信契約はお済みですか。 ■ケーブルは正しく接続されていますか。 ■チャンネル＋／－ボタンで選べないときは、「＋－ボタン選局」の設定を「見る」にしてください。(P.65、68)
●BSが映らない	■BSアンテナは正しく接続されていますか。(P.72) ■BSアンテナの向きが変わっていませんか。(P.75) ■コンバーターに電源が供給されていますか。(P.74)

Q 症 状	A 原因と対処(参照ページ)
●BS有料放送が映らない	■BSデコーダーは正しく接続されていますか。(P.87、90、92) ■BSデコーダーの電源は入っていますか。(P.87、91、93) ■設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」は「使用する(自動切換)」または「使用する(固定)」になっていますか。(P.36)
●ハイビジョン放送が映らない	■MUSE貸し出し設定が「設定する」のときは、ハイビジョン放送のチャンネルを選んでも映像は映りません。録画中の映像を見たいときは、入力を録画しているビデオデッキに切り換えてください。
●「D3入力」が選べない	■本機後面のD3入力端子に何も接続されていないときは、「D3入力」は選べません。
●色が出ない、おかしい	■色あいや色の濃さの調節がズレていませんか。映像調節をやり直してください。(P.26) ■受信周波数がズレていませんか。設定メニューの「チャンネル合わせ」で「受像微調整」をしてみてください。(P.65、69)
●音が出ない	■ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか。 ■消音ボタンを押していませんか。(P.15)
●音声がダブッて聞こえる	■二重放送の音声が「主+副音声」になっていませんか。(P.30)
●音声が切り換えられない	■設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を確認してください。設定が「使用する(自動切換)」または「使用する(固定)」になっているときは、BSデコーダーでしか音声の切り換えができません。(P.36) ■BSジャックが「入り(BS固定)」のときや、MUSE貸し出し設定が「設定する」のときは、音声は切り換えられません。(P.45、79)

故障かな？と思ったら(つづき)

トラブルシューティングQ&A

Q 症 状	A 原因と対処(参照ページ)
●チャンネルを選ぶときの動作がおかしい	■CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定されているときは、CATV以外のチャンネル選局も2桁入力になります。CATVをご覧にならないときは、CATVのチャンネル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。(P.66)
● 接続したビデオ機器からの映像、音声が出ない	■ビデオ機器は正しく接続されていますか。(P.83～98) ■正しいビデオ入力を選んでいますか。(P.15) ■ビデオ機器の電源は入っていますか。
●突然電源が切れた	■オフタイマーを設定していませんか。(P.28) ■放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。(P.32) ■テレビ消し忘れ防止を設定していませんか。(P.34)
●画面表示が消えない	■ビデオ機器の映像が映っていますか。受信できるチャンネルを選んでいますか。入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。(P.15)
●BSチャンネルが選べない	■BSジャックランプがオレンジ色に点灯していませんか。BSジャックが「入り(BS固定)」のときは切り換えられません。録画が終わってからBSジャックを解除してください。(P.79)
● パソコンの映像が映らない	■接続ケーブルは正しく接続されていますか。(P.98) ■パソコンのディスプレイ表示の設定は正しいですか。640x480ドットのVGAに設定してください。
●映像が2重・3重になる(ゴースト)	■チャンネル設定で「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしましたか。(P.65、69) ただし、「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしても、ゴーストを完全に消すことはできません。
●2画面表示にならない	■左右の画面に同じチャンネルや同じビデオ入力の映像を映すことはできません。(また、ビデオ3とビデオ4の映像を同時に映すこともできません。) ■左右の画面で同時にBS放送を見ることはできません。 ■コンポーネント映像入力端子(ビデオ1、3)、パソコン入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像を映すことはできません。

Q 症状	A 原因と対処(参照ページ)
●静止画にならない	■番組一覧を表示中のときは静止画をご覧になることはできません。 ■コンポーネント映像入力端子(ビデオ1、3)、パソコン入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像を見ているときは静止画をご覧になることはできません。
●裏番組画面が表示できない	■コンポーネント映像入力端子(ビデオ1、3)、パソコン入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像を見ているときときは裏番組表示にすることはできません。 • DVDプレーヤーをコンポーネント映像入力端子(ビデオ3)に接続したときに、S映像入力端子も接続すると、DVDの映像を表示しているときでも、裏番組を表示することができます。裏番組表示中は、S映像入力端子からの映像を表示します。(☛P.88) ■コンポーネント映像入力端子(ビデオ1、3)、パソコン入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像は裏番組として表示できません。

こんなときは故障ではありません

- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。色付きが消えるまでには少し時間がかかる場合があります。色付きが起こる場合は、ピクチャーの設定を10程度下げることで色付きを軽減できます。(☛P.26)
- 部屋の温度変化により、テレビから「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。
- 磁石やスピーカーやブースターなどを近づけたとき、画面が揺れたり色むらが出ることがあります。これは磁気の影響を受けているためで故障ではありません。
- ワイドテレビは、地磁気の影響を受けやすいため、画面の映像が右下がりあるいは左下がりに傾くことがあります。これは、故障ではありません。

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。

雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)・雑音が出る
● アンテナは正しく接続されていますか。 ● 屋外のアンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。 ● アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。
画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)
● ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。
画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)
● 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

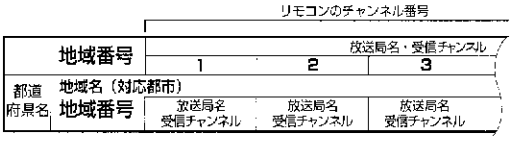
こんなメッセージが表示されたと

メッセージ	原　因
ノーマル画面サイズに対して、位置調節はできません。	画面サイズが「ノーマル」のときに、画面位置の調節をしようとしたため。
CATV選局方式が12ボタンのため設定できません。	CATV選局方式が12ボタン方式のときに、CATVチャンネルの設定を変更しようとしたため。
ヘッドホン音声に対して、この操作はできません。	ヘッドホンから出る音に対して、音声切り換えや音場効果を使おうとしたため。
ビデオ2入力になっていますので、この設定はできません。	「ビデオ2」入力を選択時に、設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」の設定をしようとしたため。
BS放送にしてから、この設定を選んでください。	BS放送以外を見ているときに、次の操作をしようとしたため。 ● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」を選ぼうとした。 ● TV/独立ボタンを押した。 ● BSジャックボタンを押した。 ● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」の設定をしようとした。
BSジャック機能が(入り)になっていますので、この操作はできません。	BSジャックが「入り(BS固定)」のときに、次の操作をしようとしたため。 ● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」を選ぼうとした。 ● 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」の設定をしようとした。 ● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」の設定をしようとした。 ● TV／独立ボタンを押した。 ● BSチャンネルやBS音声切換をしようとした。
BSアンテナに不具合があります。 BSアンテナ、コード、端子などを調べてください。	設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」が正しく設定されていないか、BSアンテナのケーブルがショートしているため。「BSアンテナへの電源供給」(☛P.74)を変更しても、まだこのメッセージが表示されるときは、販売店にご相談ください。
Bモード音声中です。	BS放送の音声がBモードのときに、TV/独立ボタンを押したため。
デコーダーで設定してください。	WOWOWを見ているときに、音声切換ボタンを押したため。
現在のモードではこの操作はできません。	次のような操作をしようとしたため。 ● ビデオなどの外部機器からの映像を見ているときに、音声切換ボタンを押した。 ● 1画面表示のときに、画面入換ボタンを押した。
MUSE3-1ステレオ受信中はこの操作はできません。	ハイビジョン放送の4チャンネル音声(3-1方式4チャンネルステレオ)放送を受信時に、音場効果を使おうとしたため。

メッセージ	原　因
シアタープロ設定で設定してください。	映像選択で「シアター」を選んでいるときに、「シャープネス」の調節をしようとしたため。
MUSE貸し出しは設定できません。	本機後面の検波入力端子とBS内蔵ビデオデッキの検波出力端子が接続されていないのに、各種設定メニューの「MUSE貸し出し設定」を「設定する」にしようとしたため。
MUSEデコーダーを貸し出し中です。	「MUSE貸し出し設定」が「設定する」になっているときに、チャンネル合わせメニューの「BSチャンネルの設定変更」をしようとしたため。
MUSEデコーダー音声出力端子(センター)が接続されていません。	本機後面のMUSEデコーダー音声出力端子(センター)に外部機器が接続されていないのに、各種設定メニューの「MUSE音声の出力」を「4チャンネル」にしようとしたため。
デコーダーで設定してください。	WOWOWを見ているときに、音声切換ボタンを押したため。
ハイビジョン信号のため、この操作はできません。	ハイビジョン放送(BS9チャンネル)を見ているときに、画面サイズを変えようとしたため。
無操作のためまもなく電源が切れます。 続けて見る場合は音量ボタンを押してください。	何も操作しない状態が約3時間続き、テレビ消し忘れ防止機能が働いたため。
無信号のためまもなく電源が切れます。	放送が終了したときなど、画面に映像が映っていない状態が続き、無信号電源オートオフ機能が働いたため。
BS放送を2つ以上映すことはできません。	2画面、裏番組で2つの画面にBS放送を映そうとしたため。
2画面のとき、同じビデオ入力を映すことはできません。	2画面のときに、左右の画面に同じビデオデッキからの映像を映そうとしたため。
マルチ画面のとき、この操作はできません。	2画面、裏番組、番組一覧中に、画面サイズを変えようとしたため。
外部MUSE信号のため、この操作はできません。	外部MUSE機器の映像を見ているときに、静止ボタンを押したため。
静止画中のため、この操作はできません。	静止画中に、操作画面を切り換えようとしたため。
パソコンモードのため、この操作はできません。	パソコンの映像を見ているときに、マルチボタンを押したため。
D3入力に端子が接続されていません。	本機後面のD3入力端子にD端子ケーブルを接続していない状態で、D3入力を選択しようとしたため。

地域番号表

地域番号表の見かた



放送局名、受信チャンネルは当社の調査によるものです。（1999年8月現在）

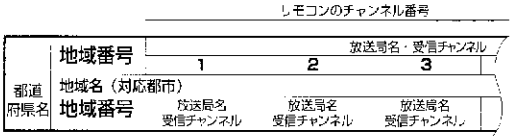
	地域番号	放送局名・受信チャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
—	初期設定 000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌(江別) 001	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12
	小樽 002		NHK教育 2		北海道テレビ 4			札幌テレビ 7	北海道文化 26	北海道放送 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24
	旭川 003		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 33
	名寄 004			北海道文化 26	NHK総合 4		札幌テレビ 6		北海道テレビ 24		北海道放送 10		NHK教育 12
	稚内 005		NHK教育 30	北海道文化 26		北海道テレビ 24		札幌テレビ 22		NHK総合 28	北海道放送 10		
	室蘭 006		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 29
	苫小牧 007		NHK教育 49	北海道文化 53		北海道テレビ 61		札幌テレビ 57		NHK総合 51		北海道放送 55	テレビ北海道 47
	函館 008		北海道文化 27		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 35		NHK教育 10	テレビ北海道 21	札幌テレビ 12
	帯広 009		北海道文化 32		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 34		札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧路 010		NHK教育 2	北海道文化 41		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	網走 011	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12
	北見 012		NHK教育 2	北海道文化 59		北海道テレビ 61		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 53	
青森	青森(弘前) 013	青森放送 1		NHK総合 3	青森明日 34	NHK教育 5							青森テレビ 38
	八戸 014		岩手めんこい 29		青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	青森テレビ 33
	むつ 015				NHK総合 4		青森朝日 56		青森テレビ 58		青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛岡 016				NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8	岩手朝日放送 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33
	釜石 017		NHK総合 2				テレビ岩手 58		岩手めんこい 60	岩手朝日放送 62	岩手放送 10		NHK教育 12
	二戸 018		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日放送 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12
宮城	仙台 019	東北放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32		宮城テレビ 34			仙台放送 12
	石巻 020	東北放送 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61		宮城テレビ 55			仙台放送 57
	気仙沼 021		NHK総合 2		東北放送 4		仙台放送 6	東日本放送 43		宮城テレビ 37	NHK教育 10		
秋田	秋田 022		NHK教育 2			秋田朝日 31				NHK総合 9		秋田放送 11	秋田テレビ 37
	大館 023				NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6		NHK教育 8				秋田テレビ 57
	大曲 024		NHK教育 43			秋田朝日 41				NHK総合 45		秋田放送 47	秋田テレビ 51
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		テレビユー山形 36		NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
	鶴岡(酒田) 026	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		テレビユー山形 22				山形テレビ 39
	米沢 027		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		テレビユー山形 56		NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
福島	福島(郡山) 028		NHK教育 2		テレビユー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	
	いわき 029		テレビユー福島 62		NHK総合 4		福島中央 58		福島テレビ 8		NHK教育 10		福島放送 60
	会津若松 030	NHK総合 1		NHK教育 3	テレビユー福島 47		福島テレビ 6		福島中央 37		福島放送 41		

- ご自分のお住まいの地域を選んでも放送が受信できないときは、近県の地域を選んでください。
  地域チャンネル合わせ(☛P.62)は、テレビの中継局には対応しておりません。中継局からの電波を受信したい場合は、個別にチャンネル合わせをしてください。(☛P.64)
- 八王子にお住まいの方で、「八王子(043)」で放送が受信できないときは、「23区(042)」に設定してください。
- 横浜市にお住まいの方は、はじめに「横浜2(046)」で設定してください。放送が受信できないときは「横浜1(045)」に設定してください。

	地域番号	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸(ひたちなか) 031	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBS 40		フジテレビ 38		テレビ朝日 36		テレビ東京 32
茨城	日立 032	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
栃木	宇都宮 033	NHK総合 29		NHK教育 27	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	とちぎTV 31	テレビ東京 17
栃木	矢板 034	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	とちぎTV 33	テレビ東京 61
群馬	前橋 (伊勢崎・高崎) 035	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBS 56	放送大学 40	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
群馬	桐生 036	NHK総合 43		NHK教育 45	日本テレビ 39	群馬テレビ 41	TBS 37	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 33		テレビ東京 31
埼玉	浦和 (三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越) 037	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12
埼玉	熊谷 038	NHK総合 33		NHK教育 35	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	テレビ埼玉 28	テレビ東京 17
埼玉	秩父 039	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 47	テレビ東京 61
千葉	千葉 (我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代) 040	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
千葉	銚子 041	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	千葉テレビ 39	テレビ東京 61
東京	23区 (昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹) 042	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
東京	八王子 043	NHK総合 51	MXテレビ 47	NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
東京	多摩 044	NHK総合 30	MXテレビ 28	NHK教育 32	日本テレビ 26		TBS 24		フジテレビ 22		テレビ朝日 20		テレビ東京 18
神奈川	横浜1 (横浜の一部) 045	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 48	テレビ東京 62
神奈川	横浜2 (横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀) 046	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ神奈川 42	テレビ東京 12
神奈川	平塚(茅ヶ崎) 047	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41	テレビ神奈川 31	テレビ東京 43
神奈川	秦野 048	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57	テレビ神奈川 61	テレビ東京 59
神奈川	小田原 049	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 46	テレビ東京 62
山梨	甲府 050	NHK総合 1		NHK教育 3		山梨放送 5		テレビ山梨 37					
長野	長野1 051		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
長野	長野2 052		NHK総合 2	長野朝日 20		テレビ信州 30		長野放送 38		NHK教育 9		信越放送 11	
長野	松本 053		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40	
長野	飯田 054			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
長野	岡谷・諏訪 055				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
新潟	新潟(長岡) 056			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8		新潟総合TV 35		NHK教育 12
新潟	上越 057	NHK教育 1		NHK総合 3	テレビ新潟 27		新潟テレビ21 37		新潟総合TV 33		新潟放送 10		
富山	富山 058	北日本放送 1		NHK総合 3					富山テレビ 34		NHK教育 10		チューリップTV 32
富山	高岡 059	北日本放送 50		NHK総合 48					富山テレビ 44		NHK教育 46		チューリップTV 42
石川	金沢(小松) 060		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8		テレビ金沢 33		北陸朝日 25
石川	七尾 061	テレビ金沢 57		北陸朝日 59		NHK教育 5		石川テレビ 55		NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井 062			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
福井	敦賀 063						NHK総合 6		福井放送 8		福井テレビ 38		NHK教育 12

地域番号表(つづき)

地域番号表の見かた



放送局名、受信チャンネルは
当社の調査によるものです。
（1999年8月現在）

	地域番号	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岐阜	岐阜(大垣) 064	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	高　山 065		NHK教育 2		NHK総合 4		中部日本放送 6	中京テレビ 26	東海テレビ 8		岐阜放送 38		名古屋テレビ 12
	中津川 066				NHK総合 4		名古屋テレビ 6	中京テレビ 26	中部日本放送 8		東海テレビ 10	岐阜放送 28	NHK教育 12
静岡	静　岡（清水・焼津） 067		NHK教育 2	静岡第1 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9	静岡放送 11		
	浜　松 068		静岡第1 30		NHK総合 4		静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34
	富士(富士宮) 069		NHK教育 54	静岡第1 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41	
	三島・沼津 070		NHK教育 51	静岡第1 61		静岡朝日 57		テレビ静岡 59		NHK総合 53		静岡放送 55	
	島　田 071	NHK総合 1		NHK教育 3		静岡放送 5		静岡第1 48			静岡朝日 50		テレビ静岡 58
	藤　枝 072	NHK総合 42		NHK教育 44		静岡放送 40		静岡第1 24			静岡朝日 26		テレビ静岡 38
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田） 073	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本放送 5	皮革放送 37	中京テレビ 35	三重テレビ 33	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	豊橋(豊川) 074	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本放送 62		中京テレビ 58		NHK教育 50		名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52
	豊　田 075	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		名古屋テレビ 61	テレビ愛知 49
三重	津（鈴鹿・松坂・四日市） 076	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	三重テレビ 33	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
	伊　勢 077	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 47		NHK教育 49	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61	
	名　張 078	東海テレビ 62		NHK総合 52		中部日本放送 60		中京テレビ 54		NHK教育 50	三重テレビ 58	名古屋テレビ 56	
滋賀	大　津 079		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	京都テレビ 34	関西テレビ 40		読売テレビ 42	びわ湖放送 30	NHK教育 46
	彦　根 080		NHK総合 52		毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62	びわ湖放送 56	NHK教育 50
京都	京都(宇治) 081		NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	舞　鶴 082		NHK総合 51		毎日放送 53	京都テレビ 57	朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49
	福知山 083		NHK総合 50		毎日放送 54	京都テレビ 56	朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
大阪	大　阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾） 084		NHK総合 2	サンテレビ 36	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8	テレビ大阪 19	読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神　戸 085		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 18		朝日放送 20		関西テレビ 22		読売テレビ 24	テレビ大阪 19	NHK教育 26
	神戸灘 086		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50
	川　西 087		NHK総合 29	サンテレビ 33	毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39		読売テレビ 41		NHK教育 31
	三　木 088		NHK総合 44	サンテレビ 36	毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40		読売テレビ 42		NHK教育 46
	姫　路 089		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
	明石(加古川) 090		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49
奈良	奈良(橿原) 091		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	NHK奈良 51	朝日放送 6	京都テレビ 34	関西テレビ 8	サンテレビ 36	読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12
	五　条 092		NHK総合 43	奈良テレビ 41	毎日放送 33		朝日放送 35		関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45
和歌山	和歌山 093		NHK総合 32	テレビ和歌山 30	毎日放送 42		朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 26
	海南・田辺 094		NHK総合 50	テレビ和歌山 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
鳥取	鳥　取 095	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK 教育 4				山陰中央 24		山陰放送 22		
島根	松　江 096	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12
	浜　田 097		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5			山陰中央 58	NHK教育 9			
岡山	岡山(倉敷) 098	TVせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11	
	津　山 099		NHK総合 2		TVせとうち 56		瀬戸内海放送 62	山陽放送 7		西日本放送 58		岡山放送 60	NHK教育 12
	笠　岡 100		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 19	山陽放送 6			西日本放送 17	瀬戸内海放送 21	岡山放送 60	

	地域番号		放送局名・受信チャンネル												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
広島	広島	101	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームTV 35			広島テレビ 12
	福山	102	テレビ新広島 54		NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7		広島ホームTV 57		広島テレビ 11	
	尾道	103	NHK総合 1			広島ホームTV 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
	呉	104	NHK教育 1			広島ホームTV 24	広島テレビ 5			テレビ新広島 26	中国放送 9		NHK総合 11	
山口	山口	105 (徳山・防府)	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
	下関	106	NHK教育 41		TXN九州 23	山口放送 4	山口朝日 21		テレビ山口 33		NHK総合 39	テレビ西日本 10		
	宇部	107	NHK教育 14				山口朝日 31		テレビ山口 20		NHK総合 16	テレビ西日本 10	山口放送 18	
	岩国	108	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 22		NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島	109	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松	110	TVせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37	瀬戸内海放送 33	岡山放送 31		西日本放送 41		山陽放送 29	
	丸亀	111	TVせとうち 16		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 22		西日本放送 20		山陽放送 18	
愛媛	松山	112		NHK教育 2		あいテレビ 29		NHK総合 6		愛媛放送 37	愛媛朝日 25	南海放送 10	テレビ新広島 31	広島ホームTV 35
	新居浜	113		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 27	
	今治	114		NHK教育 30		あいテレビ 27		NHK総合 32		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
	宇和島	115	NHK教育 1			あいテレビ 34		NHK総合 6		愛媛放送 32	愛媛朝日 16	南海放送 10		
高知	高知	116				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38		高知さんさんテレビ 40
福岡	福岡	117	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4		NHK教育 6			テレビ西日本 9		TXN九州 19	福岡放送 37
	久留米	118	九州朝日 57		NHK総合 46	RKB毎日 48		NHK教育 54			テレビ西日本 60		TXN九州 14	福岡放送 52
	大牟田	119	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61		NHK教育 50			テレビ西日本 55		TXN九州 19	福岡放送 43
	北九州	120		九州朝日 2	TXN九州 23	福岡放送 35		NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	行橋	121		九州朝日 57	TXN九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀	122		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38		熊本放送 11	福岡放送 52
長崎	長崎	123	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
	佐世保	124		NHK教育 2		長崎国際 17		長崎文化 31		NHK総合 8		長崎放送 10		テレビ長崎 35
	諫早	125	NHK教育 45		NHK総合 47		長崎放送 49		長崎国際 20		長崎文化 24		テレビ長崎 42	
熊本	熊本(八代)	126		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
大分	大分(別府)	127			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
	中津	128			NHK総合 48		大分放送 51		テレビ大分 37		大分朝日 17			NHK教育 45
宮崎	宮崎(都城)	129						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡	130		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
鹿児島	鹿児島	131	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
	阿久根	132		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋	133		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇(沖縄)	134		NHK総合 2			琉球朝日放送 28			沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

主な仕様

種類	フラットハイビジョンテレビ
受信方式	NTSC, MUSE
受信チャンネル	VHF 1～12、UHF 13～62 CATV C13～C38 BS1、3、5、7、9、11、13、15
使用電源	AC100V, 50Hz/60Hz
消費電力	200W、待機時 0.29W、BS裏録時 26.0W（BSコンバーター最大4Wを除く）
年間消費電力量	245kW·h／年
画面寸法(幅X高さX対角)	32型 65.9 cm x 37.1 cm x 75.6 cm
音声出力	10W＋10W
スピーカー	低中音用 8cm x 12cm楕円型、 2個 高音用 2cm丸型、 2個
アンテナ端子	VHF／UHF: 75Ω、F型 BS: 75Ω、F型（BSコンバーター用電源DC15V4W重畳）

【入力／出力端子】

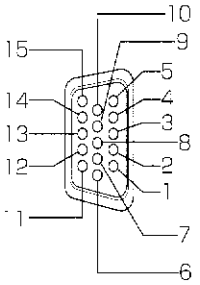
ビデオ1(W-VHS音声)、ビデオ2(BSデコーダー)、ビデオ3(DVD音声)、ビデオ4(DV、ムービー)入力端子

	S1映像: Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω
	映像: 1V(p-p)、75Ω、同期負
	音声: 0.5V(rms)、ハイインピーダンス
D3入力(ビデオ5)端子	映像: D端子(D3)、1080i·480p·480iに対応
	音声: 0.5V(rms)、ハイインピーダンス
MUSE外部入力(LD)端子	0.4V(p-p)、75Ω
コンポーネント映像入力 ビデオ1/W-VHS、ビデオ3/DVD	Y 1V(p-p)、75Ω、3値同期 PB、PR: ±0.35V、75Ω CB、CR: ±0.7V、75Ω
パソコン入力端子	映像: D-SUB、3列、15ピン R、G、B映像信号 0.7V(p-p)、75Ω(アナログ) 水平／垂直同期信号 TTL、同期正·負 水平走査周波数: 31.5kHz 垂直走査周波数: 60.0Hz/70.0Hz 表示ドット数: 640 x 480、640 x 400、640 x 350
モニター／BS·MUSE出力端子	S1映像: Y 1V(p-p)、75Ω、同期負 C 0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω
	映像: 1V(p-p)、75Ω、同期負
	音声: 0.5V(rms)、ローインピーダンス
オーディオ出力(固定)端子	音声: 0.5V(rms)、ローインピーダンス
BSジャック(MUSE)端子	**検波出力端子:** 0.67V(p-p)、75Ω **AFC出力端子:** BTA S-1003に準拠
MUSEデコーダー出力	Y 1V(p-p)、75Ω、3値同期 PB、PR: ±0.35V、75Ω
MUSEデコーダー音声出力	センター端子: 0.25V(rms)、FS-18dB、ローインピーダンス サラウンド端子: 0.25V(rms)、FS-18dB、ローインピーダンス
BSデコーダー接続	**ビットストリーム出力端子:** 0.5Vp-p、75Ω **検波出力端子:** 0.67V(p-p)、75Ω
AVコンピュリンクII端子	直径 3.5 mm、ミニジャック
ヘッドホン端子	直径 3.5 mm、ステレオミニジャック

【その他】

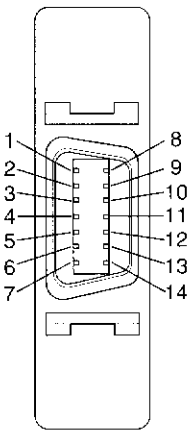
最大外形寸法(幅x高さx奥行)	81.7 cm x 55.0 cm x 54.9 cm
質量(重さ)	57.0kg
付属品	54ページ参照
別売品	テレビスタンドRK-C32FD1 アンテナ混合器VZ-84

パソコン入力端子(ピン配列)



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	Red	9	N/C
2	Green	10	GND (SYNC)
3	Blue	11	GND
4	N/C	12	N/C
5	N/C	13	H.SYNC
6	GND (Red)	14	V.SYNC
7	GND (Green)	15	N/C
8	GND (Blue)		

D端子(ピン配列)



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	Y	8	ライン1
2	Y GND	9	ライン2
3	Pb	10	予備ライン2
4	Pb GND	11	ライン3
5	Pr	12	スイッチ GND
6	Pr GND	13	予備ライン3
7	予備ライン1	14	スイッチ

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
※ テレビの型(32型等)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
※ 年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。
※ 本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。
※ HV-32PZ900は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

保証書とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は、カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有します。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼になる前に、「故障かな？と思ったら」（P.100）にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	ビクターフラットハイビジョンテレビ
型　　名	HV-32PZ900
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて
お　名　前	
電 話 番 号	（　　　）　－
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店　（　　　）　－

ビクター製品のアフターサービスはお買いあげの販売店にご依頼ください

ご贈答品等で保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）
所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.C.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-1
	函館S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(0188)24-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ケ崎6-8-1
福島	郡山S.C.	(0249)52-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(0245)53-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(025)241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
関信越				
新潟	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1336-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(026)221-7507	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(027)255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(028)635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(0552)27-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	甲府S.S.	(0552)37-4016	400-0854	甲府市湯田2-11-5

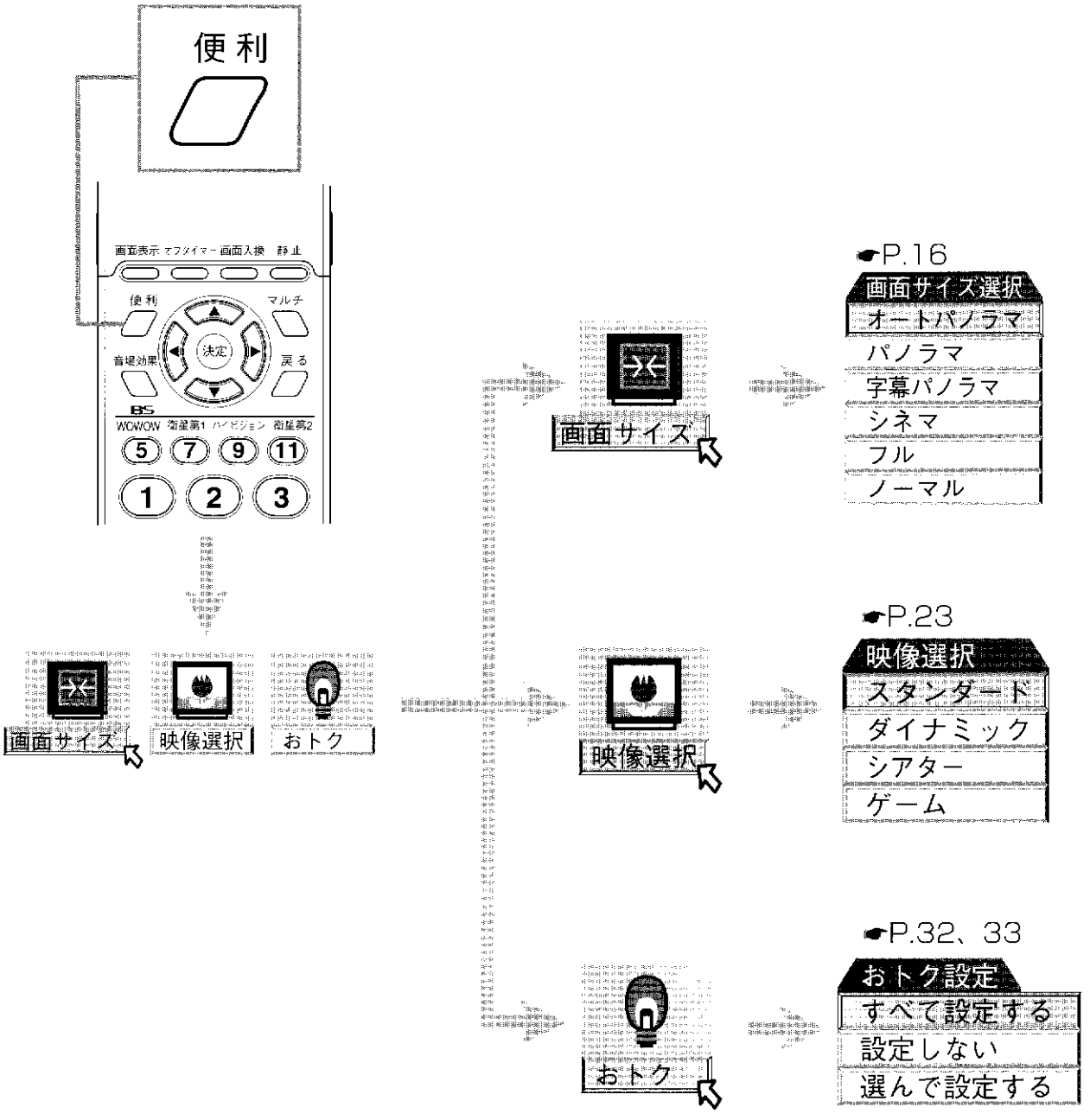
都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	千　葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏　S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦　安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	本　郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練　馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大　田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大　宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊　谷S.S.	(0485)53-5105	361-0057	行田市城西2-7-39 ツインハイツ石山B
	川　越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	横　浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川　崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)
	平　塚S.C.	(0463)23-2687	254-0033	平塚市老松町4-9 (大村ビル)
	相模原 S.C.	(0427)76-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静　岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼　津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町16-5
	浜　松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町 丸之内鴨田121-1
	三　河S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市大ノ口町字河原西31
	豊　橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐　阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三　重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津　S.S.	(0592)29-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富　山S.C.	(0764)25-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金　沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福　井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	滋　賀S.S.	(0775)82-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	京　都S.C.	(075)313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町91

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
近畿				
京都北部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	奈　良S.C.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南 S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺　S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田　辺S.S.	(0739)22-9914	646-0023	田辺市文里1-19-18
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大　阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	神　戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
	明　石S.S.	(078)924-1104	673-0018	明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F
兵庫西部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	姫　路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡　山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広　島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福　山S.C.	(0849)31-6964	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山　口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳　山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下　関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高　松S.C.	(0878)66-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳　島S.C.	(0886)22-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高　知S.S.	(0888)82-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松　山S.C.	(0899)23-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福　岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.C.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐　賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長　崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大　分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊　本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮　崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延　岡S.S.	(0982)35-7077	882-0867	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)267-3572	891-0114	鹿児島市小松原2-23-28
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
島根	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)			
		(0852)31-8900	690-0823	松江市西川津町1484-3
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市富安1丁目22-1

0699

メニュー早見表

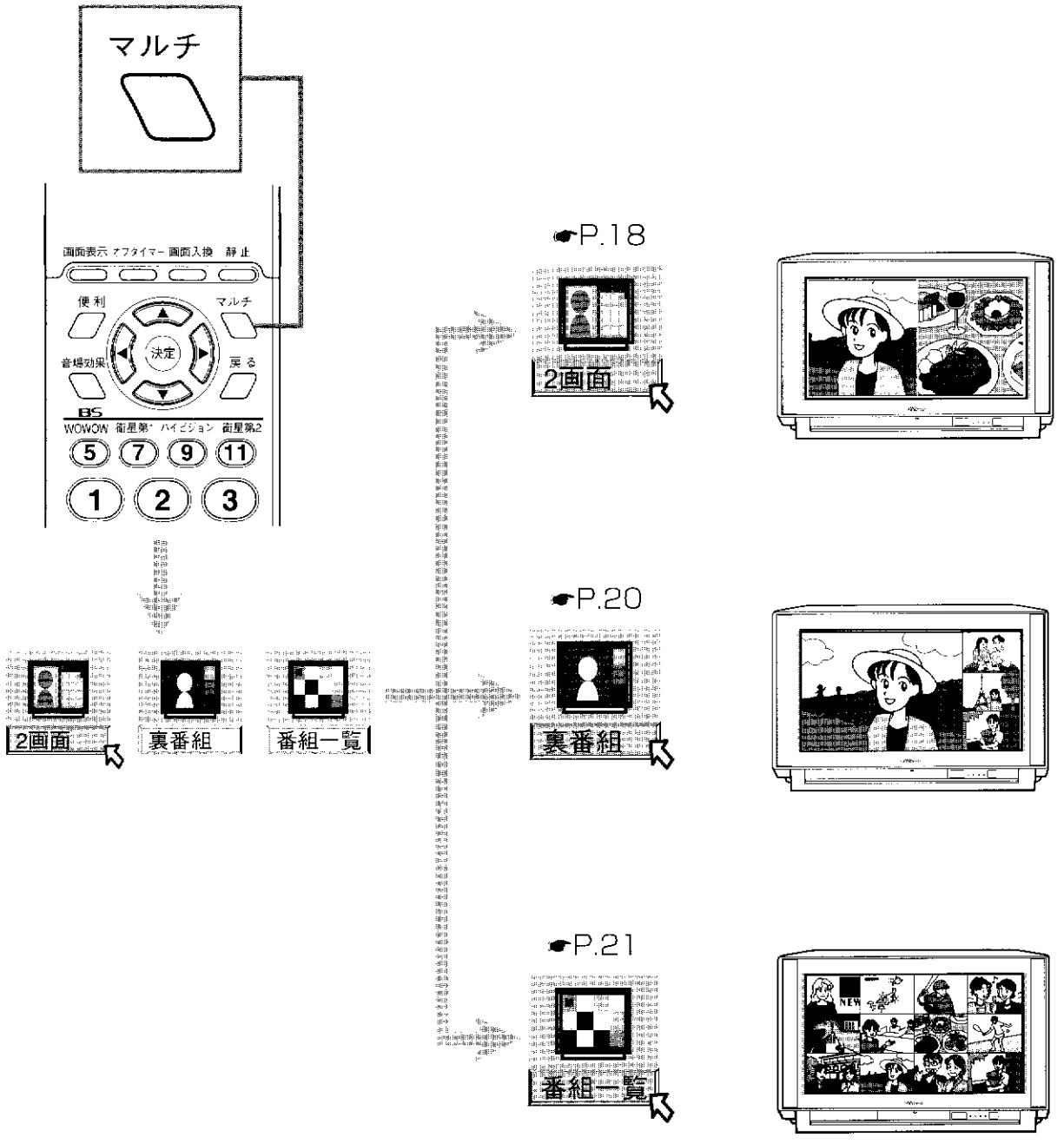
便利メニュー



ひとくちメモ

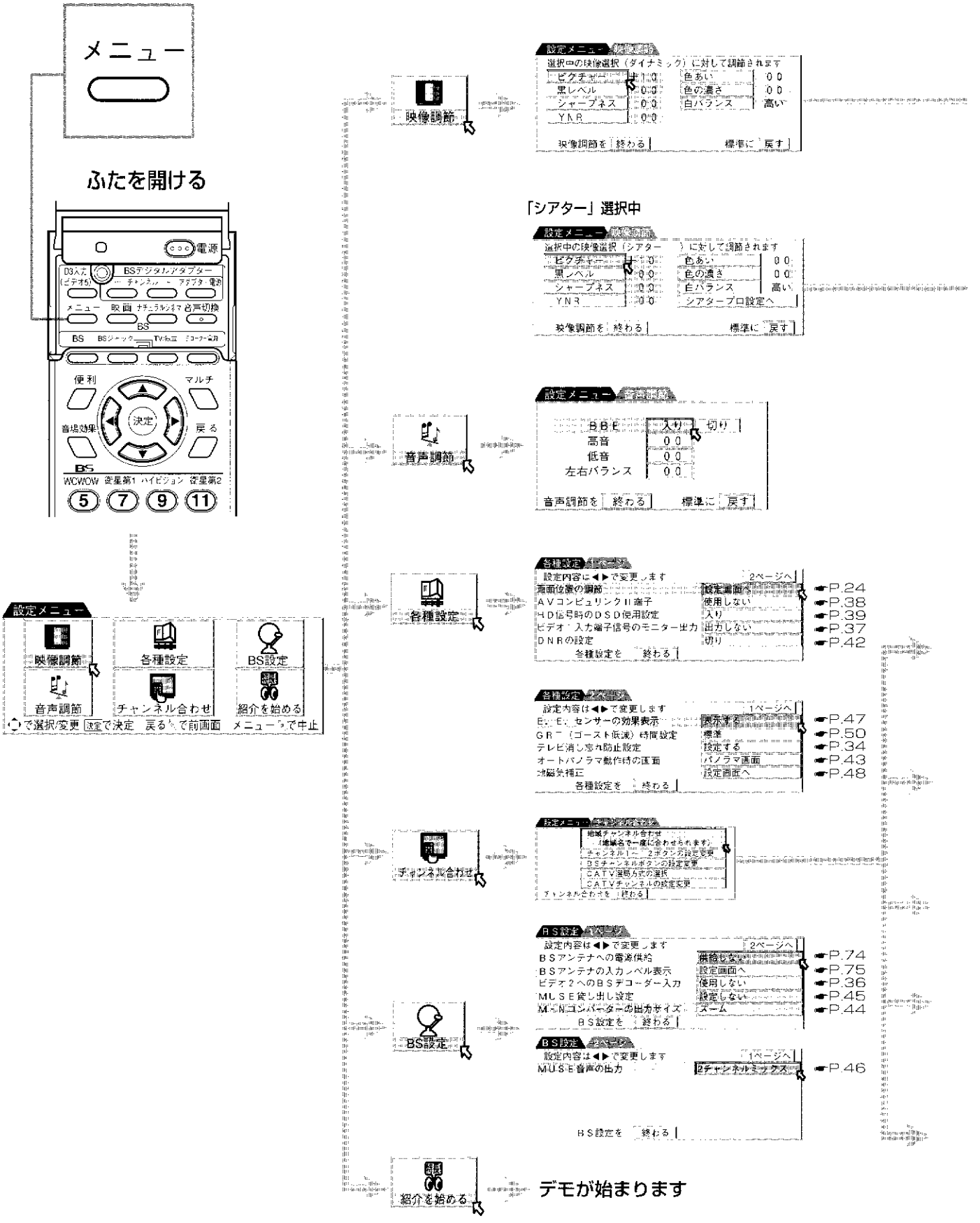
● メニュー早見表では一例を紹介しています。
入力する信号や設定条件により項目が変化しますので、あらかじめご了承ください。

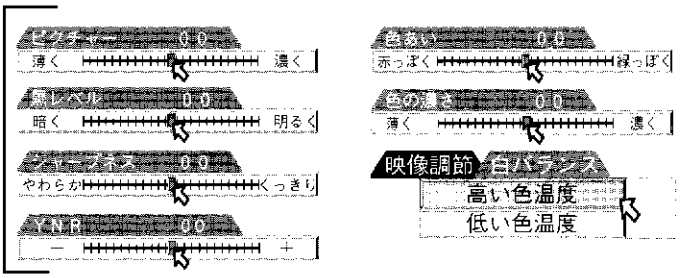
マルチメニュー

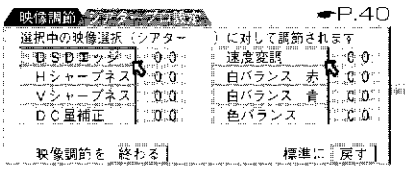

マルチ
画面表示 オフタイマー 画面入換 静止
便利
マルチ
決定
音場効果
戻る
BS
WOWOW 衛星第' ハイビジョン 衛星第2
5 7 9 11
1 2 3
2画面
裏番組
番組一覧
☛P.18
2画面
☛P.20
裏番組
☛P.21
番組一覧

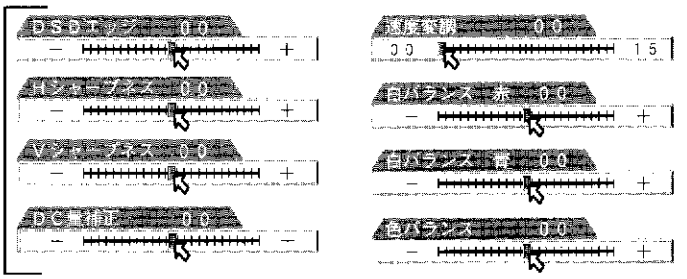
メニュー早見表（つづき）

設定メニュー

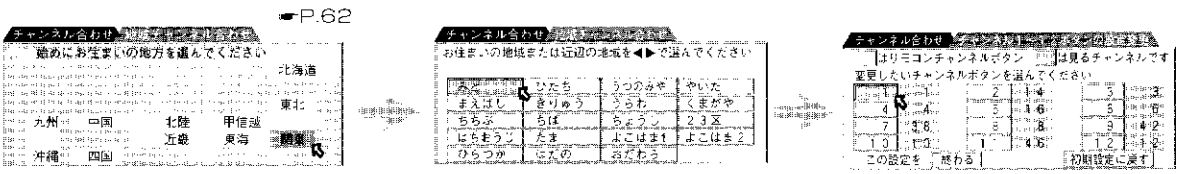




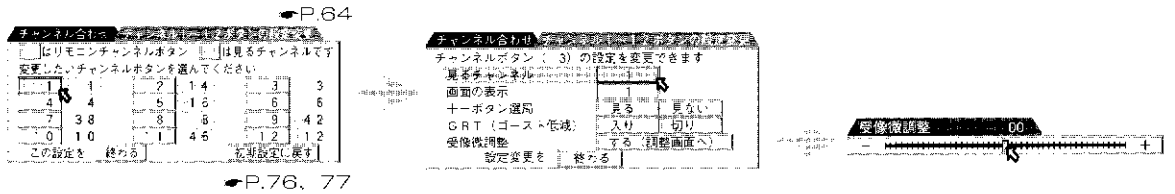




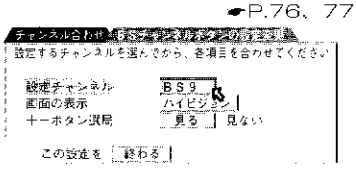
地域チャンネル合わせ



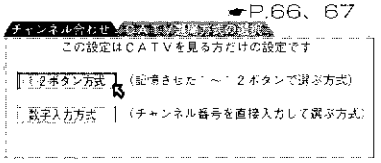
チャンネル1〜12ボタンの設定変更



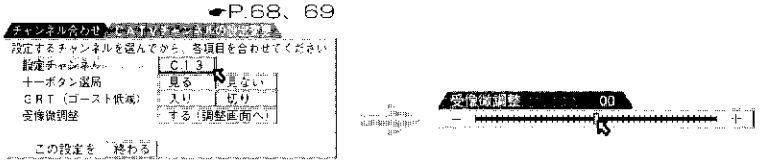
BSチャンネルボタンの設定変更



CATV選局方式の選択



CATVチャンネルの設定変更



索引

アルファベット／数字

AVコンピュリンクII ..... 38、89
BBE 31
BSアンテナの入力レベル表示 .. 75
BSアンテナへの電源供給 74
BSジャック 78
BSチャンネルの設定変更 76
BSデジタルチューナー 80
BSデジタル放送 80
BS電源オートオフ 32
BS録画 79
CATVチャンネル合わせ 68
CATVチャンネルの設定変更 68
CATVチャンネルの選局方法
　12ボタン方式 66
　数字入力方式 66
DNR 42
DSD 39
D端子 94
E.E.センサー 32
E.E.センサーの効果表示 47
GRT ..... 50、65
M-Nコンバーターの
　出力サイズ設定 44
MUSE-LD 95
MUSE音声の出力 46
MUSE貸し出し設定 45
TV／独立 30
VHF放送、UHF放送のチャンネルの
　設定変更 64
2画面 18
3－1方式4チャンネルステレオ .. 97

ア行

安全上のご注意 2
アンテナの接続 ..... 60、72
裏番組 20
映画 22
映像設定
　ゲーム 23
　シアター 23
　スタンダード 23
　ダイナミック 23
映像選択 23
映像調節 26
　YNR 27
　色あい 27
　色の濃さ 27
　黒レベル 27
　シャープネス 27
　白バランス 27
　ピクチャー 27
映像バランス 49
オートパノラマ 17
オートパノラマ時の
　画面サイズ 43
おトク 32
オフタイマー 28
音響効果 30
音声切換 30
音声調節
　BBE 31
　高音 31
　左右バランス 31
　低音 31

カ行

各部のなまえとはたらき 55
画面位置調節 24
画面サイズ
　シネマ 17
　字幕パノラマ 17
　ノーマル 17
　パノラマ 17
　フル 17
画面サイズ選択 16
画面表示 15
ゴースト低減 50
高音調節 31

サ行

シアタープロ 40
　DSDエッジ 41
　DC量補正 41
　Hシャープネス 41
　Vシャープネス 41
　色バランス 41
　白バランス青 41
　白バランス赤 41
　速度変調 41
受像微調整 ..... 65、69
仕様 110
消音 15
静止画 ..... 19、29
スペシャライザー 30
接続
　BSデコーダー ..... 87、90、92
　BSデジタルチューナー 94
　BS内蔵のビデオ
　　デッキ ..... 86、90
　BSなしのビデオデッキ 84
　DVDプレーヤー 88
　VHF/UHFアンテナ 60
　BSアンテナ 72
　W-VHSデッキ 92
　オーディオシステム 96
　テレビゲーム機 83
　ノートパソコン 98
　ビデオムービー 83
節電機能
　BS電源オートオフ 32
　E.E.センサー 32
　テレビ消し忘れ防止設定 34
　無信号電源オートオフ 32

タ行

地域チャンネル合わせ 62
地域番号表 106
地磁気補正 48
チャンネル合わせ
　CATVチャンネル 68
　地域チャンネル合わせ 62
　チャンネル設定の変更 64
低音調節 31
デモ 52
テレビ消し忘れ防止設定 34
独立音声 30
トラブルシューティング 100

ナ行

ナチュラルシネマ 22
入力切換 15

ハ行

ハイビジョン音声の設定 46
バランス調節 31
番組一覧 21
ビデオ1の
　映像と音声の設定 37
ビデオ2/BSデコーダー
　の入力設定 36

マ行

無信号電源オートオフ 32
メッセージ一覧 104
メニュー早見表 114
メモ機能 29

ラ行

リモコン 58

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
112、113ページをご覧ください。	**東京 ☎ (03) 5684−9311 [代表]** 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル **大阪 ☎ (06) 6765−4161 [代表]** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

愛情点検 ●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか		ご使用を中止
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。	➡	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

Victor JVC
日本ビクター株式会社
テレビ事業部
〒306-0698 茨城県岩井市大字辺田1106番地 電話（0297）35-0066

© 2000 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

LCT0388-001C
0200-TN-M-VP